

# 平成30年度 事業報告書

社会福祉法人 芙蓉会

## 法人本部

### 事業概要報告

自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」の法人理念の下、平成 30 年度は、戸巻芙美夫氏が多年に亘る社会福祉事業に尽力された御功勞により、「瑞宝双光章」の榮に輝きました。

なお、叙勲受賞者は当法人として 9 人目となり、大変喜ばしい出来事となりました。

当法人は 115 年の歴史と共に地域社会との信頼関係を構築し、質の向上とガバナンスを高めていくことが重要と考え、透明性（情報公開）・倫理性（苦情解決）・組織性（内部監査・監事監査・外部監査）の積極的な取り組み姿勢、労務管理、地域貢献活動の実践を推進して参りました。

また、限られた人員でいかに付加価値を高めていくか、長時間労働の是正や多様な就業形態の導入など、働き方改革により職員の満足度を引き上げながら、効率化に向けていくために「人事考課の見直し」を図り職員の意欲向上と意識改革に努めて参りました。

最後に、昨年引き続き外部講師（坂倉裕子氏）による新任職員研修「社会人の基本と仕事の覚え方、人間関係の基本の心理学、信頼されるコミュニケーション」と新たに中堅職員研修「社会人の基本と仕事の覚え方、人間関係の基本の心理学、信頼されるコミュニケーション」について学び施設運営基盤の強化と職員の資質向上に努めより質の高いサービス提供することができました。



【戸巻芙美夫氏 瑞宝双光章 祝賀会】

### 主要事業報告

#### 1. 戸巻芙美夫氏「瑞宝双光章」受章

昭和 33 年 4 月、社会福祉法人芙蓉会に指導員として勤務、昭和 58 年 4 月 18 日に故戸巻俊一氏の後を継ぎ、社会福祉法人芙蓉会理事長兼ひまわり園の園長に就任され、常に地域福祉の担い手として社会福祉支援を要する人々への相談・援助・支援、地域福祉活動等、多年に亘る社会福祉事業に尽力された御功勞により、平成 30 年 4 月 29 日に「瑞宝双光章」の榮に輝きました。

戸巻美美夫氏の栄誉を慶祝するとともに今後益々のご健勝とご活躍を記念して、静岡県社会福祉法人経営者協議会会長（山本敏博氏）をはじめ静岡県養護施設協議会会長（加藤秀郷氏）、静岡県乳児院協議会会長（杉村伸一氏）、社会福祉法人芙蓉会理事（川島泰彦氏）の4名が発起人となり、平成30年9月8日（土）にホテルグランド富士（孔雀の間）で、祝賀会を開催いたしました。



【発起人の皆様と共に】



【来賓祝辞】

## 2. 下水道使用料過年度分請求

富士市上下水道部より検針方法に誤りがあるため、法第236条第1項の規定（下水道使用料の時効期間）に基づき、過去5年間分の下水道使用料8,491,926円を請求することになる説明を受け、第168回理事会（平成30年7月31日開催）審議の下、過年度分は平成30年8月より30回毎月分割（最終支払日：2021年1月31日）で支払うことになりました。

## 3. ひまわり園自立生活支援室（ステップルーム）の建物登記と定款変更届

平成29年度次世代育成支援対策施設整備（自立生活支援室「ステップルーム」：平成30年2月27日付）事業が完了しましたので、平成30年7月9日に建物の登記をおこない定款変更届（基本財産の増加）の手続きを図りました結果、定款変更認可書（富福総発第232号）を平成31年3月25日付にて受理いたしました。

## 4. 法人内新任職員研修開催

法人の理念及び実践的な事務処理、施設運営基盤の強化を図ることを目的に、人材育成・組織活性化という視点から、平成30年4月10日に坂倉裕子講師を招き「社会人の基本と仕事の覚え方、人間関係の基本の心理学、信頼されるコミュニケーション」について新規採用職員20名を対象に開催し、同研修には12名の幹部も同席をしました。

## 5.法人内中堅職員研修開催

施設運営基盤の強化を図ることを目的に、人材育成・組織活性化という視点から、坂倉裕子講師を招き「リーダーのコミュニケーションスキル」について中堅職員 24 名を対象に平成 30 年 9 月 27 日、10 月 25 日の 2 回開催しました。

## 6.セクシャルハラスメント及び妊娠・出産等に関するハラスメント防止対策

職場におけるハラスメントは、労働者の個人としての尊厳を不当に傷つける社会的に許されない行為であるとともに、労働者の能力の有効な発揮を妨げ、また、法人にとっても職場秩序や業務の遂行を阻害し、社会的評価に影響を与える問題と捉え、ハラスメント防止対策として周知文書を平成 31 年 1 月 21 日に掲示し全職員に周知しました。

## 7.「社会福祉法人芙蓉会」商標登録

法人登記情報（地域限定：無）では全国には社会福祉法人で「芙蓉会」の名称を使用する法人は 7 件あり、立石雅世弁護士とご相談のうえ、今後当法人がその他の社会福祉法人芙蓉会から、その名称の使用禁止を申立てられないために、社会福祉法人芙蓉会という名称並びにロゴマークの商標登録申請を図りました。

【T M I 総合法律事務所】弁理士：稲葉良幸、塩川修治

案件：1 商標登録出願「社会福祉法人芙蓉会」

2 商標登録出願「社会福祉法人芙蓉会（ロゴ）」

法律事務に対する報酬

A 法律業務	506,000 円
1. 商標登録出願（2 商標 7 区分）249,600×2	499,200 円
2. 電子化手数料	5,800 円
3. 通信費、複写代	1,000 円
B 立替金（印紙代）（2 商標 7 区分）	127,200 円
C 消費税額（A に対し 8%）	40,480 円
D 合計請求金額（A + B + C）	673,680 円
E 源泉徴収税額（A に対し 10.21%）	△51,662 円
差引 T M I に支払う金額（D + E）	662,018 円

## 基本目標

地域における福祉の発展・充実を担う中核的な組織として、公共的・公益的な事業を県及び関係機関・団体等と連携・協働して推進します。

健全な法人運営や施設経営管理の適正化ならびに職員の処遇向上と人材育成、利用者サービスの質の維持向上に努め地域住民の皆様に対する理解と信頼性を高めて参りました。



理事会



評議員会

## 1 理事会・評議員会の開催

### (1) 理事会

開催年月日	出席者数		議案
	理事	監事	
第 167 回 H30. 5. 23	6	2	(1) 決議事項 1. 平成 29 会計年度事業報告並びに計算書類等の承認について 2. 定時評議員会の召集について 3. 借入金 200,000 千円見直しについて (2) 報告事項 1. 介護保険事業所給与規程細則「処遇改善手当」について
第 168 回 H30. 7. 31	6	2	(1) 決議事項 1. 下水道使用料過年度分請求について 2. 平成 30 年度第一次資金収支補正予算(案)について

第 169 回 H30. 10. 24	7	2	<p>(1) 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理事長及び業務執行理事の職務状況報告について</li> <li>2. 平成 30 年度指導監査実施結果について</li> <li>3. 評議員会の決議の省略に基づく定款変更届について</li> </ol> <p>(2) 決議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成 30 年度追加事業計画（案）について</li> <li>2. 平成 30 年度第二次資金収支補正予算（案）について</li> <li>3. 措置施設 給与規程一部改正（案）について</li> <li>4. 乳児院就業規程一部改正（案）について</li> <li>5. 育児・介護休業に関する規則一部改正（案）について</li> </ol>
第 170 回 H31. 3. 27	6	2	<p>(1) 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理事長及び業務執行理事の職務状況報告について</li> </ol> <p>(2) 決議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理事長の人事案件について</li> <li>2. 平成 30 年度第三次資金収支補正予算（案）について</li> <li>3. 平成 31 年度事業計画（案）について</li> <li>4. 平成 31 年度資金収支予算（案）について</li> <li>5. 就業規則一部改正（案）について</li> <li>6. 育児・介護休業に関する規則一部改正（案）について</li> <li>7. 特別休暇の付与（案）について</li> <li>8. 施設長の人事案件について</li> </ol>

## (2) 評議員会

開催年月日	出席者数		議 題
	評議員	監事	
第 52 回 H30. 6. 13	8	2	<p>(1) 議案事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成 29 会計年度事業報告並びに計算書類の承認について</li> <li>2. 役員報酬規程一部改正の承認について</li> </ol>
第 53 回 H30. 11. 7	10	0	<p>(1) 議案事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定款変更届出について</li> </ol>

## 2 監事監査の実施

開催年月日	担当監事	項目
H30.5.10	勝又長見	平成 29 年度業務執行状況
	鈴木英之	平成 29 年度財産状況



会計監査



処遇監査

## 3 役員研修会の参加

開催年月日	研修場所	内容	参加者
H30.4.19	グランシップ	平成 30 年度監事監査研修	監事 2 名 理事 1 名
H30.7.11	ホテル沼津キャッスル	平成 30 年度静岡県 社会福祉法人経営者協議会	理事 1 名
H30.7.12	静岡商工会議所	平成 30 年度 経営戦略セミナー【前期】	理事 1 名

## 4 寄付金

1,195,350 円（本部 289,802 円、ひまわり園 706,425 円、みどり園 189,123 円、みぎわ園 10,000 円）

## 5 植松茂子奨学基金

46,573,894 円（平成 31 年 3 月 31 日現在）

## 6 法人行事

開催年月日	行 事 名	場 所
H30. 4. 3	辞令交付式	みぎわ園「地域交流室」
H30. 4. 7	奉仕活動（草刈）	芙蓉会所有地 大淵鳥追窪
H30. 4. 10	新任職員研修会	みぎわ園「地域交流室」
H30. 6. 6	創立記念式典	みぎわ園「地域交流室」
H30. 6. 20	美化運動（春）	芙蓉会敷地内
H30. 8. 1	美化運動（夏）	芙蓉会敷地内
H30. 8. 4	奉仕活動（草刈）	芙蓉会所有地 大淵鳥追窪
H30. 8. 18	夏祭り	芙蓉会グラウンド
H30. 9. 8	叙勲受章祝賀会	ホテルグランド富士
H30. 9. 27	中堅職員研修会①	みぎわ園「地域交流室」
H30. 10. 7	町内一斉清掃	芙蓉会周辺
H30. 10. 21	市民福祉祭り	富士市中央公園
H30. 10. 25	中堅職員研修会②	みぎわ園「地域交流室」
H30. 10. 31	美化運動（秋）	芙蓉会周辺
H30. 12. 1	奉仕活動（草刈）	芙蓉会所有地 大淵鳥追窪
H30. 12. 19	普通救命講習会（第1回）	みぎわ園「地域交流室」
H30. 12. 25	クリスマス会	ホワイトパレス
H31. 1. 4	新年挨拶会	みぎわ園「地域交流室」
H31. 1. 21	普通救命講習会（第2回）	みぎわ園「地域交流室」
H31. 2. 7	普通救命講習会（第3回）	みぎわ園「地域交流室」





辞令交付式



新任職員研修



奉仕作業



創立 115 周年記念式典



夏祭り



市民福祉まつり



普通救命講習会



新年挨拶会

7 機関誌発行

芙蓉 vol.60 2019.4月号

社会福祉法人 芙蓉会  
〒170-8441 東京都練馬区中野1-22-15  
TEL: 03-3540-8440 FAX: 03-3540-8417  
http://www.fuyuka.or.jp

代表理事	小 野 弘 一	03-3540-12-0001
専任理事	小 野 弘 一	03-3540-12-1281
専任理事	藤 田 隆 夫	03-3540-12-1241
専任理事	大 塚 隆 夫	03-3540-12-1300
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1287
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1288
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1289
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1290
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1291
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1292
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1293
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1294
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1295
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1296
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1297
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1298
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1299
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1300

第 60 号 H30.4 発行

芙蓉 vol.61 2019.7月号

社会福祉法人 芙蓉会  
〒170-8441 東京都練馬区中野1-22-15  
TEL: 03-3540-8440 FAX: 03-3540-8417  
http://www.fuyuka.or.jp

代表理事	小 野 弘 一	03-3540-12-0001
専任理事	小 野 弘 一	03-3540-12-1281
専任理事	藤 田 隆 夫	03-3540-12-1241
専任理事	大 塚 隆 夫	03-3540-12-1300
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1287
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1288
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1289
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1290
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1291
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1292
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1293
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1294
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1295
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1296
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1297
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1298
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1299
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1300

第 61 号 H30.7 発行

芙蓉 vol.62 2019.10月号

社会福祉法人 芙蓉会  
〒170-8441 東京都練馬区中野1-22-15  
TEL: 03-3540-8440 FAX: 03-3540-8417  
http://www.fuyuka.or.jp

代表理事	小 野 弘 一	03-3540-12-0001
専任理事	小 野 弘 一	03-3540-12-1281
専任理事	藤 田 隆 夫	03-3540-12-1241
専任理事	大 塚 隆 夫	03-3540-12-1300
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1287
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1288
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1289
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1290
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1291
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1292
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1293
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1294
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1295
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1296
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1297
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1298
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1299
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1300

第 62 号 H30.10 発行

芙蓉 vol.63 2019.1月号

社会福祉法人 芙蓉会  
〒170-8441 東京都練馬区中野1-22-15  
TEL: 03-3540-8440 FAX: 03-3540-8417  
http://www.fuyuka.or.jp

代表理事	小 野 弘 一	03-3540-12-0001
専任理事	小 野 弘 一	03-3540-12-1281
専任理事	藤 田 隆 夫	03-3540-12-1241
専任理事	大 塚 隆 夫	03-3540-12-1300
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1287
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1288
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1289
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1290
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1291
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1292
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1293
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1294
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1295
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1296
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1297
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1298
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1299
専任理事	山 本 隆 夫	03-3540-12-1300

第 63 号 H31.1 発行

## 8 ホームページ更新

主な公開

- ・ 定款掲載
- ・ 役員等報酬規程掲載
- ・ 役員・評議員名簿掲載
- ・ H30年度法人行事、寄附行為等
- ・ H30年度事業計画、予算書
- ・ H29年度事業報告、決算書
- ・ H29年度広報誌掲載
- ・ H30年苦情受付情報
- ・ H30年理事長新年挨拶



## 9 施設職員状況

(1) 採用・退職

施設名	採用者		退職者	
	正規	非常勤	正規	非常勤
法人本部	—	—	—	—
ひまわり園	3名	—	2名	1名
みどり園	7名	4名	4名	1名
みぎわ園	5名	5名	10名	5名
計	15名	9名	16名	7名

(2) 労災・傷病・介護休暇・産休・育休等

施設名	労災	傷病	介護休暇	産休・育休
法人本部	—	—	—	—
ひまわり園	3名	2名	—	1名
みどり園	—	1名	—	1名
みぎわ園	—	2名	—	3名
計	3名	5名	—	5名

## 10 定期健康診断結果報告

日 程	在籍労働者数	受診労働者数	産業医の指示人数
H30.9	191 人	184 人	49 人

日 程	受診対象労働者数	受診労働者数	産業医の指示人数
H31.2	112 人	112 人	1 人

## 11 心理的な負担の程度を把握するための検査結果報告（ストレスチェック）

日 程	在籍労働者数	検査を受けた労働者数	面接指導を受けた労働者数
H30.9	191 人	120 人	0 人

## 12 安否情報確認システム「安否コール」結果報告（返信率）

日 程	配信数	返信数	全 体	法人本部	みどり園	ひまわり園	みぎわ園
H30.4	186 人	140 人	75.3%	100%	75.8%	73.7%	75.2%
H30.5	187 人	141 人	75.4%	100%	70.6%	79.0%	75.2%
H30.6	189 人	145 人	76.7%	100%	71.4%	84.2%	75.4%
H30.7	188 人	136 人	72.3%	100%	73.5%	66.7%	73.5%
H30.8	186 人	142 人	76.3%	100%	76.5%	74.4%	76.6%
H30.9	186 人	144 人	77.4%	100%	79.4%	74.4%	77.5%
H30.10	188 人	145 人	77.1%	100%	77.1%	75.0%	77.5%
H30.11	189 人	155 人	76.7%	100%	75.0%	82.5%	75.7%
H30.12	190 人	146 人	76.8%	100%	75.7%	74.4%	77.7%
H31.1	188 人	149 人	79.3%	100%	81.1%	82.1%	77.3%
H31.2	188 人	149 人	79.3%	100%	81.1%	82.1%	77.3%
H31.3	188 人	141 人	75.0%	100%	81.1%	76.9%	72.7%
平均	188 人	144 人	76.5%	100%	76.5%	77.1%	76.0%

※ H30.6 は夜間想定訓練です。

### 13 苦情及びお問い合わせの対応

苦情：0件

お問い合わせ：19件

(法人本部2件、ひまわり園5件、みどり園2件、みぎわ園1件)

### 事業報告附属明細書

特にありません。

## 児童養護施設ひまわり園（定員 75 名）

### 事業概要報告

平成 29 年に厚生労働省が発表した「新しい社会的養育ビジョン」で、国は里親委託を推進し、施設の小規模化、地域分散化を進めるとともに施設の担う役割の高機能化、多機能化を図るという方針を示しました。そうした影響からか、静岡県内の児童養護施設入所児童は年々減少傾向にあります。ひまわり園においても同様で、定員 75



人のところ月平均 57 人の在籍児童数（充足率 76.0%）でした。また、以前は乳児院からの措置変更児童が多かったのですが、平成 30 年度は家庭からの入所児童が過半数を占めました。（資料 1.3）

<各年度 3 月 1 日初日在籍児童数> 単位（人）

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
県内 12 施設	676	656	588	615	584	583	556	535	512	488
ひまわり・ひろみ	90	91	82	84	82	78	75	70	57	59

子どもの支援に関しては、高齢児や退所児童の自立支援、家族との関係調整などで様々な対応を行いました。また、個別対応では心理職員による個別面接、職員研修における外部講師を招いたケースカンファレンスなどによる支援の充実を図りました。

家族支援では家族の再統合を目指した家庭訪問や出身市町との支援会議の数も増えると共に、運動会や入学式、卒業式など幼稚園や学校行事への保護者の参加を促すなど、従来以上の充実した取り組みができました。自立した児童や引き取りとなった家庭へも連絡を取り、家庭訪問を行うなどアフターケアにも努めました。

一方、児童虐待問題が社会問題として大きく取り上げられている中、県内の一時保護所は常に満員で、児童相談所から施設への一時保護依頼が増え、深夜や早朝に緊急で受け入れるケースが目立ちました。家庭から措置される場合もほとんどが虐待がらみであり、家族再統合に向けた取り組みは非常にデリケートな対応を求められました。

## 平成 30 年度入退所状況（資料 2）

<平成 30 年度入所>

12 人（幼児 5 人 小学生 4 人 中学生 2 人 高校生 1 人）

被虐待児 9 人（30 年度入所児童の 75.0%）

<平成 30 年度退所>

19 人（幼児 2 人 小学生 5 人 中学生 7 人 高校生 5 人）

<一時保護委託>

17 人（幼児 6 人 小学生 4 人 中学生 3 人 高校生 1 人 その他 3 人）

<ショートステイ>

5 人（幼児 4 人 小学生 1 人）

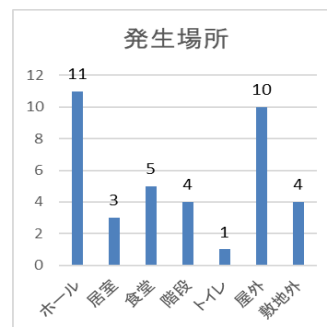
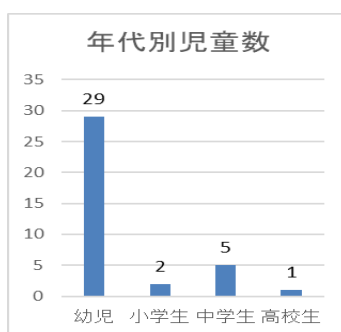
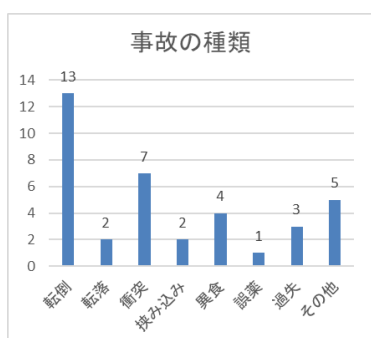
## 重要事項報告

### 1 インフルエンザ罹患（資料 14）

児童、職員全員が予防接種を受けていましたが、1 月から 2 月にかけてインフルエンザが急激に広がり、保健所に通報するレベルに達してしまいました。A 型 22 人（児童 20 人、職員 2 人）、B 型 1 人（児童 1 人）

### 2 事故、ヒヤリハット報告（資料 4）

①事故報告 38 件（うち通院 5 件） ②ヒヤリハット報告 20 件



### 3 苦情・要望受付（資料 5）

①苦情 1 件

②要望 0 件 「ひまわりの種」からの要望あり（資料 9）

## 【固定資産取得】

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| ① ステップルーム網戸・柵取付  | 129,600 円   |
| ② 防災用リヤカー        | 108,108 円   |
| ③ 1 階給湯設備        | 1,458,000 円 |
| ④ ひまわり園厨房外階段屋根工事 | 680,616 円   |



【1階給湯設備】



【ひまわり園厨房外階段屋根工事】



【ステップルーム網戸・柵取付】



【給水ユニット修繕工事】

【固定資産廃棄】

- ① 冷蔵庫 1 円

【施設整備・補修工事】（10万円以上）

- ① 給水ユニット修繕工事（ふようデイと按分） 307,800 円
- ② GHP 修繕（ガスエアコン） 216,000 円
- ③ ユニットのパーテーション設置工事 155,000 円
- ④ 照明器具修繕（LED） 133,920 円
- ⑤ 厨房昇降機修繕（センサー、制御基板） 1,080,000 円

【社会的養護処遇改善加算】（ひまわり園・ひろみ）

処遇改善加算分支給総額	5,595,835 円
内訳 ①民間給与改善費（2%）	3,735,127 円（12ヵ月分）
②処遇改善加算	
（Ⅰ）	2,505,969 円
（Ⅱ）	142,533 円
（Ⅲ）	212,206 円



## 基本目標 1

### ひまわり園における養育のあり方の共有化に努めます。

養育のあり方に関しては職員の手引きである「養育の基本」の見直しを図る計画でしたが、十分な議論展開に至りませんでした。職員の担う役割が「子ども支援」から「親子支援」へと比重が変化していくことを実感する一年でした。

## 基本目標 2

### 研修内容の充実を図り、職員のスキルアップを目指します。

外部研修は 42 件（参加者数 76 人）に職員を派遣しました。その他ケース会議や外部講師招聘による園内研修を 8 回実施しました。

東日本大震災等の過去の災害での教訓を踏まえ、災害時に避難所等で福祉・介護の専門的な視点で支援活動を行うために平成 28 年度に設置された静岡県内の福祉分野における公民協働の静岡県災害派遣福祉チーム（静岡 D C A T）の研修に 2 名の職員を派遣し、登録しました。（資料 7）



【事務・管理者研修】

## 基本目標 3

### 小規模グループケアの実践を通して今後の小規模化への方向性を整理します。

小規模グループケアは 1 カ所実施しましたが、独自性を持たせるところまでいきませんでした。施設全体として内容の検討やフィードバックが十分になされず課題が残りました。

## 基本目標 4

### 子どもの最善の利益の保障と権利擁護に努めます。

児童のアンケートと職員の自己評価を例年に倣って実施しました。しかし PDCA サイクルに乗せた評価ができる体制に持って行くところまでは至らず、改善意識を高めることに課題を感じました。

個別ケースでは、子どもの家族への思いを職員が代弁者として保護者や児童相談所に伝えることに努め、また家庭訪問を重ねることで家庭引き取りにつなげることができた事例がいくつかありました。里親委託も 2 名実現しました。（資料 13）

## 基本目標5

**生活を営む主役である子どもたちが、日常生活において主体的に考え取り組むことができるように支援します。**

心理職が提唱した「個別ヒヤリング」はなかなか定着しませんでした。その原因を明確にして現実に即した方法を継続的に検討していくことが必要かと思われます。子ども会「ひまわりの種」では野菜の栽培や行事の計画、生活改善のための意見交換などを職員の助言を受けながら子どもたちが考える機会を持つことができました。

(資料 9)



【児童虐待防止活動 井上さんと】

## 基本目標6

**子どもたちの地域社会活動を支援し、集団の中での個の自立と技能向上を目指します。また地域との関わりを持ち、地域住民としての自覚が育つように支援します。**

入所児童の減少に伴い、小学校の子ども会活動やサッカー少年団活動なども活動が縮小傾向にあります。しかし子ども会ドッジボール大会では高学年男子チームが他町内と合同チームながら校区で優勝しました。ボーイスカウトでは奉仕活動や募金活動を行いました。サッカー少年団では少人数ながら地域の大会に出場して結果にとらわれず頑張る姿が見られました。(資料 10)



【第41回 冬季球技大会】

## 基本目標7

**社会的自立を目標とする子どもたちの自立支援を実施します。**

30年度は高校中退者を出してしまうという非常に残念な問題がありました。子どもを支えていくための施設の支援方針への保護者の協力が得られず、楽な方向に流れてしまう流れを阻止できなかったことは、長い時間をかけて養育してきた職員に悔しさを残しました。

一方で、高校を卒業して自立を控える子どもに自立生活支援室「ステップルーム」を利用した一人暮らしの練習を行うことができました。

施設を退所した子どもへのアフターケアでは、自立した子どもや家庭引き取りになった親子への支援などで県外にまで出向くなど、継続的な支援に努めました。こうした取り組みが増えてきたことにより、施設への期待が大きくなってきていることを実感する半面、職員の負担も増えているという実情が課題となっています。

学習支援では7名の学習ボランティアさんの協力を得ながら進路支援に努め、中学3年生は全員進学することができました。（資料12）



【卒業・旅立ちを祝う会】

## 基本目標8

**社会的養護関係機関との連携を強化し、家庭支援、里親支援に努めます。**

法人が乳児院を運営していることから、ひまわり園入所児童の多くは乳児院からの措置変更でしたが、近年は家庭からの入所が増え、平成30年度に入所している子どもの入所経路の半数以上が家庭からでした。こうした背景と、児童福祉法の考え方の基本の一つでもある「パーマネンシー保障」としての早期家庭復帰、里親委託推進への取り組みが増え、「面会」延べ164人、「外泊」延べ77人、「外出」延べ18人、「家庭訪問」延べ24人、「里親とのマッチング」27回、「児童相談所による個別面接」は175回という実績を積み、家庭引き取り11名、里親委託2名という結果を残すことができました。（資料2, 13）

## 基本目標9

**子どもの健康に配慮すると共に、防災教育を推進し、健康で安全な生活を支援します。**

防災訓練は消火訓練を含み毎月実施しました。健康管理においては日々の次亜塩素酸ナトリウムによる消毒など環境衛生管理に心がけました。感染症対策委員会を中心に子どもの健康診断や予防接種を計画的に進めましたが、子どもたちは日々外部との接触があるためインフルエンザ流行期には押さえ込むことができず23名（子ども21名、職員2名）が感染してしまいました。

食事面では栄養士の管理の下、バランスのよい献立を提供するのみではなく、季節に応じた行事食、誕生日希望メニュー、調理実習など工夫を凝らしました。（資料14, 15, 16）

## 基本目標 10

実習生の受入れを通して児童養護施設に対する理解を広げ、後進の指導に努力します。

実習生は年間で 33 名受け入れました。また単位実習だけではなく自主実習や施設見学も積極的に受け入れました。（資料 17）



【吉原祇園まつり】



【須津川バーベキューと川遊び】



【富士登山】



【海水浴】



【小西様 芋掘り招待】



【市民福祉まつり オペレッタ】



【七五三のお祝い】



【まかいの牧場】



【東京ディズニーシー招待】



【ひまわり園 OB による戸巻前園長 叙勲のお祝い】



【まかいの牧場 クリスマス招待】



【芙蓉会 クリスマス会】



【卒園生 成人式】



【ポップサーカス招待】



【こどもの国 雪遊び】



【節分の豆まき】



【卒業・旅立ちを祝う会】

## ひまわり園 平成 30 年度事業報告附属明細書

(資料 1) 各月初日在籍児童数と在籍日数

月 別	定員	実 人 員 (初日在籍)			充足率 %	延 人 数		
		男	女	合計		男	女	合計
平成30年 4月	75	28	26	54	72.0%	840	780	1,620
平成30年 5月	75	28	26	54	72.0%	868	806	1,674
平成30年 6月	75	28	26	54	72.0%	860	780	1,640
平成30年 7月	75	29	26	55	73.3%	899	785	1,684
平成30年 8月	75	32	25	57	76.0%	992	785	1,777
平成30年 9月	75	32	26	58	77.3%	960	780	1,740
平成30年 10月	75	32	25	57	76.0%	992	775	1,767
平成30年 11月	75	33	27	60	80.0%	955	810	1,765
平成30年 12月	75	31	27	58	77.3%	955	837	1,792
平成31年 1月	75	30	27	57	76.0%	930	837	1,767
平成31年 2月	75	30	27	57	76.0%	840	756	1,596
平成31年 3月	75	30	29	59	78.7%	845	857	1,702
合 計	900	363	317	680	75.6%	10,936	9,588	20,524



(資料2) 理由別入退所児童数

①理由別入退所児童一覧(措置入所)

入所児童				退所児童(退所日はカウントしない)			
学年	入所日	性別	入所理由	学年	退所日	性別	退所理由
幼児	6月11日	男子	ネグレクト(乳児院より)	高校2年生	7月11日	女子	中退 家庭引き取り
中学2年生	8月1日	男子	身体的虐待	高校2年生	10月1日	女子	中退 家庭引き取り
小学3年生	8月1日	男子	心理的虐待	中学2年生	11月9日	男子	措置変更(自立支援)
幼児	8月1日	男子	身体的虐待	中学2年生	11月18日	男子	里親委託
小学6年生	8月22日	女子	身体的虐待	小学4年生	12月26日	男子	家庭引き取り
中学3年生	11月1日	女子	ネグレクト	中学2年生	3月7日	男子	家庭引き取り
高校1年生	11月1日	女子	性的虐待・ネグレクト	小学3年生	3月7日	男子	家庭引き取り
小学4年生	11月1日	男子	ネグレクト	高校1年生	3月10日	女子	措置変更(ひろみ)
小学1年生	3月1日	女子	養育困難	幼児	3月15日	男子	里親委託
幼児	3月1日	女子	養育困難	中学3年生	3月24日	女子	措置変更(ひろみ)
幼児	3月26日	男子	ネグレクト(乳児院より)	幼児	3月25日	男子	家庭引き取り
幼児	3月26日	女子	養育困難(実母知的障害)	中学3年生	3月25日	女子	家庭引き取り
				中学3年生	3月25日	男子	家庭引き取り
				高校3年生	3月25日	女子	就職自立
				小学2年生	3月28日	女子	措置変更(知的障害)
				中学2年生	3月29日	男子	家庭引き取り
				小学4年生	3月29日	男子	家庭引き取り
				小学3年生	3月29日	男子	家庭引き取り
				高校3年生	3月31日	男子	就職自立
入所		男子	6名	退所		男子	12名
		女子	6名			女子	7名
		合計	12名			合計	19名

②理由別一時保護児童一覧

氏名	性別	年齢・学年	開始日	解除日	日数	保護理由	解除理由
NK	男子	14歳・中2	6月28日	6月28日	1	実母への暴力	家庭復帰
ID	男子	14歳・中2	7月17日	7月31日	15	実母からの虐待	施設入所
IT	男子	8歳・小3	7月17日	7月31日	15	実母からの虐待	施設入所
UK	男子	3歳・幼児	7月24日	7月31日	8	同居男性からの身体的虐待	施設入所
SS	女子	17歳	8月21日	8月23日	3	実父からの身体的虐待	自立援助ホーム利用
WA	女子	5歳・幼児	10月15日	10月16日	2	養父からの性的虐待	一時保護所へ移動
WA	女子	3歳・幼児	10月15日	10月16日	2	養父からの性的虐待	一時保護所へ移動
FK	女子	15歳・中3	10月22日	10月31日	10	家出を保護	施設入所
KS	女子	17歳	12月8日	12月10日	3	自殺企図	精神科入院
KR	女子	7歳・小1	12月28日	12月28日	1	実母の逮捕	一時保護所へ移動
KA	女子	6歳・年長	12月28日	12月28日	1	実母の逮捕	一時保護所へ移動
YR	女子	16歳・高1	2月20日	3月5日	14	家出を保護	家庭復帰
WR	男子	6歳・年長	2月26日	3月28日	31	継父からの身体的虐待	家庭復帰
WK	男子	4歳・年小	2月26日	3月28日	31	継父からの身体的虐待	家庭復帰
HM	女子	17歳	3月4日	3月27日	24	実父との不和	家庭復帰
OH	男子	11歳・小5	3月20日	3月26日	7	実母からの虐待	一時保護所へ移動
MY	男子	10歳・小4	3月7日	3月31日	25	実母からの虐待	(年度をまたぎ継続)
男子 8名		女子 9名	計 17名		193		

③理由別ショートステイ事業受入児童一覧

氏名	性別	年齢・学年	委託日	解除日	日数	保護理由
MK	女子	2歳	5月28日	6月4日	8	実母精神疾患・体調不良
AH	女子	6歳	6月14日	6月20日	7	育児ストレスのレスパイト
MK	女子	3歳	10月6日	10月9日	4	実母精神疾患・体調不良
NRU	男子	10歳・小4	2月15日	2月19日	5	両親がパキスタンへ一時帰国
NRU	男子	3歳	2月15日	2月19日	5	両親がパキスタンへ一時帰国
男子 2名		女子 3名	計 5名		29	

(資料3) 入所児童現況(平成31年3月1日)

①性別

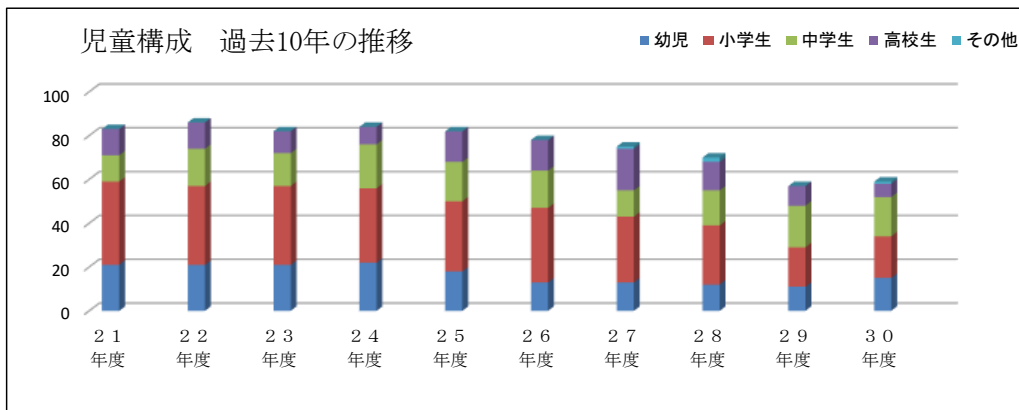
男	女	合計
30	29	59
50.8%	49.2%	100.0%

②年代別児童数

幼児	小学生	中学生	高校等	その他	計
15	19	18	6	1	59
25.4%	32.2%	30.5%	10.2%	1.7%	100.0%

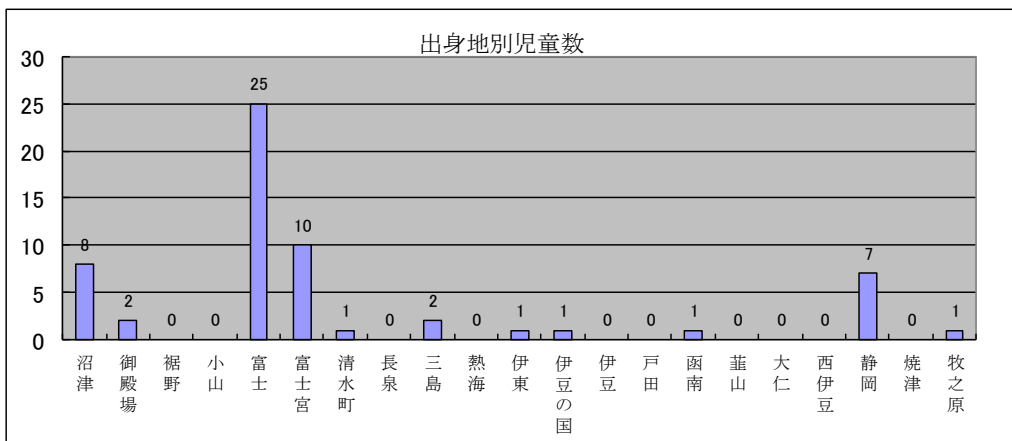
③児童構成 過去10年の推移(3月1日在籍数)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
幼児	21	21	21	22	18	13	13	12	11	15
小学生	38	36	36	34	32	34	30	27	18	19
中学生	12	17	15	20	18	17	12	16	19	18
高校生	12	12	10	8	14	14	19	13	9	6
その他	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1
合計	83	86	82	84	82	78	75	70	57	59



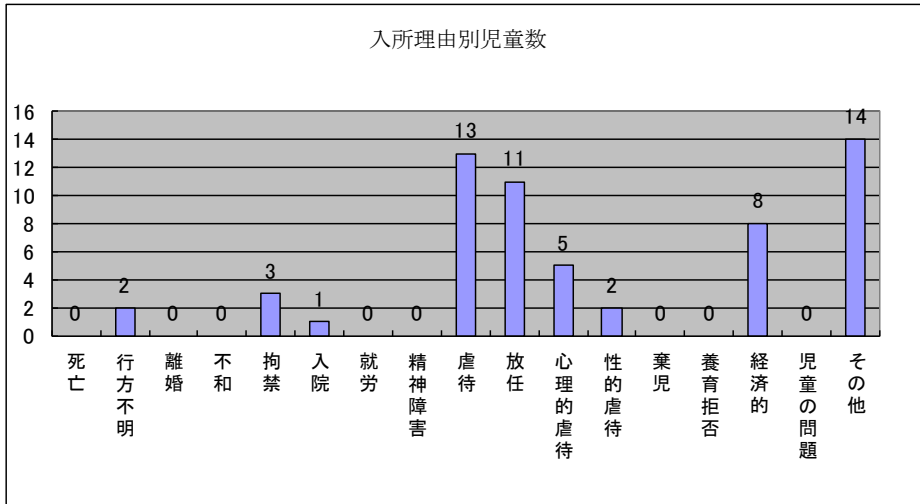
④出身地別入所数

沼津	御殿場	裾野	小山	富士	富士宮	清水町	長泉	三島	熱海	伊東	伊豆の国	伊豆	戸田	函南	韮山	大仁	西伊豆	静岡	焼津	牧之原	合計
8	2	0	0	25	10	1	0	2	0	1	1	0	0	1	0	0	0	7	0	1	59
13.6%	3.4%	0.0%	0.0%	42.4%	16.9%	1.7%	0.0%	3.4%	0.0%	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	11.9%	0.0%	1.7%	100.0%



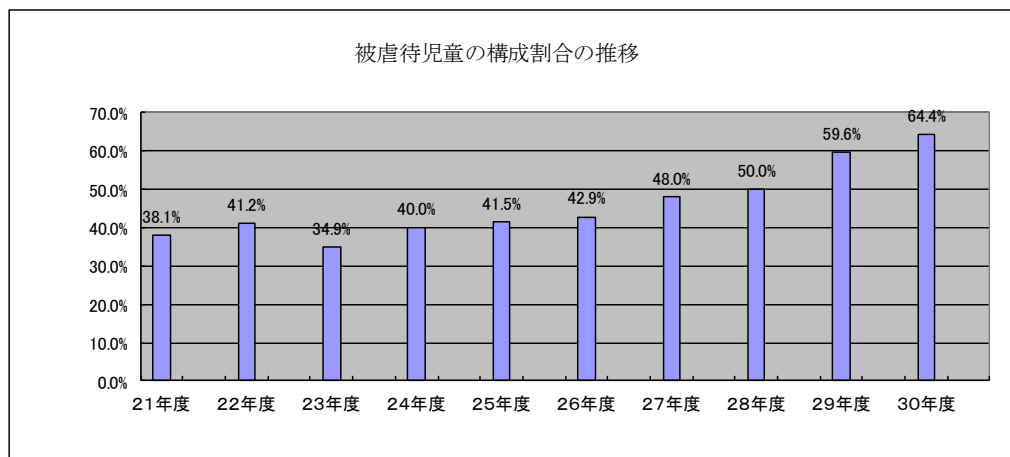
⑤入所理由別児童数（主訴）

死亡	行方不明	離婚	不和	拘禁	入院	就労	精神障害	虐待	放任	心身の虐待	性的虐待	棄児	養育拒否	経済的	児童の問題	その他	合計
0	2	0	0	3	1	0	0	13	11	5	2	0	0	8	0	14	59
0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	5.1%	1.7%	0.0%	0.0%	22.0%	18.6%	8.5%	3.4%	0.0%	0.0%	13.6%	0.0%	23.7%	100.0%



⑥入所前に虐待またはその疑いがある児童数の推移

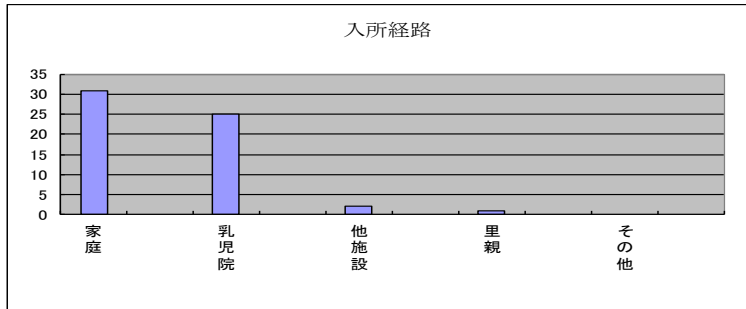
年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
被虐待児	32	35	29	34	34	33	36	35	34	38
入所数	84	85	83	85	82	77	75	70	57	59
構成割合	38.1%	41.2%	34.9%	40.0%	41.5%	42.9%	48.0%	50.0%	59.6%	64.4%



被虐待経験のある児童は全体の約6割である。

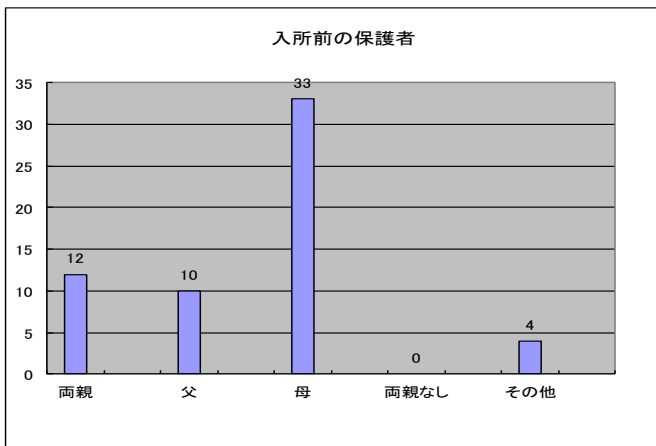
⑦ 入所経路

家庭	乳児院	他施設	里親	その他	合計
31	25	2	1	0	59
52.5%	42.4%	3.4%	1.7%	0.0%	100.0%



⑧ 入所前の保護者

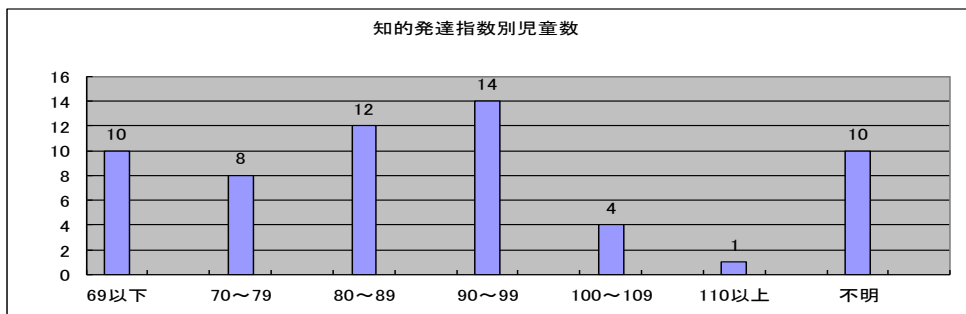
両親	父	母	両親なし	その他	合計
12	10	33	0	4	59
20.3%	16.9%	55.9%	0.0%	6.8%	100.0%



入所児童の保護者の約6割が「実母」である。さらに保護者の学歴を見るとほとんどが「中卒」「高校中退」であり、保護者自身が適切な環境で養育されていたことも窺われる。

⑨ 知的発達指数別児童数

69以下	70～79	80～89	90～99	100～109	110以上	不明	総数
10	8	12	14	4	1	10	59
16.9%	13.6%	20.3%	23.7%	6.8%	1.7%	16.9%	100.0%



⑩ 平成31年4月進路状況

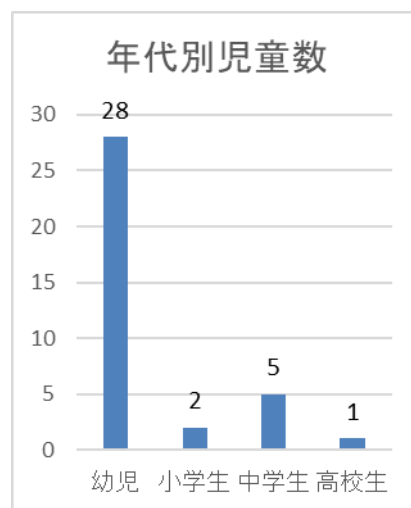
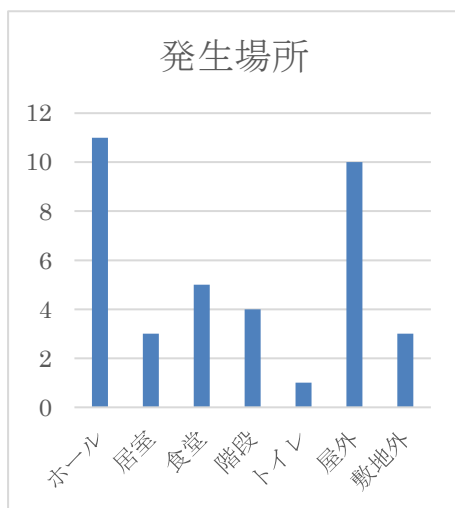
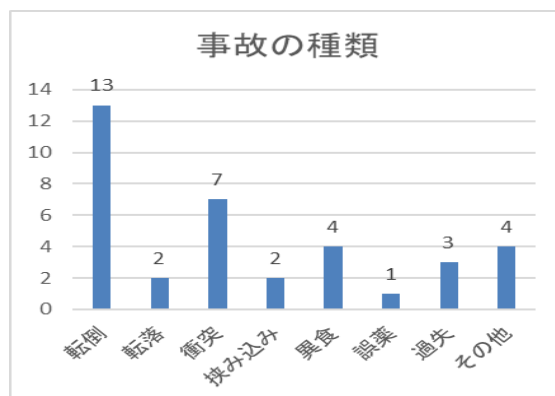
- ◇進学（高校等） 名
  - 内訳 公立高校 6名（うち2名家庭引き取り、1名ひろみへ移行）
  - 私立高校 1名
  - 漁業高等学園 1名
- ◇進学（大学、専門学校等） 0名
- ◇就職自立 2名
  - 内訳 YAZAKIエナジー（株）
  - パーパス（障害者グループホーム利用）

(資料4) 事故・ヒヤリハット報告

①事故報告

番号	期日	氏名	学年	発生時間	発生場所	種別	内容
1	4月17日	TS	幼児	15:50	ホール	過失	保育士が本児の爪を切っていたときに本児が動き、その拍子に誤って右手中指の先を切ってしまう。消毒程度で済んだ
2	4月1日	MK	中学生	6:45	食堂	過失	卵の食物アレルギーがあったが、マヨネーズ入りの和え物を間違えて食べてしまった。特に悪い症状は出なかったが注意を徹底する事
3	4月22日	OY	中学生	18:15	居室	衝突	夕食時に自室で寝入ってしまったため男性職員が起こしに行った。なかなか起きず両手を持って上体を起こしたが、再び倒れ込んだときに机の角に眉間をぶつけてしまった。出血はなく赤みが残った程度。生活習慣の乱れが目立つ児童であり、指導を徹底したい。
4	4月25日	KJ	幼児	不明	敷地外	その他	姉とトラブルになり左胸付近にかみついた
5	5月8日	HM	高校生	19:45	敷地外	衝突	自転車で下校中、前から来た自転車と衝突。怪我はないが自転車が一部破損
6	5月30日	FK	幼児	15:30	ホール	挟み込み	テレビを見ていた中学生が遊んでいた幼児に「うるさい」と言い、無視した幼児に向かっていった。幼児は自室に逃げ込みドアを挟んで引っ張り合いになり、引っ張られた拍子に足の親指をドアに挟んで出血。後日爪がはがれた。三日市整形外科通院
7	6月26日	OA	中学生	未確認	ホール	誤薬	頓服を誤って服用してしまった。副作用なし
8	7月17日	NY	幼児	未確認	ホール	その他	他児にかみつく。かみつき痕がしばらく残った。
9	8月5日	NY	幼児	16:10	屋外	転落	ジャングルジムから手を滑らせて転落。約1.5mの高さからだったが怪我はなし。
10	8月6日	TS	幼児	18:05	食堂	その他	夕食時に出たフルーツポンチの白玉団子がのどに詰まった。背中を叩いてはき出させた。
11	8月14日	NY	幼児	16:00	ホール	転倒	立ったまま上体を反らし後ろへ転倒してソファの角に後頭部をぶつけた。少量の出血。消毒して冷やす。
12	8月22日	HK	幼児	未確認	屋外	異食	水遊び中に泥水を口に含む。注意して出させると、直後に砂を口に入れてしまう。水で洗い流す。
13	8月23日	NY	幼児	11:30	居室	挟み込み	ベランダのサッシを開閉していたずら。薬指第1関節を挟み込んで皮がむけた。消毒と絆創膏で処置。
14	8月30日	KJ	幼児	14:30	ホール	異食	瀬戸物の破損部分で遊んでいたため注意すると飲み込んでしまった。通院してレントゲン撮影。便と共に排出されるのを待つよう医師から指導。
15	9月12日	TS	幼児	18:00	食堂	衝突	他児が本児の顔を触るのを嫌がって頭を振った際にテーブルに額をぶつけた。左眉上に痣。
16	10月8日	TS	幼児	10:00	屋外	衝突	自分で投げた石が自身の頭部に直撃。2mmほどの裂傷。
17	10月8日	NY	幼児	16:30	ホール	衝突	ホールのソファに足の親指をぶつけてしまい爪が少しはがれてしまった。はがれた部分を詰めきりで切って消毒と絆創膏で処置。
18	10月29日	OH	幼児	19:30	ホール	異食	ごく少量だが画用紙の端切れを口に入れ、ふやけた状態で飲み込んでしまった。よく異物を口に入れる子なので要注意
19	10月31日	FK	幼児	未確認	ホール	過失	職員が爪を切っていたときに左手人差し指の皮を誤って切ってしまう。少量の出血。消毒と絆創膏で処置。
20	11月4日	OT	中学生	15:30	屋外	転倒	バドミントンをしている最中に足を滑らせて怪我。左足首の捻挫。三日市整形外科通院
21	11月14日	IT	小学生	18:45	ホール	転倒	バランスボールで高校3年生と蹴り合って右足首を骨折（関節外果骨折）鈴木整形外科通院
22	11月18日	HK	幼児	未確認	屋外	転倒	敷地内の坂道でバランスバイクを走らせていたときに転倒。ガードレールにぶつかったんこぶかできた。患部を冷やして対応。
23	11月21日	FK	中学生	6:40	食堂	誤食	アレルギーが含まれるカニかまロールを食べてしまった。中高生の除去食を本人任せにしてしまったミスがあった。土屋医院通院。服薬していたため大事に至らず。
24	11月24日	FK	幼児	18:30	階段	転倒	夕食後に部屋に戻る途中、階段で転倒、脛に痣。患部を冷やして対応。

25	11月24日	HK	幼児	19:00	ホール	異食	台所流し台の桶の水を飲んでしまう。
26	11月25日	UK	幼児	8:00	階段	衝突	踊り場でふざけていてドアに顔をぶつけてしまい少し痣
27	1月2日	NY	幼児	12:10	敷地外	その他	初詣の屋上で綿飴とチョコバナナを食べた後に腹痛と嘔吐のアレルギーショック症状を起こした。本児の卵、ナッツ類は含まれていないはずだが混入の可能性は否定できない。医療センターは大変な混雑で症状も落ち着いてきたため受診せず。こども病院にて新たに頓服を処方してもらった。安全性を確認できないものは口にさせないことを徹底する。
28	1月9日	KN	幼児	12:30	階段	転倒	階段で足を踏み外して転倒。抱えていたカゴに顔をぶつけて少し痣
29	1月9日	OH	幼児	16:30	屋外	転倒	バランスバイクを走らせていたときに転倒、額とあごをすりむいた。消毒と絆創膏で処置
30	1月27日	IN	幼児	15:00	屋外	転落	滑り台の階段に腰掛けた状態で滑り落ちてしまった。怪我なし。
31	2月8日	HM	幼児	8:30	トイレ	転倒	他児と先を争ってトイレに走り、転倒して男子用便器に頭部をぶつけた。右目下に腫れと痣。患部を冷やして湿布。
32	2月9日	MM	幼児	15:40	屋外	転倒	玄関外側に階段で縄跳びをしようとして転倒。腰をあたりから落ちたが怪我はなし。
33	2月8日	TS	幼児	18:00	食堂	その他	食事中に鉄火丼のマグロの筋がのどに引っかかった。自分で取り出した。
34	2月21日	TS	幼児	15:00	居室	転倒	居室でボールを投げて遊んでいた時に躓いて転倒、机にあごをぶつけてしまった。唇から出血とあごに痣。
35	2月22日	KJ	幼児	8:45	敷地外	転倒	幼稚園登園中に前の子どもに遅れて離れたことで手を繋いでいた姉が引っ張ったことで転倒した。注意を受けた姉は横断歩道内で座り込んでぐずった。
36	3月5日	IN	幼児	17:00	屋外	転倒	玄関先で職員に座った状態で向かい合って抱っこされていたが、本児が後ろにのけぞって支えきれず転倒。後頭部をタイルにぶつけ少量の出血と腫れ。消毒と冷却
37	3月5日	IT KT	小学生 幼児	18:30	階段	転倒	小学生が幼児を抱きかかえて階段を降りようとして転倒。
38	3月17日	KK	小学生	10:50	屋外	衝突	キャッチボールしていたがボールを受けられず鼻頭に当たって鼻血



②ヒヤリハット報告

番号	期日	氏名	学年	発生時間	発生場所	種別	状況
1	4月12日	KN	幼児	不明			原田幼稚園で本児の座布団から縫い針が出てきた。
2	4月22日	IN	幼児	18:15	食堂		食卓にあった果物ナイフをなめた。幼児の近くに置かない
3	6月22日	KJ	幼児	15:30	屋外		非常滑り台を3階付近まで登ってしまった。幼児の動きには細心の注意を図ること。
4	6月30日	KJ	幼児	不明	屋外		職員と外出中に交差点を渡るときに安全確認を怠って渡ろうとして職員に止められた。
5	7月10日	HK	幼児	10:30	屋外		砂山で遊んでいた時にガラス片が紛れているのを発見
6	7月16日	OH	幼児	8:30	ホール		丸めたセロテープを口の中に入れていた。
7	7月15日	FK	幼児	19:30	保母室		ムヒを勝手に取り出して塗っていた。
8	7月17日	TS	幼児	不明	屋外		滑り台で遊んでいた時にふざけて落ちそうになった。
9	8月7日	HM	幼児	15:00	屋外		フェンスに登ろうとして注意された。
10	8月7日	OH	幼児	16:00	屋外		フェンスに登っていて注意された。一番上にまたがっていた。
11	8月9日	TS	幼児	13:30	屋外		移動パン屋の車の排気口に指を入れた。熱くはなかったので怪我には至らず。
12	8月9日	HK	幼児	13:30	屋外		
13	8月29日	KJ	幼児	14:30	ホール		机の上に置いてあった爪切りで髪の毛を切ろうとしていた。
14	8月29日	NY	幼児	14:30	ホール		
15	9月1日			21:00	ホール		高校生が食器洗いをしている際に包丁が床に落ちた。
16	9月2日	OH	幼児	17:00	居室		実習生と部屋で遊んでいたときに5mmほどのビーズを口に入れていた。飲み込むことはなかった。恣意沙奈ものは保母室で管理しているので出所は不明。
17	9月19日	KJ	幼児	14:20	公用車		幼稚園からの帰園後、社内ですべて寝てしまった本児において引率職員が他児を部屋に連れて行った。運転職員はそれを知らず駐車場に止めて建物内に戻った。10分程度後に上記の事実を知って慌てて車に見に行っ。駐車するまで冷房しており社内は涼しかったため大事に至らず。
18	9月29日	KJ	幼児	13:00	ホール		空き缶のプルタブを口の中に入れていた。職員が気づいてすぐに出させた。
19	11月1日	HK	幼児		浴室		兄弟で入浴中に湯船の中で兄を押し倒して顔を押しえて湯船につけた。一緒にいた職員がすぐに対応した。知的障害があるため理解させることが難しい。
20	12月1日	MM	幼児	15:30	外出中		職員と外出中に拾ったたばこの吸い殻を口にくわえようとして職員から注意された。

(資料5) 苦情・要望受付状況

番号	期日	申し出人	分類	内容	処理経過
1	10月5日	中3男子	苦情	平成29年4月分の小遣い(1,300円)が入っていない。	指導員が小遣い帳を詳細に確認した結果、もらっている小遣い以上に使っていることが判明。不正に入手したお金もある事がわかる。計算上ではもらっている小遣い以上のお金を持っていたことになる。本人との話し合いの結果リセットして現状から始めることとする。

## (資料6) 出張記録

### 施設長関係

#### ①全国児童養護施設協議会

10/17～19	第72回全国児童養護施設長研究協議会	札幌
12/13～14	社会的養護施設長研修会	東京 灘尾ホール

#### ②関東ブロック児童養護施設協議会

7/5～6	第54回関東ブロック児童養護施設研究協議会	栃木県
10/4～5	第33回関東ブロック児童養護施設職員研修会（運営）	熱海市

#### ③静岡県児童養護施設協議会

4月19日	5月17日	6月14日	6月21日	7月19日	9月20日
10月12日	11月20日	12月20日	1月17日	2月21日	3月14日

#### ④東部児童福祉施設長連絡会

5月9日	7月11日	11月21日～22日	1月9日	3月13日	
------	-------	------------	------	-------	--

#### ⑤富士県域社会福祉施設長連絡会

5月14日	7月25日	10月9日	11月12日	3月6日	
-------	-------	-------	--------	------	--

#### ⑥第10回児童虐待防止静岡の集い実行委員会

7月2日	9月10日	10月29日	11月10日	12月10日	1月28日
2月20日	3月5日				

#### ⑦その他

5月17日	静岡県立三方原学園園遊会	三方原学園
6月27日	常葉大学実習連絡会	常葉大学草薙キャンパス
10月22日	富士市文教民生委員意見交換会	富士市役所
10月30日	静岡県立吉原高校110年記念式典	ロゼシアター
11月3日	富士市サッカー協会50周年記念式典	ペアステージ・ノイ
11月4日	小田原女子短大 保育士養成保育士養成情報交換会	プラザ ヴェルデ
1月8日	県養協 県知事新年挨拶	静岡県庁
2月8日	静岡県少子化対策協議会	静岡県庁
2月15日	児童家庭支援センターパラソル年次報告会	青葉台まちづくりセンター

### 職員関係

#### ①県養協 指導員保育士部会（手川）

4月19日	9月6日				
-------	------	--	--	--	--

#### ②県養協 福祉研究会（田中）

4月25日	5月23日	6月12日	7月18日	9月25日	10月29日
11月10日	12月14日	2月26日	3月18日		

#### ③県養協 家庭支援専門相談員部会（持田）

5月31日	7月12日	9月27日	11月27日	2月7日	
-------	-------	-------	--------	------	--

#### ④県養協 里親支援専門相談員部会（田中美 赤石）

4月22日	ふじ虹の会総会 IFCA				
5月30日	8月1日	9月13日	11月7日	2月1日	2月6日

#### ⑤県養協 心理職員部会（山本 種田）

5月24日	9月6日	12月6日	2月7日		
-------	------	-------	------	--	--

#### ⑥県養協 栄養士調理員部会（秋山）

5月7日	9月19日	2月19日	3月14日		
------	-------	-------	-------	--	--

#### ⑦県養協 事務職員部会（鳥越）

6月25日	9月25日	2月12日			
-------	-------	-------	--	--	--



## (資料7) 研修記録

### ①外部研修

期 日	内 容	会 場	人数
1 5月15日	指導員保育士部会「レクリエーション～野外活動～」	岩倉学園	2
2 6月12日	県養協新任職員研修会	あざれあ	2
3 6月12日	衛生・栄養管理講習会	ロゼシアター	2
4 6月19日	社会福祉法人施設事務職員基礎講座①	静岡労政会館	1
5 6月22日	社会福祉法人施設事務職員基礎講座②	静岡労政会館	1
6 6月24日	臨床心理士会総会	あざれあ	1
7 7月10日	指導員保育士部会「小規模ケアの現状と課題～現場からの提言」	すみれ寮	5
8 7月20日	施設事務職員経理応用講座①	グランシップ	1
9 7月23日	施設事務職員経理応用講座②	グランシップ	1
10 7月25日	食物アレルギー研修	県立こども病院	4
11 8月16日	静岡DCAT登録印養成研修①	あざれあ	2
12 8月17日	静岡DCAT登録印養成研修②	あざれあ	2
13 9月11日	指導員保育士部会「コミュニケーションスキル」	春風寮	5
14 9月13日	里親支援部会「児童支援におけるセラプレイの可能性」	静岡恵明学園児童部	1
15 9月14日	社会福祉法人施設事務職員基礎講座③	静岡労政会館	1
16 9月14日	少年非行研修	県立三方原学園	4
17 9月19日	県養協栄養士調理員部会 調理実習	三島市生涯学習センター	3
18 9月20日	子どもの食物アレルギー講座	富士総合庁舎	4
19 9月25日	事務部会「児童養護施設等における財務管理」	シズウェル	2
20 10月4日	第33回関東ブロック児童養護施設職員研修会	熱海後楽園ホテル	4
21 10月6日	児童福祉におけるスキルアップ研修	静岡レイアップ御幸町	1
22 10月9日	指導員保育士部会「子どもと遊び」	静岡恵明学園児童部	2
23 10月9日	安全運転管理者講習	静岡県総合健康センター	1
24 10月10日	富士県域社会福祉施設初任者研修	富士宮市	2
25 10月29日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修①	三島市商工会議所	1
26 10月30日	支援技術研修（～10月31日）	県立吉原林間学園	1
27 11月2日	静岡県児童相談所性教育講演会・全国保健師等性感染症予防対策研修会	藤枝総合庁舎	2
28 11月2日	富士県域社会福祉施設 地域福祉講演会	ロゼシアター	2
29 11月12日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修②	三島市商工会議所	1
30 11月13日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修③	三島市商工会議所	1
31 11月24日	性教育講演会	フィランセ	2
32 11月30日	子ども虐待防止学会（～12月1日）	倉敷市民会館・川崎医療福祉大学	1
33 12月7日	指導員保育士部会「中堅職員研修」	静岡恵明学園児童部	1
34 12月13日	社会的養護を担う児童福祉施設長研修会（～12月14日）	全社協灘尾ホール	1
35 12月7日	県養協 権利擁護研修①	シズウェル	1
36 1月7日	調理技術研修会	フィランセ	1
37 1月20日	県養協 権利擁護研修②	シズウェル	1
38 1月22日	三方原学園宿泊研修及び支援技術研修会	県立三方原学園	1
39 2月4日	第1回関東ブロック児童養護施設事務・運営管理者研修会（～2月5日）	箱根富士屋ホテル	2
40 2月13日	児童福祉施設審理担当職員合同研修	子どもの虹情報研修センター	1
41 2月19日	決算実務講座①	グランシップ	1
42 2月20日	決算実務講座②	グランシップ	1

②園内職員研修会

期 日	研 修 内 容	担当・発題
5月15日	ケースカンファレンス	金森 大原 田村 加藤
6月26日	思春期について	山本
7月17日	ケースカンファレンス	中垣真通氏（子どもの虹情報研修センター）
9月12日	自立（リービングケア・アフターケア）について	種田 持田 手川
10月15日	ケースカンファレンス	田中 赤池 樋澤 田中紅
11月14日	自主研修発表会	栗田 大原 平岩
1月29日	自分を知らう～エゴグラムを通して～	山本 赤石
2月19日	新任職員の振り返り	植之原 秋山萌

③園内新任職員研修

期 日	研 修 内 容	担当

④感染症予防対策委員会

実施日	月1回	
-----	-----	--

（資料 8）性教育・心理対応

①性教育学習会実施状況

対 象	期 日	テーマ	目 的 ・ 内 容
幼児	3月	身体感覚	自分の身体を動かす楽しみを感じ、体に興味を持つ。 絵本『からだっていいな』の読み聞かせを行う。そこに出てきた「楽しい」「疲れた」「くすぐったい」などを職員と遊びながら自身の身体で実感してみる。 身体・感覚・感情が結びついていることを実体験する。
高校女子	3月	人生設計	高校生たちと職員がフリートークで将来のことを一緒に考えた。 自分たちが今後歩むであろう進路は、どのようなものがあるのか。そういった進路を進むためには、どういったコストが必要なのか。また、どのようなリスクがあるのか。そのために今するべき事は何なのか。等々、具体的に考えていった。

②セカンドステップ

グループ	対象人数	実施回数
A	3名	7回
B	4名	6回
C	3名	2回

③個別心理対応

氏 名	年齢・学年	実施回数	
M・M	小4	28回	4月～12月（12月家庭引き取り）
S・D	小6	37回	4月～3月

(資料9) ひまわりの種

①【小学生の部】

期 日	テーマ (議題)	内 容
4月22日 (土)	第1回 「メンバーと役割分担」	●新メンバー ・6年生2名、5年生3名の構成。 ・運営 司会は持ち回り。書記は2名で回す。
	「外掃除について」	●取り組み方 ・現状…毎週1回、ユニット毎に決められた箇所をやる。小学生人数が減り、掃除が大変になってくるユニットもある。 ・中高生掃除が毎日では無くなり、週替わりとなった事を受け、小学生も変更してはどうか？ →中高生掃除の週に、小学生も外掃除を実施。但し、週末(土日)のみの実施とする。この案を職員会でも聞いてみる。
	「野菜栽培」	●今年度の取り組み ・今年も育てたい希望有り。→4月23日(日)に、畑耕作作業。
5月2日 (水)	第2回 「登下校 交通安全」	●登下校状況の確認 ・新学期が始まって約1ヶ月。この期間の小学生登下校状況について、メンバーからの情報提供。 ・“遠足おやつの残りを食べながら帰る” “小2の2人の下校が遅い” “小1を連れて行かない小6の子がいた” など。 ・種会メンバー内でも問題のあった子へは、問題意識を持ってもらう。種会以外の子には、メンバーから注意をする事になる。
	「畑耕作・野菜植え」	●今後の計画 ・栽培野菜…シシトウ、ピーマン、キュウリ、ナス、トマトを植える。 ・苗購入日など…5月7日、9日の午後。その後、耕作作業。
5月9日 (水)	第3回 「種会主催行事について」	●経緯 ・昨年度のペイブレイド大会を受け、今年度も何か企画して実施したい。オセロ リレー 囲碁 長縄 絵画 トランプ クッキング お笑いなど。次回種の会で選定する。
	「野菜栽培」	●水やり当番決め
5月11日 (金)	「外掃除について」	●外掃除 取り組み方の変更について ・5月11日(金)16時～ 小学生を集め、種会から外掃除変更点について説明
6月3日 (日)	第4回 「野菜栽培」	●栽培品目追加 ・インゲン豆を栽培したい。プランターでの栽培を進める。 ・その他。収穫後、どうするか。今後検討。
	「種会主催行事」	●企画 ・小学生のみ対象行事にするか。(小学生16人)
6月8日 (金)	第5回 「種会主催行事」	●企画 ・オセロ大会とトランプ大会の実施。 オセロ大会は県養主催行事(11月23日予定)の園内予選の手伝いを行う。 トランプ大会は完全に種会主催で有り、企画運営全てを種会で担う。 →神経衰弱とババ抜きに決定。夏休み時期に実施したい。
	「野菜栽培」	●収穫後に向けて ・ナス、ピーマン、キュウリは厨房へ届ける。 シシトウ、トマトは自由に取って良いにする。
6月29日 (金)	第6回 「フリーマーケット」	●フリーマーケット商品の整理、値付け作業 ・各居室から集まった物の値付け作業を行う。
7月1日 (日)		●フリーマーケットでの販売 ・収益4,430円は、今後の種会運営において利用する。
8月2日 (木)	第7回 「野菜栽培」	●栽培状況 ・ナス虫喰い状態。トマトは枝が折れている。キュウリはフェンス裏手に出来て、収穫しづらい状況。この状況を種会メンバーが分かっている事が問題。
	「トランプ大会実施に向けて」	●企画 ・場所、準備する物、実施予定日、参加児童について。 →学習室(仮)で実施。小学生全員では無く、希望制にする。
8月29日 (水)	第8回 「登下校 交通安全」	●最近の状況確認 ・登下校中に、遊びながら行き来する子が複数名いる。 ・遊ぶ子が固定化している傾向がある。
	「トランプ大会実施に向けて」	●実施に向けて ・日程:9月29日(土) 学習室にて。小学生対象(ひろみにも声掛け)で、希望を募る。 ・9月1日迄にポスター作成、掲示。9月7日締め切りで参加募集をかける。 ・賞品(参加賞や優勝賞品)や賞状の準備。

9月8日(土)	第9回 「トランプ大会実施 に向けて」	●実施に向けてルール作り ・参加希望 小学生15名。(神経衰弱8人、ババ抜き7人) ・トーナメント戦、及び総当たり戦を組む。
9月28日(金)	第10回 「トランプ大会準備」	●各種準備作業 ・賞品(お菓子)包装、トーナメント表作成、時間割、開閉会式の次第作成。 ・当日の役割分担の確認。司会進行、審判など。 ・会場(学習室)レイアウトについて検討。
9月29日(土)	第11回 「トランプ大会当日」	●直前準備 ・会場設営、開会式や大会運営のリハーサル。 ●大会 ・小学生15名の参加(ひろみからも4人参加)。神経衰弱、ババ抜きを行う。 ・開会式～競技～閉会式の流れを、種会メンバーのみで実施する。
10月20日(土)	第12回 「トランプ大会反省」	●反省、気付き ・メンバー及び、担当職員から反省点や、気付きを述べてもらう。 ・競技の性質上、仕方ない部分もあるが、時間が短かったという意見が複数。また、早々に負けた子への別プログラムを用意しても良かったのではないかと、という意見も出る。 ・負けた子にも参加賞という形で景品を用意したのは良かった。
	「野菜栽培」	●畑の跡 ・夏の間に、キュウリやナス、シシトウなど少ないまでも食材提供できたのは良かった。 ・シシトウだが、唐辛子状態になってまだ育っている状態。それを抜いて整地する。 →次回までに畑をどうするか、考えてくる事。
11月7日(水)	第13回 「ADEKA対応」	●お礼の言葉について ・毎年11月頃の餅つきボランティアで、児童代表として種会メンバーがお礼の言葉を述べる。その口上をみんなで考える。
	「野菜・花の栽培」	●冬季をどうするか? ・二十日大根栽培と花を新たに植える事に決まる。
	「自転車で遊ぶ時…」	●危険な乗り方の子がいる ・自転車で乗車して遊ぶ子達の中に、両足が地面につかないのに乗り回している子がいる。 →食事時間帯を使い、種会から子ども達に「両足が着く自転車で遊ぶ事」の声掛けを行う。11月25日(日)に行う。
11月24日(土)	第14回 「野菜・花の栽培」	●前回の続き ・安易に「冬も野菜を育てたい」と言うメンバーに対し、担当職員から夏場の無責任な栽培の様子について指摘。 →安易に「やっぱりやらない」と答えるメンバーに対し、責任を持って取り組んで欲しい事が一番、と伝える。 →栽培する事に決まる。12月2日(日)に買い出し。
	「今後話し合いたい事」	●希望 ・子どもだけ(小学生)で映画館に行きたい。 ・土日も友達に誘われたら、外出に行きたい。 →これに関しては、ひまわり園全体でアンケートを取る事になる。
	「登下校 交通安全」	●最近の様子から ・ゴミ出し場を漁る、散歩中の犬を触りに行き離れない、本を読みながら下校、他人の家前にて、その家の人の名前を大声で叫ぶ など。 →明日(11月25日)、19時から小学生全員を呼び出し、注意を促す。先の自転車の注意も同じく行う。 ・この時の種会メンバーの役割を決め、誰が何を伝えるかを整理する。また、内容としては名指しでの注意、それでも改善無き場合には種会メンバーと一緒に登校する意向を伝える事になる。
11月25日(日)		●小学生への注意喚起 ・予定通り、登下校と自転車乗車について話をする。
1月13日(日)	第15回 「外出届のルール変更」	●ルール変更に向けた準備 ・アンケートを取る。その為にアンケート内容を検討。賛成か反対か、だけではなく、外出に関して自由意見ももらう。 ・職員と小学生以上に配布。 ・1月19日までにアンケート用紙の叩き台を作成。3人に依頼する。
1月19日(土)	第16回 「外出届のルール変更」	●アンケート用紙配布準備 ・種会3人がそれぞれにアンケート用紙を作成。それをみんなで見ながら、少し手直しした物を配布する。今月中に回収する予定。
	「野菜・花の栽培」	●その後 ・二十日大根の種が余っているので、1月20日(日)に植え増しする。 ●11月25日の注意喚起、その後の様子 ・人の家の階段に昇る、駐車場で遊ぶ、犬を触る…相変わらず11月の時にも名前の挙がった子が複数いる。 →この子に関しては、種会メンバーと一緒に登下校を行う事とする。本人には「連れて行く」ではなく、「一緒に行こう」という誘う形を言う。 →種会メンバーにも名前の挙がった子がいたので、その子には謝罪をしてもらう。また自分で正しく登下校する事を約束してもらう。

2月10日（日）	第17回 「外出届のルール変更」	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アンケート結果より</li> <li>・賛成57票 反対6票（絶対に反対、という意見は見られなかった）</li> <li>・自由記述欄にあった意見。</li> <li>→・現行ルールをしっかりと守る事。日頃の生活状況を見ながらその都度、許可を出す。・信頼関係を大切に（外出に関する嘘をつかない）。・指導員不在の時には許可出来ない。等の意見があった。</li> <li>→これらの結果を元に、3月の職員会で職員としての答えを求め、出す事にした。</li> </ul>
3月26日（日）	第18回 「外出届のルール変更」	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外出届ルール変更決定</li> <li>・3月の職員会で、ルール変更許可が下りる。</li> <li>→「平日も休日も、友達に誘われた時に限り、当日の外出を許可する」</li> <li>・居室担当保育士と当番指導員の2名に外出届を提出、許可を得る事。</li> <li>・指導員不在の時は、外出を諦める。</li> <li>・外出届の記入項目はしっかりと書く。特に連絡先電話番号。</li> <li>・相互の信頼関係を大切にすること。</li> <li>（大人は押印の責任、子どもは誠実に外出届を書く）。</li> <li>→全体への発表は、4月に入る前に種会メンバーから子ども達に行う。</li> <li>また、掲示用に担当職員が書面作成する。</li> </ul>
	「年間振り返り」	<ul style="list-style-type: none"> <li>●メンバー個々に振り返り、感想を述べてもらう</li> <li>・小6男子…話し合い中に喋りすぎたりして怒られる時もあったのは反省。トランプ大会では、負けて怒る人もいたが、楽しく出来たと思う。野菜は厨房で使ってもらえて良かった。</li> <li>・小6女子…これまでと異なる活動として、冬に野菜や花を育てた事やトランプ大会が出来て良かった。</li> <li>・小5女子…小学生を集めて交通安全について教えてあげられた。その後、改善が見られたのは良かった。畑の水やりをさぼってしまい、怒られた事もあったが、全体に色々話し合いながら進める事が出来た事が良かった。来年度は今年出来なかった事を出来る様にしたい。</li> <li>・小5女子…大変だったのは畑。暑い中、耕したり、野菜を植えるのは大変だった。でも収穫は楽しみだった。トランプ大会も、種会で話し合い打合せをし、実行。みんなを楽しませる事は出来たと思う。自分達も成長する事が出来たと思う。</li> <li>・小5女子…最初は種会の仕事に分からなかった。6年生に教えてもらいながら少しずつ分かっていった。登下校の事ではルールやマナーを守らずにみんなに迷惑をかけてしまった。その他の事でも、怒られたり、失敗したりしたが、それが成功に繋がると思う。次の種会メンバーにもそれを教えたい。</li> </ul>

## ②【中高生の部】

期 日	テーマ（議題）	内 容
5月16日	朝の礼拝について 部屋割りにについて	簡略化したいとの要望あり。 中高男子ユニットの復活について。
6月20日	朝の礼拝について 富士まつりにについて 中学生の外出について	引き続き議論を継続。 中学生の夜間外出の希望。 一日外出の要望。
7月12日	朝の礼拝について 富士まつりにについて	簡略化の了承。 例年通り、部屋での外出となる。
9月12日	部屋割りにについて 長期休み中の外出について 中学生の一日外出について	中高男子ユニットの復活の要望。 イベント的な遠距離の外出を希望。 引き続き議論継続。
10月10日	ベッドのサイズについて 礼拝について	サイズの合わないベッドを変えてほしいとの要望。 もう少し自覚を持って取り組んでほしいことを共有。
11月21日	ユニット間交流について 長期休み中の外出について 中学生の一日外出について クリスマス会について	他の部屋に遊びに行きたいとの要望。 個別の相談に応じると返答。 個別の相談に応じると返答。 役割分担について確認。
12月13日	クリスマス会について 通塾について 参考書について	役割分担について再確認。 通いたいとの要望あり。 購入してもらいたいとの要望あり。
1月23日	通塾について	引き続き議論を継続。
2月13日	朝礼について 配膳の時間について 行事について	朝礼変更後の振り返り。 早すぎるので遅くしてほしいとの要望。 学童を幼児を分けてほしいとの要望。
3月5日	年間の振り返り	継続的な対話の重要性について共有。

(資料10) 地域社会活動

①ボーイスカウト活動(富士一団)登録人数13名

期日	活動内容	活動場所
4月28日	富士地区総会	章泉閣
5月5日	緑の羽の募金	アピタ吉原店
7月22日	富士まつり奉仕	富士中央公園
7月28・29日	夏季野外訓練(悪天候のため中止)	須津川休養林キャンプ場
9月16日	富士地区ビーバースカウト集会	岩本山公園
10月21日	富士地区カブスカウト集会	富士西公園
12月	クリスマス飾り制作	団本部
12月30日	富士山女子駅伝奉仕	富士宮・富士
1月19日	地区新年会	章泉閣
2月3日	国際交流フェア	富士山メッセ
2月24日	富士地区B P祭	中央公園

②吉原小学校子ども会活動

期日	活動内容	結果・備考
5月28日	第11回 吉原小校区ドッジボール大会	高学年男子(合同チーム) 優勝 高学年女子(合同チーム) 予選敗退 低学年男女混合(合同チーム) 予選敗退
6月16日	盆踊り練習①	天王祭にむけ、今泉小緑ヶ丘町内の子ども達と踊り練習を一緒に行う。(小5・6年の参加)
6月30日	盆踊り練習②	
7月2日	うきうきフリーマーケット	売上金4,430円 種の会活動費に充てる。
7月7日	盆踊り練習③	盆踊り練習①②に同じ。
7月14日	緑ヶ丘町内天王祭	今泉小の子達と一緒に神輿を担ぎ、練り歩く。
8月26日	第10回中部ブロックドッジボール大会	高学年男子(合同チーム) 初戦敗退
12月16日	お楽しみ会	カップスタッキング・富士山かるた 他

③芙蓉会フットボールクラブ(通称:F F C)登録選手10名

期日	内容	結果・備考
6月9日・10日	ふじしんカップ(前期)	1分2敗
9月23日・24日	ふじしんカップ(後期)	1勝2敗
10月7日	富士市スポーツ少年団大会	小学4、5、6年の参加
10月28日	富士サッカーフェスティバル	小学5、6年の参加
1月5日	岳南大会 予選	3敗
1月6日	岳南大会 順位決定戦	2敗

④地域貢献活動(買物送迎プロジェクト)

期日	内容
9月13日	第1回会議
11月12日	第2回会議
12月18日	第1回買物支援(ひまわり園不参加)
12月19日	第3回会議
1月15日	第2回買物支援(ひまわり園不参加)
2月19日	第3回買物支援(ひまわり園不参加)
2月28日	第4回会議
3月19日	第4回買物支援(ひまわり園不参加)
3月28日	第5回会議

(資料 1 1) 行事の実施状況

①静岡県児童養護施設協議会行事

期日	実施行事	結 果
5月12日	第36回静岡県児童文化奨励絵画展	銅賞3名 特別奨励賞1名 佳作4名
5月22日	第6回二県一市親善野球大会	優勝：神奈川 2位：名古屋 3位：静岡
8月23日	第47回静岡県児童福祉施設夏季球技大会	台風のため中止
11月23日	秋季文化交流会（オセロ大会）	4名参加
1月13日	第41回静岡県児童福祉施設冬季球技大会	小学生男子 第4位
		小学生女子 準優勝
		中高生男子 優勝

②園内行事

期日	実施行事	部屋名	参加児童数	引率職員数
4月21日	Jリーグ観戦（招待）	希望者	4	1
5月3日	白尾山公園	かえで	5	3
5月4日	丸火自然公園バーベキュー	さくら・りんどう	18	6
5月4日	映画鑑賞と外食	さくら	3	1
5月6日	日本平動物園と外食	けやき	9	4
5月12日	Jリーグ観戦（招待）	希望者	4	1
6月24日	静岡市街散策と外食	かえで	3	1
7月23日	マリンプール	さくら	3	2
7月28日	富士宮市民プール	けやき	4	2
7月31日	富士登山	希望者	14	8
8月3日	富士宮市民プール	さくら・りんどう	14	4
8月3日	海水浴	かえで	8	4
8月6日	富士サファリパーク	りんどう	4	1
8月6日	カラオケ	りんどう	2	1
8月10日	海水浴	希望者	37	16
8月20日	大棚の滝	かえで	9	5
8月21日	マリンプール	りんどう	8	2
8月21日	アサヒ飲料富士山工場見学、富士ミルクランド	けやき	3	1
8月24日	桃沢野外キャンプ（～8月25日）	さくら	8	3
8月24日	マリンプール	大地	10	3
8月30日	マリンプール	さくら	3	2
10月31日	芋掘り（招待）	ひまわり幼稚園	3	2
11月4日	朝霧カーニバル	けやき	3	1
11月11日	ぐりんぱ	大地	5	3
11月24日	Jリーグ観戦	銀河	2	1
12月9日	まかいの牧場クリスマスランチ（招待）	小学生	23	7
12月11日	まかいの牧場	ひまわり幼稚園	3	2
1月2日	ポップサーカス（招待）	りんどう	9	2
1月18日	ポップサーカス（招待）	ひまわり幼稚園	3	4
2月3日	雪遊び（富士山子どもの国）	希望者	17	8
2月17日	カラオケ	さくら	8	1
3月9日	映画鑑賞と外食	かえで	7	3
3月9日	東京観光	けやき	8	4
3月10日	映画鑑賞と外食	銀河	8	4
3月10日	静岡観光	大地	5	1
3月17日	富士急ハイランド	りんどう	10	4
3月22日	ボーリングと外食	さくら	13	5
3月24日	カラオケと外食	りんどう	10	4

(資料12) 幼稚園・学校・地域との連携

①学校等との連携

期 日	関 係 機 関	内 容
5月14日	吉原小学校との連絡会	施設概要説明と個別面談
6月21日	吉原第一中学校との連絡会①	施設概要説明と個別面談
11月15日	吉原第一中学校との連絡会②	情報交換と個別面談
	個別支援会議	必要に応じて随時実施

②園への招待行事

期 日	内 容
8月18日	芙蓉会夏祭り 理事、評議員、ボランティア等を招待
12月25日	芙蓉会クリスマス会 理事、評議員、ボランティア等を招待

③地域防災訓練への参加

9月1日	地域防災訓練
------	--------

④地域交流

5月13日	生涯学習ソフトボール大会（職員1名 児童1名）
7月14日	天王祭（グラウンド開放、御神輿で町内練り歩き）

⑤ボランティア協力

- ・学習ボランティア  
小西様、中村様、山崎様、深澤様、本多様、佐野様、宮野様
- ・散髪  
「One's Mind」（其田様）、針生様
- ・招待  
花みずき法律事務所様、納得住宅工房様 まかいの牧場様、菅沼様、小西様
- ・慰問  
富士中央ライオンズクラブ様、富士防犯協会様、富士商工会様、ADEKA労組様、フロンティアジャパン様、グッドファミリー様、富士豪傑フォーラム様  
KAGEBOUSHI様、SASAERUフォーラム様、タギ-AKIO様
- ・センソリセラピー  
渡辺様
- ・クリスマス  
M&フォードィーズ アミーコ・フェリーチェ（代表 高瀬様）
- ・クリスマスプレゼント  
山田様、富士中央ライオンズクラブ様、ワールドメイト様

⑥施設開放

期 日	団 体	内 容	施設
4月17日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
5月11日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
6月19日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
7月12日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
8月20日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
9月11日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
10月9日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
11月8日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
12月6日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
1月15日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
3月19日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室



(資料13) 家庭支援等の実施状況

(1) 家庭支援

①児童と保護者の連絡状況 (3月1日現在の在籍児童)

状況	一時帰省	一時外出	面会	電話のみ	手紙のみ	連絡なし
人数	25	4	14	3	1	12
割合	42.4%	6.8%	23.7%	5.1%	1.7%	20.3%

合計  
59名

②家族交流状況

月	外泊	外出	面会	家庭訪問
4月	0	4	18	0
5月	2	0	12	1
6月	0	1	20	1
7月	0	0	6	3
8月	21	6	10	6
9月	0	0	12	5
10月	7	0	14	2
11月	8	1	19	1
12月	29	3	16	1
1月	0	0	17	0
2月	7	1	19	3
3月	3	2	1	1
合計(人)	77	18	164	24

(2) 里親支援

①ショートルフラン (短期里親委託事業) 状況

	期間	人数	備考
夏季	8月5日～16日	3	※個別ケースにより期間の長短あり
冬季	12月27日～1月3日	4	※個別ケースにより期間の長短あり

②週末里親委託状況

月	委託人数	月	委託人数
4月	1	10月	1
5月	0	11月	0
6月	0	12月	2
7月	0	1月	1
8月	0	2月	1
9月	0	3月	1

③里親認定前研修

月日	人数
6月2日	4
6月3日	6
6月8日	2
11月25日	2
12月1日	2

④長期委託に向けた里親宅外泊（対象者2名） 計10回

⑤里親支援専門相談員の活動

期 日	活 動 内 容	場 所
6月24日	里親サロン	パラソル
7月3日	ショートルフラン調整会議・里親担当連絡会	富士児童相談所
7月15日	里親養育体験受け入れ	
7月24日	里親委託に向けた会議	
7月29日	里親養育体験受け入れ	
8月11日	ふじ虹の会 夏のふれあい事業	かぐや姫工房
8月18日	里親養育体験受け入れ	
8月19日	里親養育体験受け入れ	
9月11日	第8回里親サロン最終打ち合わせ	誠信少年少女の家
9月12日	里親養育体験の内容について打合せ	
9月16日	里親養育体験受け入れ	
9月17日	IFCAふじフォーラム	消防庁舎
10月2日	ショートルフラン調整会議・里親担当連絡会	富士児童相談所
10月14日	里親養育体験受け入れ	
10月20日	里親委託候補児童と里親顔合わせ	
10月28日	フォスターセッション2018	フィランセ
11月4日	里親養育体験受け入れ	
11月9日	里親基礎研修の内容検討について打合せ	パラソル
11月25日	里親基礎研修	
11月27日	里親サロン打合せ	
12月1日	里親基礎研修	
12月8日	ショートルフランマッチング調整会議	
12月9日	里親サロン クリスマス会	
12月24日	ショートルフラン候補児童と里親顔合わせ	
1月8日	ショートルフラン調整会議・里親担当連絡会	富士児相
1月22日	里親サロン打ち合わせ	誠信少年少女の家
2月2日	里親サロン	パラソル
2月25日	委託里親宅家庭訪問	
3月5日	ショートルフラン調整会議・里親担当連絡会	富士児相
3月28日	委託里親宅家庭訪問	
3月31日	委託里親からの相談対応	

(資料14) 児童の健康管理

①受診状況(治療・検査・予防接種)

科別	月別												合計	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入院														
内科	土屋医院	4	17	10	5	2	11	23	18	26	28	25	13	182
	土屋医院(薬のみ)	14	14	18	17	11	10	14	15	16	18	21		168
	源太坂クリニック												2	2
	小川小児科						1	3	1	1	7	1		14
	いいずみクリニック			1	1	3	2					3		10
	月岡医院	3	4	2									1	10
	渡辺医院					1				1				2
	中山医院								11					11
	渡辺クリニック									1				1
歯科	片岡歯科医院	2	7	13	10	10	9	7	3	8	2	6	9	86
	メロディ歯科	1	4	4	3	2	2				1		1	18
	ひだまり歯科												1	1
眼科	朝岡眼科医院		8		2		2	1	1	1			3	18
	加藤眼科吉原分院				1			2					1	4
	小森眼科		5											5
整形外科	鈴木整形外科	4	3		1	3	2	3	2	3		1		22
	三日市整形外科			3		2	4	8	9					26
	前田整形外科	1			1									2
耳鼻科	長谷川耳鼻科			1	2		3	2	1	2		8	4	23
	里和耳鼻科	7	1	4		3	2	3			1	2		23
	善得クリニック	1												1
皮膚科	米本皮膚科	2	1	4	6	5	2	1	5	4	3	2	4	39
	たかいクリニック		1			2	4		1	2		5	1	16
泌尿科	とみ皮膚科	5	5	5	5	7	2	1	2	4	4	2	4	46
婦科	柳沢クリニック(泌尿器科)	1			1	1		1			1			5
	宮崎クリニック(婦人科)	1		1				1		1				4
	宮崎クリニック(薬のみ)	1	1										1	3
脳精	池辺クリニック(脳外科)			1										1
	沼津中央病院(児童精神科)	1	1		1	2	1	2	1	1	1	2		13
総合病院	県立こども病院(内分泌科)					1								1
	県立こども病院(こころの診療科)	1		1		1	1	1		1	1			7
	聖隷富士病院(小児科)	1	1		1	1	1		1	1		1	1	9
	聖隷富士病院(循環器科)	1		4	5									10
	聖隷富士病院(脳神経科)											1		1
	富士市立中央病院(小児外科)				1		1			4			1	7
	富士市立中央病院(口腔外科)	2	1											3
	富士市立中央病院(脳神経外科)	3												3
急	富士市立救急医療センター(小児科)	1		1	2	1		2	1	1	3	1	1	14
合計		57	74	73	65	58	60	74	73	77	70	82	48	811

②年間通院件数の推移

年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
件数	908	888	651	830	806	877	811

③健康診断

実施日	人数	
	ひまわり	ひろみ
10月17日	50人	5人
11月7日	5人	
11月9日	1人	
11月30日	1人	
12月7日	1人	
12月10日	1人	

④歯科検診

5月9日	ひまわり幼稚園(2人)	片岡歯科
------	-------------	------

⑤予防接種

インフルエンザ予防接種	健康診断に合わせて全員実施。
インフルエンザ感染者	23人(児童21人 職員2人) A型22人 B型1人

⑥その他の予防接種…個人の計画表に沿って実施。

(資料15)平成30年度 行事食の献立

①季節ごとの行事食

月日	行事名	献立
4月6日(金)	小・中学校入学式	お赤飯・エビフライ・キャベツ・ポテトサラダ・うさぎりんご・お吸い物
5月5日(土)	こどもの日	お赤飯・鶏肉のから揚げ・サニーレタス・小松菜とじゃこのゆかり和え・初夏ゼリー・お吸い物
6月10日(日)	創立記念日	お赤飯・ヒレカツ・キャベツ・ミモザサラダ・うさぎりんご・お吸い物
7月7日(土)	七夕	七夕そうめん・里芋と鶏肉の煮ころがし・えだまめ・七夕ゼリー
8月18日(土)	芙蓉会夏まつり	焼きそば・焼きおにぎり・とうもろこし・やきとり・かき氷・フライドポテト フランクフルト・揚げたこやき・アイスクレープ・駿河焼き・ジュース
9月16日(日)	中学校運動会	おにぎらず・鶏のからあげ・サラダ菜・ミニトマト・厚焼き卵 ミニアメリカンドック・えだまめ・みかん・ジュース
9月24日(月)	十五夜	秋の実りおこわ・いがり鶏だんご・サラダ菜・いかと胡瓜の酢の物・巨峰・とろろ昆布汁
10月27日(土)	小学校運動会	おにぎり・鶏の唐揚げ・フライドポテト・つくね・サラダ菜・ミニトマト・ えだまめ・厚焼きたまご・みかん・ジュース
12月24日(月)	クリスマス	バターロール・ハンバーグ・サラダ菜・ミニトマト・マッシュポテト クリスマスデザート・ジュリアンスープ
12月30日(日)	もちつき	大福餅・磯辺もち・きなこもち・おろしもち
1月1日(火)	おせち料理	ご飯・鶏肉の照り焼き・日の出えび・吹き寄せ煮・昆布巻・栗きんとん 数の子・伊達巻・紅白かまぼこ・紅白なます・黒まめ・田作り・いちご



【 こどもの日 】



【 運動会 】



【 十五夜 】



【 ハロウィン 】

月日	行事名	献立
1月7日(月)	七草	七草粥・カニカマロール・梅干し・キウイ
1月11日(金)	鏡開き	おやつ→お汁粉
2月3日(日)	節分	節分そば(うどん)・里芋と鶏肉の煮ころがし・きゅうりとゆかりの和え物・鬼パバロア
2月14日(木)	バレンタインデー	ご飯・ハートハンバーグ・サニーレタス・人参・マセドアンサラダ・チョコレートプリン・ジュリアンスープ
3月3日(日)	ひなまつり	カップ散らし寿司・クリームコロッケ・サラダ菜・彩サラダ・いちごミルク・お吸い物
3月20日(水)	小・中学校卒業式	お赤飯・ヒレカツ・サラダ菜・コールスローサラダ・いちごミルク・お吸い物
3月21日(木)	卒業・旅立ちを祝う会	寿司・サンドイッチ・やきとり・エビフライ・骨付きウインナー・えだまえ フライドポテト・ミニケーキアラカルト・フルーツ盛り合わせ・ジュース
3月30日(土)	お花見	さくらおにぎり・ピースおにぎり・鶏の唐揚げ・サラダ菜・つくね串・お花ハム・ブロッコリー・カラフルゼリー



【 クリスマス 】



【 おせち料理 】



【 ひなまつり 】



【 卒業・旅立ちを祝う会 】

②誕生会献立

月日	献立	おやつ
4月28日(土)	ピザ・ミニアメリカンドック・フライドポテト・グリーンサラダ・フルーチェ	ケーキ・ジュース
5月26日(土)	ピザトースト・鶏肉のチューリップ揚げ・彩りサラダ・カルピスムース・キャベツのスープ	ケーキ・ジュース
6月23日(土)	焼きカレードリア・ミニアメリカンドック・グリーンサラダ・プラム・アメリカンチェリー・きゃべつとウインナーのスープ	ケーキ・ジュース
7月28日(土)	オムライス・ハンバーグ・サニーレタス・人参・彩りサラダ・フルーチェ・じゃが芋とアスパラのスープ	ケーキ・ジュース
8月25日(土)	ピザ・ぐるぐるウインナー・小エビのカクテルサラダ・えだまめ・梨	ケーキ・ジュース
9月22日(土)	カップ散らし寿司・エビフライ・付け合せサラダ・フライドポテト・カラフルフルーツゼリー	ケーキ・ジュース
10月20日(土)	ライスコロッケ・シーザーサラダ・桃のゼリー・南瓜のポタージュ	ケーキ・ジュース
11月24日(土)	えびピラフ・煮込みハンバーグ・グリーンサラダ・フルーチェ・かぶとしめじのスープ	ケーキ・ジュース
12月1日(土)	サラダ巻・鶏の唐揚げ・ミモザサラダ・クレープ・お吸い物	ケーキ・ジュース
1月26日(土)	ミートドリア・ミニアメリカンドック・グリーンサラダ・いちごミルク・ほうれん草のスープ	ケーキ・ジュース
2月23日(土)	ピザ・やきとり・小エビのカクテルサラダ・フルーチェ	ケーキ・ジュース
3月23日(土)	手巻き寿司・鶏肉のチューリップ揚げ・ミモザサラダ・白玉クリームあんみつ	ケーキ・ジュース



【 4月誕生会 】



【 9月誕生会 】

③個別誕生日リクエスト献立

月日	年齢	性別	リクエスト	献立
4月6日	11	女	マカロニグラタン	バターロール・マカロニグラタン・グリーンサラダ・グレープフルーツ・キャベツのスープ
4月15日	14	女	チョコクッキー	おやつ→チョコクッキー
4月28日	14	男	フライドポテト	ピザ・ミニアメリカンドック・フライドポテト・グリーンサラダ・フルーチェ
5月1日	17	女	手巻きずし	手巻きずし・れんこんと牛肉煮・オレンジ・お吸い物
5月6日	15	女	タコライス	タコライス・ツナと大根のサラダ・グレープフルーツ・ジュリアンスープ
5月14日	14	女	チョコレートマフィン	おやつ→チョコレートマフィン
	16	女	天ぷらそば	天ぷらそば・里芋と鶏肉の煮ころがし・きゅうりとゆかりの和え物・グレープフルーツ
5月22日	10	男	とんこつラーメン	とんこつラーメン・にら饅頭・サラダ菜・パイナップル
5月23日	6	男	マカロニグラタン	バターロール・マカロニグラタン・コーンサラダ・オレンジ・野菜のコーンスープ
5月27日	11	女	かつ丼	かつ丼・大根のごま酢和え・りんご・味噌汁
5月29日	12	男	タンタン麺	タンタン麺・海草サラダ・りんご
6月1日	8	女	チョコアイス	おやつ→チョコアイス
6月5日	9	男	シナモンロール	シナモンロール・魚肉ソーセージソテー・バナナ・牛乳
6月11日	14	男	スーパーカップ	おやつ→スーパーカップ
	15	男	マカロニグラタン	バケット・マカロニグラタン・水菜とちくわのサラダ・パイナップル・ほうれん草のスープ
6月16日	14	男	ピザトースト	ピザトースト・野菜のコーンクリームスープ・かぶとハムのマリネ・パイナップル
6月24日	9	男	手巻きずし	手巻きずし・牛肉じゃが・りんご・そうめん汁
6月30日	15	女	天井	天井・豆腐のサラダ・浅漬け・ゼリー・味噌汁
7月27日	17	男	手巻きずし	手巻きずし・豚肉の焼肉・サニーレタス・ぶどう・とろろ昆布汁
7月29日	5	女	チョコクッキー	おやつ→チョコクッキー
7月31日	5	男	スーパーカップ	おやつ→スーパーカップチョコ
8月1日	18	女	ペヤング焼きそば	ペヤング焼きそば・水菜と竹輪のサラダ・すいか・わかめスープ
8月6日	3	男	サンドイッチ	サンドイッチ・チキンナゲット・サラダ菜・ミニトマト・パイナップル・豆乳コーンスープ
8月9日	12	男	苺アイス	おやつ→苺アイスバー
8月11日	13	女	セレクトパン	セレクトパン・チキンソテー・マトガリックソテー・グリーンサラダ・グレープフルーツ・ABCスープ
8月16日	4	男	バニラアイス	おやつ→バニラアイス
8月17日	15	男	鉄火丼	鉄火丼・厚揚げとレタスの煮びたし・浅漬け・りんご・そうめん汁
8月15日	15	女	スーパーカップ	おやつ→スーパーカップ
9月3日	11	女	アイス	おやつ→爽
9月5日	14	男	とろろかけ鉄火丼	とろろかけ鉄火丼・ふきとがんもの煮物・ピーナッツなます・梨・とろろ汁

月日	年齢	性別	リクエスト	献立
9月9日	14	男	じゃがりこ	おやつ→じゃがりこ
9月13日	14	女	バタークッキー	おやつ→チョイスバタークッキー
9月14日	8	男	ピザトースト	ピザトースト・野菜のコーンクリームスープ・キャベツのレモンマリネ・オレンジ
9月18日	6	女	スーパーカップ	おやつ→スーパーカップ
10月7日	5	男	カレーライス	カレーライス(目玉焼きのせ)・グリーンサラダ・パイナップル
10月8日	7	女	ハンバーグ	ご飯・ハンバーグ・サニーレタス・人参・大根とハムのフレンチドレッシング・オレンジ・スープ
10月10日	6	男	フルーツポンチ	ご飯・鶏肉のさっぱり煮・卵の花・白玉フルーツポンチ・お吸い物
10月22日	9	男	鉄火丼	鉄火丼・ふきとがんもの煮物・キャベツと塩こんぶの和え物・オレンジ・お吸い物
10月25日	6	女	アンパンマンビスケット	おやつ→ヤクルト・アンパンマンビスケット
11月23日	8	女	しょうゆラーメン	しょうゆラーメン・にら饅頭・レタス・りんご
	10	男	おでん	わかめご飯・おでん・キャベツと人参ごま酢和え・パイナップル
12月6日	15	女	ペペロンチーノ	ペペロンチーノ・マセドアンサラダ・りんご・キャベツのスープ
12月19日	16	女	トマト鍋	ご飯・トマト鍋・ゆかり和え・オレンジ
1月11日	5	男	サラダ巻	サラダ巻・鶏肉の照り焼き・サラダ菜・ミニトマト・千切り野菜の塩こんぶ和え・りんご・とろろ昆布汁
1月19日	12	女	チーズタッカルビ	ご飯・チーズタッカルビ・水菜とちくわのサラダ・パイナップル
	13	男	しょうゆラーメン	のりたつぷり醤油ラーメン・ヘルシー餃子・サラダ菜・パイナップル
1月23日	12	女	お好み焼き	お好み焼き・目玉焼き・えだまめ・アップルティー
2月5日	5	男	カルピスマース	ビビンバ・いんげんと切り干し大根のごまマヨ和え・カルピスマース・炒め豆腐スープ
2月8日	17	女	鉄火丼	鉄火丼・大豆とじゃこの甘辛煮・キャベツと塩こんぶの和え物・グレープフルーツ・お吸い物
3月19日	4	女	チーズ唐揚げ	ご飯・チーズ唐揚げ・サニーレタス・ひじきと大豆のサラダ・ゼリー・白菜のスープ
3月24日	5	男	フライドポテト	おやつ→フライドポテト
	4	男	いちごのプリン	ご飯・かじきの味噌漬け焼き・サラダ菜・焼きビーフン・プリン・そうめん汁
3月28日	11	男	とんこつラーメン	とんこつラーメン・枝豆しゅうまい・レタス・杏仁豆腐



【 タコライス 】



【 天ぷらそば 】



④調理実習献立

月日	献立
4月29日(日) けやき	・ご飯 ・焼き餃子(各部屋で材料を選ぶ) ・フルーツヨーグルト ・もやしのスープ
5月20日(日) かえで	・塩ラーメン ・春巻き(各部屋で材料を選ぶ) ・サニーレタス ・ゼリー
6月24日(日) 銀河	・アレンジトースト ・やきとり ・コーンサラダ ・ジュース
7月22日(日) りんどう	・もんじゃ焼き ・サイダーかん (おにぎり)
8月13日～15日 各部屋	ショートルフラン・夏季一時帰省の為、各部屋対応
9月23日(日) けやき	・選択パスタ ・和風サラダ ・なすの揚げびたし ・フルーツポンチ
10月14日(日) 大地	・肉巻おにぎり ・生春巻き ・アイス
11月25日(日)	・ちらしずし ・豚肉のインゲン巻 ・サニーレタス ・ゼリー ・お吸い物
12月31日～1月2日 各部屋	ショートルフラン・冬季一時帰省の為、各部屋対応
2月10日(日) 各部屋	バレンタイン用チョコ作り
3月3日(日) かえで	・いなり寿司 ・ゼリー ・豚汁



【 焼き餃子 】



【 いなり寿司 】



(資料16) 防災訓練実施報告

月 日	訓 練 内 容	参加児童数	参加職員数
4月2日	火災発生想定避難訓練	50	15
5月7日	地震発生想定避難訓練	44	12
6月4日	火災発生想定避難訓練	50	6
7月2日	地震発生想定避難訓練	51	12
8月6日	火災発生想定避難訓練	68	12
9月1日	富士市総合防災訓練	12	28
10月1日	火災発生想定避難訓練	60	10
11月5日	施設防災訓練	60	13
12月3日	地震発生想定避難訓練	43	10
1月13日	火災発生想定避難訓練	48	7
2月4日	地震発生想定避難訓練	45	12
3月4日	火災発生想定避難訓練	44	11

(資料17) 実習生受入状況

①保育士実習

	期 間	養 成 校	人数
1	5月9日 ～ 5月19日	常葉大学浜松キャンパス	1
2	5月22日 ～ 6月3日	常葉大学富士キャンパス	2
3	6月6日 ～ 6月18日	静岡県立短期大学	1
4	6月20日 ～ 6月30日	常葉大学浜松キャンパス	1
5	6月26日 ～ 7月6日	横浜こども専門学校	1
6	7月3日 ～ 7月14日	浜松学院大学短期大学部	2
7	8月7日 ～ 8月17日	常葉大学富士キャンパス	3
8	8月21日 ～ 9月2日	新潟県立大学	1
9	8月22日 ～ 9月2日	鶴川女子短期大学	2
10	8月22日 ～ 9月2日	常葉大学短期大学部	2
11	9月4日 ～ 9月16日	白梅学園短期大学	2
12	9月5日 ～ 9月16日	常葉大学短期大学部	2
13	9月18日 ～ 9月29日	鎌倉女子大学短期大学部	1
14	9月18日 ～ 9月30日	浜松学院大学	2
15	10月3日 ～ 10月14日	常葉大学短期大学部	2
16	10月16日 ～ 10月26日	沼津情報ビジネス専門学校	2
17	11月21日 ～ 12月2日	常葉大学短期大学部	2
18	2月13日 ～ 2月25日	和泉短期大学	2
19	2月22日 ～ 3月5日	鶴見大学短期大学部	2

(資料18) 設備保守・安全点検

点検項目	業者名	点検年月日	備考
電気設備	関東電気保安協会	5月22日	年6回
		7月20日	
		9月27日	
		11月14日	
		1月22日	
		3月15日	
消防設備	サンコー防災（消防設備）	5月28日	年2回
		11月29日	
	富士消防用品商会（消火器）	5月23日	年2回
		11月19日	
消防立ち入り検査	富士市消防本部	—	年1回
厨房リフト	(株) 一厨 法定点検	6月7日	年1回
	(株) 一厨	月1回	
建築設備	王子不動産(株)	11月22日	年1回
特殊建物等定期検査	王子不動産(株)	—	2年に1回
害虫駆除（厨房）	(株) 大富士ダ <sup>ク</sup> スキンターミニク	5月22日	年2回
		11月6日	
害虫駆除（居室）	(株) 大富士ダ <sup>ク</sup> スキンターミニク	7月12日	年1回
害虫駆除（集会室）	(株) 大富士ダ <sup>ク</sup> スキンターミニク	8月4日	年1回
害虫駆除（高校生寮）	(株) 大富士ダ <sup>ク</sup> スキンターミニク	12月11日	年1回
水質検査	静岡県生活化学検査センター	12月7日	年1回
貯水槽清掃	(株) 富士クリーンサービス	3月16日	年1回

## 地域小規模児童養護施設ひろみ（ひまわり園加算事業）

### 事業概要報告

平成 30 年度、「ひろみ」は地域小規模児童養護施設の指定を受け（承認年月日：平成 29 年 4 月 1 日）、本体施設の支援のもと、24 時間体制で入所児童の安全・安心の確保に努めました。



平成 30 年度は、小学生 4 名、高校生 1 名でのスタートとなりました。

ひろみでは地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な支援が出来るように努めました。

新しく入所した児童につきましては、ひろみでの生活や学校生活を落ち着いて送れるように、児童相談所や学校と連携し支援してきました。また出来る限り子どもが日常生活において主体的に考え、取り組むことが出来るよう心掛けて支援しました。

昨年度は小学生 2 名（2 ケース）が家庭引取りを検討出来る状況でしたので、児童相談所と連携し、面会や外泊、家庭訪問などの支援を実施し、家庭引取りを実現することが出来ました。高校 3 年生の児童につきましては、製紙会社への就職が決まり、自立していきました。また、ひろみでは地域との関係を大切にするを常に心がけて生活しました。地域活動への主体的な参加をすると共に、日常の中での地域住民の方々との交流を大切することを意識しました。例年同様に、地域の防災訓練やバーベキュー、運動会等の行事では主体的に参加しました。また昨年度は地域の方やボランティアの方からお誘いを受けたイベントに、職員子ども共に積極的に参加しました。その中で様々な方々との出会いがあり、地域との関係に新たな広がりが生まれてきました。

### 重要事項報告

30 年度は小学生 2 名の家庭引取りと、高校生の就職自立による退所があり、31 年度当初までに入所児童を確保しなければいけない状況になりました。本園



の児童の中から候補をあげ、本園職員や児童相談所と連携し、高校生女子2名が年度末に、本園から移行することが出来ました。丁寧な説明や面接を継続して行い、本人達も納得の上での移行でしたので、良い形でひろみの生活を始めることが出来ました。本園から高齢児を移行したのは、初めての試みですので、本園職員の支援のもと、しっかりと高校卒業と自立が出来るよう支援していきます。今後は地域小規模施設への移行が、支援方法の一つとして確立していけるよう、良い実績を残していきたいです。

## 施設設備

(取得)

・エアコン設置工事3台(子ども部屋)

786,240円



### **基本目標 1**

**家族と離れて生活する子どもたちが、安心・安全に生活できる環境を保障し、権利擁護意識の向上に努めます。（資料2. 6）**

日常生活において、個々が意見を言いやすい環境や雰囲気を作ること意識して支援しました。また子ども全員に対して個別面接（個別ヒアリング）を実施し、個別の状況把握に努めました。子どもへの支援では児童相談所との連携に努めました。担当の児童福祉司、心理司に定期的な面接をお願いし、全員の児童が定期的に実施出来ていました。

外部研修会の参加につきましては、日常業務に追われ積極的に参加出来たとは言えない状況でしたので、今後の課題となります。

### **基本目標 2**

**生活を営む主役は子どもであり、日常生活において主体的に考え、取り組むことができるように支援します。（資料3. 4）**

「キンモクセイの会」（児童会）の充実を図り、個々の意思を尊重すると共に、自らの意見や行動でひろみの生活を改善、向上することを促しました。行事については子どもの希望を取り入れ、実施致しました。また子ども達には一般的な生活における経済観念を養う為に、毎月の電気、水道、ガスなどの料金の掲示や、行事についても予算を意識して実施出来るように支援をしてきました。

### **基本目標 3**

**子どもが、地域を含めて「ひろみ」を故郷と思えるような施設を目指します。職員、子ども共に地域との関わりを深め、地域住民と良好な関係が築けるように配慮します。また地域小規模児童養護施設が地域において理解されるよう努めていきます。（資料5）**

日常生活の中で近隣住民との関わりを大切にし、良好な関係をもてるよう努めました。例年同様、地域活動（防災訓練、運動会、バーベキューなど）への主体的参加に努めました。日常の中での交流を大切にし、「ひろみ」への理解が得られるよう努めました。近隣にひろみ児童と同級生のお子さんをもつご家族がおりましたので、例年に比べ関わる機会が多くあり、関係を深めることが出来ました。

今年度も地域の方やボランティアの方から誘いを受けたイベントに職員子ども共に積極的に参加させて頂き、多くの方との出会いがあり、子ども達も色々なことを体験できました。

里親会が主催するイベントでは、児童福祉施設の紹介でひろみの実践報告をさせて頂きました。



広見祭りへの招待



近所の方が主催した「ジャガバタの会」

#### 基本目標 4

##### 社会的自立を目標とする子どもたちの自立支援を実施します。

高校生についてはアルバイトを継続できるように支援しました。自立を控えている高校生に対しては、ひろみ職員が企画する自立へ向けた学習会を実施しました。

自立支援計画書を作成しておりますが、それが活かされていないので、内容と活用方法を検討する必要があります。

児童家庭支援センターと連携し、自立後、生活が落ち着かない卒園生へアフターケアを実施しておりますが、しっかりとした支援が出来ているとは言えず、継続的な課題となっております。

#### 基本目標 5

##### 家族再統合のための保護者との関係強化および児童相談所、学校、施設など社会的養護の連携に努めます。(資料 6)

小学生 2 名 (2 ケース) が家庭引取りを検討出来る状況でしたので、児童相談所と連携し、面会や外泊、家庭訪問などの支援を実施し、家庭引取りとなりました。

#### 基本目標 6

##### 子どもの健康に配慮すると共に、環境の整備、防災教育を推進し、安全な生活を支援します。(資料 7, 8)

子どもの健康に配慮し年 1 回の健康診断、インフルエンザの予防接種を実施しました。

防災訓練を月 1 回実施し、児童ならびに職員の防災意識の向上に努めました。また非常時に必要な物品を確認し、不足している物を揃えました。

#### 基本目標 7

##### 実習生の受入を検討して児童養護施設の理解を広げ、後進の指導に努力します。(資料 9)

実習生は例年同様、夏休みに 1 名受け入れましたが、他施設のグループホームと比べると少ないので、今後の検討事項としています。



## 資料1 入退所状況

① 平成30年度 月別児童在所状況 (初日在籍)

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実人員	4	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	56	4.7

② 理由別入退所児童一覧

入 所 児 童				
氏 名	性別	学年	入所日	入 所 理 由
M. M	女	小6	4月2日	ネグレクト
M. E	女	高1	3月10日	ネグレクト(本園から移行)
K. A	女	中3	3月24日	乳児院からの措置変更(本園から移行)
退 所 児 童				
氏 名	性別	学年	退所日	退 所 理 由
S. K	女	小6	12月28日	家庭引き取り
S. Y	女	高3	3月23日	就職自立
N. N	女	小3	3月25日	家庭引き取り

## 資料2 外部研修報告

年月日	主催者	研修内容	参加人数
7月10日	静岡県児童養護施設協議会 指導員保育士部会	7月定例会 小規模について	2
9月11日	静岡県児童養護施設協議会 指導員保育士部会	9月定例会 興奮のコントロールが難しい子どもへの支援について	1
9月19日	静岡県児童養護施設協議会 栄養士調理員部会	9月定例会 調理実習	2
10月28日	ふじ虹の会 (福)誠信会	フォスターセッション2018 富士市里親普及啓発 写真展 など	1
11月10日	児童虐待防止静岡の集い 実行委員会	地域の見守り支援が防ぐ 「子ども虐待」	1

### 資料3 児童会「キンモクセイの会」の実施状況

日付	主な内容
4月29日	生活の振り返り 生活の問題について（反省・約束）
5月26日	生活の振り返り 小学生のパソコン使用について
6月23日	生活の振り返り 平日のテレビ、夏休みの行事について
7月21日	生活の振り返り 夏休みの日課、調理実習について
9月26日	生活の振り返り 食事のマナー、テレビの時間について
10月27日	生活の振り返り
11月25日	生活の振り返り カイロの使い方、大掃除、新年の夕食先について
1月26日	生活の振り返り お風呂をためる順番について
2月23日	生活の振り返り 節約について
3月27日	生活の振り返り 新年度の目標 夕食の片付けについて 日課やルールの要望

### 資料4 行事報告

#### ①静岡県児童養護施設協議会行事

年月日	行事内容	参加児童数	引率職員数
5月12日	第37回静岡県児童文化奨励絵画展	1	1
11月23日	静岡県児童養護施設協議会オセロ大会	1	1
1月13日	第40回静岡県児童福祉施設冬季球技大会	3	2

#### ②施設内行事

年月日	行事内容	参加児童数	引率職員数
5月5日	るくる 焼肉	3	1
5月19日	バッティングセンター 焼肉	1	1
6月24日	カラオケ	4	1
7月1日	カップ座 ※本園行事	1	0
7月31日	富士登山 ※本園行事	3	2
8月4日	マリンプール	4	1
8月16日	映画鑑賞	2	1
8月24日	夕食	5	3
10月13日	映画鑑賞	1	1

年月日	行事内容	参加児童数	引率職員数
10月21日	市民福祉まつり	4	2
11月11日	奇石博物館 いでぼく	4	1
11月17日	招待行事 東京ディズニーランド ※本園行事	5	2
12月2日	映画鑑賞	2	1
12月9日	招待行事 まかいの牧場 ※本園行事	4	1
1月2日	初詣	3	1
1月4日	新年挨拶会 外食	5	3
2月3日	映画鑑賞	1	1
3月21日	卒業旅立ちを祝う会 ※本園行事	5	2

#### 資料5 地域活動への参加状況について

日付	内容	参加児童数	職員数
5月19日	広見町内会より招待 広見祭りに参加	4	1
5月26日	東名グループ主催 地域ゴミ拾いに参加	4	1
6月10日	地域の方が主催「ジャガバタの会」に参加	4	1
7月28日	広見町内会より招待 広見商店街夏祭りに参加	4	1
8月25日	茶ノ木平3組 主催 バーベキューに参加	5	2
9月1日	地域防災訓練に参加 避難訓練 消火訓練を実施	5	1
10月28日	里親会 ふじ虹の会主催 フォスターセッション	—	1
11月4日	富士山駅伝 交通警備 事前説明会	—	1
12月2日	地域防災訓練に参加 避難訓練 消火訓練を実施	5	1
12月26日	茶ノ木平地区 書道教室に参加	4	1
12月30日	富士山駅伝 交通警備 応援	—	1
3月16日	茶ノ木平町3組 会合に参加	—	1

資料6 家庭支援、児童相談所、学校との連携、心理的対応等について

日付	対象児童	内 容
4月16日	小6女子K	東部児相にて実母との面会
4月18日	小3女子N	東部児相 担当児童福祉司と面接
4月20日	小6女子M	富士児相 担当児童心理司と面接
5月14日	小6女子K	東部児相にて実母との面会
5月15日	小3女子N	東部児相 担当児童福祉司、担当児童心理司と面接
5月18日	高3女子Y	富士児相 担当児童福祉司と面接
5月25日	小6女子M	富士児相 担当児童心理司と面接
5月30日	小6女子M	静岡市児相 担当児童福祉司、担当児童心理司と面接
6月8日	小6女子K	実母と外出
6月22日	小6女子K	通院 東部児相 担当児童福祉司同席
6月25日	2人	東部児相との連絡会 個別相談
6月25日	小6女子M	富士児相 担当児童心理司と面接
7月6日	小6女子M	富士児相 担当児童心理司と面接
7月6日	小6女子K	実母と外出
7月9日	2人	富士児相との連絡会 個別相談
7月19日	小6女子M	富士児相 担当児童心理司と面接
7月25日	小6女子M	実父との電話交流 静岡市児相 担当児童心理司同席
7月26日	高3女子Y	児童家庭支援センターパラソル 退所児童について個別相談
8月3日	小6女子K	実母家庭訪問 東部児相 担当児童福祉司同席
8月6日	高3女子Y	富士児相 担当児童心理司と面接
8月24日	高3女子Y	富士児相 担当児童心理司と面接
8月27日	小3女子N	東部児相 担当児童心理司と面接
8月27日	小6女子K	東部児相 担当児童心理司と面接
8月27日	小6女子M	実父と面会 静岡市児相 担当児童福祉司、担当児童心理司同席
9月5日	小6女子K	東部児相 担当児童福祉司と面接
9月5日	小6女子M	富士児相 担当児童心理司と面接
9月6日	小6女子M	静岡市児相 担当児童福祉司、担当児童心理司と面接

日 付	対象児童	内 容
9月7日	小6女子K	通院 東部児相 担当児童福祉司同席
9月14日	小6女子K	実母と外出
10月12日	小6女子M	富士児相 担当児童福祉司と面接
10月16日	小6女子M	実父と面会 静岡市児相 担当児童福祉司、担当児童心理司同席
11月7日	小6女子M	実父と面会 静岡市児相 担当児童福祉司、担当児童心理司同席
11月9日	小6女子K	通院 東部児相 担当児童福祉司同席
11月12日	小3女子N	東部児相 担当児童福祉司と面接
11月15日	小6女子K	東部児相 担当児童福祉司と面接
11月26日	小6女子M	富士児相 担当児童心理司と面接
12月20日	小6女子K	横浜市児相顔合わせ 東部児相 担当児童福祉司同席
12月27日	小6女子M	実父と外出 静岡市児相 担当児童福祉司、担当児童心理司同席
12月27日	小6女子K	富士児相 担当児童心理司と面接
1月21日	小6女子M	富士児相 担当児童心理司と面接
1月23日	小6女子M	実母面接 富士児相 担当児童福祉司同席
2月4日	小6女子M	兄妹交流 富士児相 担当児童福祉司 三方原学園職員同席
2月25日	高1女子E	入所事前見学 富士児相 担当児童福祉司同席
2月27日	小6女子M	実母面会 富士児相 担当児童福祉司同席
2月28日	小6女子M	富士児相 担当児童心理司と面接
3月8日	高3女子Y	児童家庭支援センターパラソル 退所児童について個別相談
3月13日	小6女子N	原田小学校ケース説明 東部児相 担当児童福祉司同席
3月15日	高3女子Y	児童家庭支援センターパラソル 退所児童について個別相談
3月26日	小6女子M	実父と外出 静岡市児相 担当児童福祉司、担当児童心理司同席
3月27日	中3女子A	富士児相 担当児童心理司と面接
3月29日	小6女子M	富士児相 担当児童心理司と面接

## 資料7 児童の健康管理

### ①受診状況（治療・検査）

医療機関	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
青葉クリニック											1	2	3
コスモ歯科			8		2						1		11
加藤眼科医院					3			1					4
フジ虎ノ門病院						1		1					2
米本皮膚科						1							1
救急医療	1										1		2
長谷川耳鼻咽喉科												1	1
合計	1	0	8	0	5	2	0	2	0	0	3	3	24

### ②健康診断

10月17日 全児童 実施。（土屋医院）

### ③予防接種

インフルエンザ予防接種	1回目 5名      2回目 4名
二種混合	1名
日本脳炎第2期	2名

## 資料8 防災訓練報告

項目 年月日	訓練内容						参加人数	
	避難訓練	夜間	火災	地震	消火訓練	自主点検	児童	職員
4月29日	○			○	○	○	5	1
5月17日	○		○		○	○	5	1
6月25日	○		○		○	○	4	1
7月8日	○			○	○	○	5	1
8月30日	○	○		○	○	○	5	1
9月1日	総合防災訓練				○	○	4	1
10月22日	○		○		○	○	5	1
11月24日	○			○	○	○	5	1
12月2日	地域防災訓練				○	○	5	2
1月1日	○		○		○	○	4	1
2月23日	○			○	○	○	4	1
3月27日	○		○		○	○	4	1

## 資料9 実習生の受け入れ状況

常葉大学保育学部 1名	期間：8月19日～8月29日 10日
-------------	--------------------

## 資料10 事故・ヒヤリハット報告

事故報告 1件

日付	児童	内容
2月11日	小学3年 女子	テトラポットに登り、滑って転んで後頭部をぶつける。

## 資料11 苦情・要望報告

※平成30年度はありませんでした。

## 恩賜記念みどり園(定員 30 名：暫定定員 28 名)

### I.事業概要報告

平成 30 年度の暫定定員は 4 月当初は 24 名でした。当初予算の関係で保護単価の金額を定員 25 名迄の施設単価で計算しておりましたが、暫定定員 27 名が決定しましたので措置費の過払い分の返納修正を行いました。

例年、実施しても申請できなかった小規模グループケアの加算を申請する予定でしたが、26 名の体制で職員配置を考えていたため、常勤保育士の定数が足りず、加算を申請すると 0～1 歳児単価が 1.3:1 から 1.4:1 に修正されてしまうことが懸念されましたので、小規模グループケア加算の申請を見送りました。

しかし、下半期に入り暫定式が追加され、平成 29 年度に積極的に一時保護を受け入れたことが評価され、暫定定員が 28 名に増えました。

年間の在籍児童数は、延べ人数で 7,370 名、年間の充足率は定員換算で 67%、暫定定員 28 名では 72%でした。児童福祉法の改正で、代替え養育が必要な乳幼児は、家庭若しくは、より家庭的な環境で養育する方針の影響から入所児童の減少が著しく、前年に比べ在籍児童数が延べ 1,412 名程少ない状況があり、3 月の措置児童は 22 名、一時保護児童 1 名の 23 名で、暫定定員より 5 名の空きがあり、次年度の暫定は 25 名を下回ることが考えられます。

年間の一時的保護児童は 16 名(延べ人数 755 名)、でしたが、虐待通告で緊急保護しても、虐待の事実が立証できずに、不起訴となり保護解除に繋がるケースが増加しています。当園で一時的保護が解除されたのは 15 名、内訳は措置に切り替えられた児童 5 名、他の乳児院へ措置変更された児童 1 名でした。しかし身体的虐待 3 ケースを含む 9 名が家庭引き取りになっています。児童福祉法の改正等で、「家庭」で養育されることが一番とされていますが、児童福祉司指導という条件付きではありますが、身体虐待のケースについては、本当に解除が妥当なのか心配になるケースもあり、在宅家庭への支援の充実が急務であると痛感しました。

富士市のショートステイは、平成 29 年度は一時的保護と重複した関係で、1 件も受けられなかった事から、年度当初から積極的に受け入れ、児童 10 名・母親 1 名(母子 1 組)、延べ日数 68 日の実績を残しました。

平成 30 年度は園内の研修も積極的に行い、主任看護師による「急変時の





対応・救急蘇生法」や、「嘔吐物の処理法」「正しい手洗い」等の実務者研修を延べ29回開催し、延べ68名の職員が受講しました。先覚的な施設への視察研修は、平成30年6月に竣工した久良岐乳児院(横浜市)に主任以上の指導職・管理職6名が出掛けて、最新の設備や、施設内型の小規模グループケアでの養育状況を学ばせていただきました。

当園が行っている社会貢献事業は富士市より委託されているショートステイ事業と、園独自で行っている赤ちゃん110番電話相談事業ですが、駿河台地区の高齢者を対象にした買い物支援に関する事業を実施するべく、法人内施設や、市議会議員、今泉地区民生委員協議会と、駿河台地区の町内会長の協力を得て「買い物送迎プロジェクト実行委員会」を立ち上げて、試行調査を行い、次年度の事業化に向けての準備を進めることができました。

## Ⅱ.重要事項報告

### 1.感染症について

#### (1) ヒトメタニューモウイルス感染症の園内感染について

夏のRSウイルスの園内感染がありました。0歳児を中心に風邪症状が出たので受診すると、検査を経てヒトメタニューモウイルス感染ということがわかりました。感染確認時には既に同一症状の幼児がいた為、感染者が出た部屋全体を隔離空間として対策を講じましたが、2歳女児1名が大事をとって5日間の入院をしました。

感染症対策期間：平成30年6月25日～7月4日(完全隔離期間)

感染児童数：12名(10ヵ月～2歳9ヵ月)

#### (2) ヘルパンギーナ感染症の園内感染について

一時外泊した男児が帰園後にヘルパンギーナを発症、当初風邪という診断であったので対策が遅れ、0歳児の部屋で感染が拡大したため、隔離対策を実施しました。外泊時にマリンプールに遊びに行き感染した模様。

感染症対策期間：平成30年7月19日～7月24日(完全隔離期間)

感染児童数：15名(10ヵ月～2歳9ヵ月)

#### (3) RSウイルス感染症の園内感染について

風邪と診断されていた女児の熱が下がらず、3日後にRSウイルス感染症と診断されました。隔離が3日間遅れてしまったため、園内感染が拡大してしまいました。

感染症対策期間：平成30年9月28日～10月4日麻疹対策に切替

感染児童数：6名(5ヵ月～3歳3ヵ月)

#### (4) 麻疹対策について

嘱託医の病院で麻疹の罹患者が出たという連絡を受けて、RS ウイルス対策中の 9 月 28 日に通院した児童を中心に観察期間を設けています。又、任意接種期間で麻疹の予防接種を受けていない職員 6 名に予防接種を実施しました。

感染症対策期間：平成 30 年 10 月 4 日～ 10 月 31 日

MR ワクチン接種：職員 6 名

#### (5) インフルエンザ(A 型)感染症の園内感染について

1 月 20 日に発熱した 1 歳児が翌日インフルエンザ A 型の診断を受けました。すぐに隔離対策を施したのですが、翌日には 1～3 歳児 6 名が診断を受けました。2009 年 1 月以来のインフルエンザの園内発症でしたので、嘱託医と相談して入所児童への抗インフルエンザ薬の予防投与を実施しました。職員にも感染拡大したので保健所にも感染症発症の届け出を行いました。入所児共に重症化せずに 2 月初旬には収束しました。

感染症対策期間：平成 31 年 1 月 20 日～ 2 月 5 日（完全隔離期間）

感染児童数：7 名（1 歳 8 ヶ月～ 3 歳 1 ヶ月）

感染職員数：3 名（20 歳代）

## 2. 事故記録等

①事故の記録 総事故数 31 件（対象児童 31 名）

通院児童 4 名（ベッドからの転落 3 件 誤食 1 件）

ベッドからの転落 4 件：挟み込み 3 件：転倒・衝突 6 件

創傷・裂傷：6 件：誤食・誤食 4 件（外泊中 1 件）：誤投薬等 5 件

その他 3 件（滑り台から飛び降りる：指先の赤み 2 件）

②児童間の事故・噛みつき報告 総報告数 56 件

噛みつき 51 件：引っ掻き 2 名：不明 3 名（入浴時、処置時に痣発見）

③インシデントレポート（ヒヤリハット） 総数 42 件

## 3. 苦情・要望受付

・処遇、運営に関する苦情・要望等 0 件

## Ⅲ. 基本目標の達成状況

### 1. 基本目標 1

乳幼児の愛着形成を重視し、よりよい関係作りを心掛けた心身の発達支援を行います。また、より家庭的な養育環境構築のための施策を実施します。

### (1)小規模グループケアの実施について（基本目標1 実施目標①）

暫定定員の修正があったので、加算申請はできませんでしたが、2歳以上の幼児4名を対象に園舎2階で小規模グループケアを実施しました。また、養育形態の小規模化に取り組みました。

### (2)小児精神科医師による診察とビデオカンファレンス（基本目標1 実施目標②）

小児精神科医の診察や、助言を受けながら関わりの難しい乳幼児への関わり方を模索する取り組みを行いました。

小児精神科医師山崎知克氏による、「発達に課題がある」乳幼児について、診察の後、気になる行動についてのビデオカンファレンスを実施し、課題の共有と効果的なアプローチ等についてアドバイスを受けています。

講師：山崎知克医師

開催期日①：平成30年11月25日(日)10:30～17:00

開催期日②：平成31年 3月21日(木)10:30～16:30

開催場所：みどり園1階児童居室、プレイルーム、食堂 及び2階会議室



小児精神科医による診察



ビデオカンファレンス

### (3) 発達の遅れた乳幼児の支援の充実に関する取り組みについて

#### （基本目標1 実施目標②）

平成24年の静岡県のモデル事業がきっかけで始めたリトミックも5年目を迎え、平成30年度も隔週1回60分ずつ、幼児のグループを対象に年間延べ20回実施することができました。

また、平成27年度から園独自の事業となったプレイセラピーを発達に課題を持つ5名の幼児を対象に、毎週金曜日と、隔週の火曜日の午前中に実施しました。1日2名程度の設定で、年間合計120回のセッションを受けることができました。

- |            |          |                           |
|------------|----------|---------------------------|
| 1) リトミック   | 開催回数:20回 | 対象児童1歳6ヶ月以上               |
| 2) プレイセラピー | 開催回数:27回 | 対象児童2歳以上5名:<br>合計120セッション |

#### (4) 「わらべ唄を使った遊び」と小道具の使い方と作り方

##### (基本目標1 実施目標⑤)

富士市の公立保育園退職職員の方を講師に招き、「わらべ唄」を使った遊びの展開方法や、手遊び等に使用する小道具の製作を職員に学ばせるための研修会を児童養育中に開催しました。子ども達にも大変好評で、次年度も8回程開催予定です。

講師： 田端静代氏 畦高京子氏

開催期日：①平成30年7月31日(火)9:30～11:00 子どもと職員対象  
 ②平成30年8月21日(火)9:30～12:00 職員のみ対象(小道具作成)  
 ③平成30年9月25日(火)9:30～11:00 子どもと職員対象  
 ④平成30年10月23日(火)9:30～11:00 子どもと職員対象  
 ⑤平成30年11月26日(金)9:30～11:00 子どもと職員対象  
 ⑥平成30年12月4日(火)9:30～11:00 子どもと職員対象  
 ⑦平成31年2月28日(月)9:30～11:00 子どもと職員対象

開催場所：みどり園1階プレイルーム 又は 2階会議室



#### (5) 園外保育の実施について

##### (基本目標1 実施目標⑤)

入所児と担当養育者が1対1での関係を深めることを目的とした日帰りの社会体験を平成30年度は13回実施し、延べ57名児童が参加しました。

##### (5)-①園外保育の実績

年月日	行先・目的等	児童数	職員数	備考
平成30年4月14日	ロゼこどもコンサート	4	4	公用車使用
平成30年5月26日	大淵小運動会	3	3	公用車使用
平成30年6月24日	吉原教会礼拝・アピタ	3	3	公用車使用
平成30年9月26日	平塚 チームラボ	4	4	公用車・公共機関
平成30年10月22日	エスパルスドリームプラザ	3	3	公用車使用
平成30年10月26日	日本平動物園	3	4	公用車使用
平成30年11月6日	外食 バーミヤン	12	10	公用車使用
平成31年1月15日	ポップサーカス	4	4	小規模 GC:公用車

平成 31 年 2 月 25 日	アピタ おやつ購入	5	7	徒歩・公用車（面会児童）
平成 31 年 3 月 6 日	江ノ島水族館	4	4	公用車・公共機関
平成 31 年 3 月 13 日	箱根彫刻の森	4	4	公用車・公共機関
平成 31 年 3 月 28 日	日本平動物園	4	4	公共機関
延べ人数		57	51	※公用車運転手は数に含めず

園外保育：日本平動物園（平成 30 年 10 月 26 日実施）



## 2.基本目標 2

乳幼児の権利擁護について職員に徹底します。  
また、平成 28 年度に受審した福祉施設第三者評価の結果を基に、既存の養育形態を見直し、一層充実した支援を心掛けます。

### (1)全国乳児福祉協議会倫理綱領等の活用等による養育の振り返り等 (基本目標 2 実施目標①・②)

全国乳児福祉協議会が作成した「倫理綱領」や「より適切な関わりをするためのチェックリスト」を会議の始める前に全員で読みながら確認を行い、職員各自の行動を振り返る機会を設け、子ども達の権利擁護に努めました。

また、月例会やケース会議時に、全国の乳児院や児童養護施設で起こっている施設内虐待や、養育不全状況についての事例を提示しながら、園内の養育について検証する時間を設けました。

### (2)自己評価・第三者委員会における、平成 30 年度の自己評価等の実施 (基本目標 2 実施目標③)

平成 30 年度も全職員を対象とした自己評価を実施し、自己評価・第三者評価委員会のメンバーが集計を行った結果を、全体会開催して、全職員による状況の確認と、情報共有による見識の修正を行うと共に、前年度に作成した、短期目標や中長期目標の達成状況を確認し、平成 31 年度の短期目標や中長期目標を作成しました。

自己評価・第三者委員会開催回数：7回(全体会5回を含)

### (3) リスクマネジメント委員会の開催について（基本目標 2 実施目標④）

平成 30 年度よりリスクマネジメント委員会を発足させました。代表者会議もメンバーを中心に事故報告やインシデントリポートを検証し、改善点を模索する取り組みを行い、養育上の修正点等や、注意喚起を、月例会やケース会議で報告する形式を確立しました。

リスクマネジメント委員会開催回数： 12 回

### 3. 基本目標 3

感染症発症時の対応及び、夜勤帯の緊急事態等への対応についての充実を図ります。

#### (1) 入所児の容体急変時の対応訓練の開催について(基本目標 3 実施目標①・②)

乳児突然死症候群（SIDS）や、入所児童の容体の急変、また、感染症対策など等に適切に対応できるよう園内研修の開催と、直接処遇職員への反復訓練を実施しました。

①人工呼吸器「118 救急車を呼ぶ前に」の取り扱い講習会を実施しました。

開催期日：平成 30 年 8 月 30 日（木） 13:00～14:30

参加職員数： 11 名



#### ②主任看護師による伝達講習会の開催

主任看護師による伝達講習会を開催しました。

##### 1) 「急変時の対応・救急蘇生」についての講習会

開催期間：平成30年9月17日～平成31年3月6日

全12回

参加職員数：24名

##### 2) 「嘔吐物処理の方法について」の講習会

開催期間：平成31年1月17日～平成31年3月7日

全10回

参加職員数：13名（法人伝達講習会不参加者対象）



3) 「正しい手洗い」 についての講習会 全7回開催

開催期間：平成 31 年 1 月 17 日～平成 31 年 3 月 7 日 全 7 回

参加職員数：31 名（平成 31 年度採用職員 3 名を含む）

#### 4. 基本目標

「新たな社会的養育ビジョン」に求められる乳児院の将来像を考慮し、新規事業や園舎の建て替えむけた準備を進めます。

##### (1) 先駆的施設への視察研修（基本目標1実施目標③：基本目標4実施目標①）

みどり園の今後の施設展開を検討する上での参考とする為、幹部職員を中心として視察研修を実施しました。視察施設は、より家庭的な小規模グループでの養育に対応するコンセプトの基に本年 6 月末に改築したばかりで、全国乳児福祉協議会の前会長が理事長と施設長を兼務している施設で、保育所も併設されている為、今後のみどり園の事業展開をする上での参考となり、新規事業等を検討する上での一助とすることができました。

開催期日：平成 30 年 9 月 21 日（金）

視察場所：社会福祉法人久良木岐母子福祉会 久良岐乳児院

視察参加者：6 名（主任以上の指導職・管理職）

##### (2) 人材獲得への取り組み

小規模化や新規事業展開を考え、人材獲得のために静岡県社会福祉協議会内の人材センターが実施している就職支援企画へ参加しました。

また、以前から行っている学生アルバイトの募集も保育士養成校に継続して行っていることに加え、富士市内出身者で他県の福祉職養成校に通っている大学生を中心に、長期休みのアルバイト募集を行いました。平成 31 年度は 2 名のアルバイト学生が常勤保育士として勤務してくれています。

###### 1) 平成 30 年度保育のお仕事フェア

開催期日：平成 31 年 1 月 12 日（土）

開催場所：グランシップ 大ホール 海

参加職員数：3 名



##### (3) 高齢者の買い物支援事業について（基本目標 4 実施目標③）

吉原西部地域包括支援センターや、児童養護施設ひまわり園の協力と、市議会議員や今泉地区民生児童委員の皆様の参画を得て、駿河台地区の買い物に支援が必要とされる高齢者への送迎サービスを提供するために実行委員会を立ち上げました。年度内に会議を 5 回、試行事業を 4 回実施して次年度の事業化に向けた取り組みを行いました。

1) 買い物送迎プロジェクト実行委員会（開催場所：恩賜記念みどり園 2 回会議室）

- ①開催日時：平成 30 年 9 月 18 日（木）18:30～ 参加者：9 名
- ②開催日時：平成 30 年 11 月 12 日（月）18:30～ 参加者：9 名
- ③開催日時：平成 30 年 12 月 19 日（水）18:30～ 参加者：8 名
- ④開催日時：平成 31 年 2 月 28 日（木）18:30～ 参加者：9 名
- ⑤開催日時：平成 31 年 3 月 28 日（木）18:30～ 参加者：8 名

2) 試行事業（駿河台団地北側駐車場～アピタ 3 階駐車場）参加希望登録者 11 名

- ①実施日時：平成 30 年 12 月 18 日（火）13:15～15:00 参加対象者：7 名・スタッフ：9 名
- ②実施日時：平成 31 年 1 月 15 日（火）13:15～14:48 参加対象者：4 名・スタッフ：5 名
- ③実施日時：平成 31 年 2 月 19 日（火）13:15～14:45 参加対象者：4 名・スタッフ：7 名
- ④実施日時：平成 31 年 3 月 19 日（火）13:15～14:45 参加対象者：4 名・スタッフ：4 名

## 5. その他

### (1) 防災型自家発電装置の点検と稼働試験の実施について（環境整備）

実施期日：平成 30 年 7 月 31 日（火）

設置から 2 年が経過した防災型自家発電機の定期点検と、稼働試験を実施しました。発電機の中に入っている軽油の入れ替えと燃費確認のため、園内のすべての電気を使用した状態で午前 10 時から 16 時迄の 6 時間の稼働試験を行いました。この試験の結果、当園のすべての電気を使用しても 24 時間程度の連続使用が見込めることや、発電の容量に余裕がある為、場合によっては井戸のポンプへの給電も十分可能なため、緊急用の送電を可能とするバイパスの設置を検討することにしました。

## Ⅲ. 施設整備等一覧

### (1) 固定資産計上取得物品等

#### 1. 固定資産計上取得物品等

##### ①土地・建物等取得支出

建物取得支出

内 容	数量	設置及び使用場所(使用者等)	金額
保母室改修工事(荷物室)	1	2 階オムツ等荷物室(職員)	1,404,000

##### ②器具および備品等取得支出

器具および備品取得支出

内 容	数量	設置及び使用場所(使用者等)	金額
冷凍庫	1	厨房西側倉庫(厨房職員)	254,448
日除けオーニング	1	2 階プレイルーム南側	648,000
太鼓橋	1	2 階プレイルーム(こども)	183,600



## 2. 固定資産廃棄物品

機械及び装置 除却

内 容	数量	設置及び使用場所(使用者等)	期末帳簿額
防犯装置	1	玄関等出入口(入退出者)	1

## 3. 施設整備 取替・補修等工事 (1万円以上)

実 施 内 容	金 額
天井防カビ塗装工事(居室3部屋)	324,000
天井防カビ塗装工事(居室廊下・ナースプール)	216,000
2階ベランダ人工芝張替改修工事	540,000
昇降機2台制御盤交換工事	712,800
居室LED取替改修工事	220,320
ボイラー冷却ポンプ改修工事	19,440
厨房洗濯機移設工事	98,280
厨房洗濯機電源改修工事	30,240
厨房西冷凍庫電源改修工事	85,320
厨房西倉庫棚改修工事	928,800
厨房西ドア改修工事	30,240
厨房外トイレ換気扇改修工事	75,600
厨房リーラーコンセント・電源改修工事	81,410
母子生活室非常灯改修工事	18,360
チラー電源改修工事	35,214
プレイルームフロアマット背あて張替	35,640
2階プレイルーム非常照明バッテリー交換工事	43,740
裏玄関シューズロッカー改修工事	386,640
2階男子ロッカー工事	140,400
2階男子ロッカー電源改修工事	68,040
1階食堂コーナー改修工事	48,600
1階プレイルーム戸車改修工事	21,600
電解水システム修理	287,280
厨房リーラーコンセント設置工事	79,920
母子室非常灯改修工事	17,280
布団乾燥機修理	38,277
食事配膳車修理	16,962
寝室窓修理	23,328

#### 4. 物品購入 (1万円以上)

購入物品	数量	設置及び使用場所(使用者等)	金額
エアコン基盤	4	居室(子ども・職員)	197,100
充電器エネロイド	1	事務所 (子どもおもちゃ等電池充電器)	14,803
電子魔法瓶	1	事務所(来客者・職員)	10,455
訓練用 水消火器	1	事務所(職員・訓練用)	14,580
ジアイーノ	2	観察室・診察室	136,010
薪割り機	1	倉庫(職員)	13,999
PC バッテリー	1	事務所ノートパソコン(園長)	16,200
ドライブレコーダー	2	公用車(子ども・職員・買い物支援事業等)	49,132

## 恩賜記念みどり園 平成30年度事業報告の附属明細書

### 資料1 平成30年度入所実績表・入退所理由別表

#### (1) 平成30年度入所実績表

暫定定員 28名

月別	性別	実人員				初日 充足率	一時保護	途中入退所			総計	定員30名 充足率	暫定28名 充足率
		男子	女子	計	初日 在籍 延べ数	%	延人数	延人数	内訳			%	%
									男子	女子			
平成30年	4月	10	10	20	600	67%	30	-4	-4	-5	626	70%	75%
	5月	9	9	18	558	60%	31	0	0	0	589	63%	68%
	6月	9	9	18	540	60%	36	-22	-20	-20	554	62%	66%
	7月	8	8	16	496	53%	51	0	0	0	547	59%	63%
	8月	8	8	16	496	53%	25	22	24	-2	543	58%	63%
	9月	9	7	16	480	53%	41	0	0	0	521	58%	62%
	10月	9	7	16	496	53%	85	0	0	0	581	62%	67%
	11月	9	8	17	510	57%	110	12	12	0	632	70%	75%
	12月	10	8	18	558	60%	150	0	0	0	708	76%	82%
平成31年	1月	10	9	19	589	63%	97	7	3	4	693	75%	80%
	2月	12	10	22	616	73%	37	0	0	0	653	78%	83%
	3月	12	10	22	682	73%	62	-21	-11	-10	723	78%	83%
	計	115	103	218	6,621		755	-6	4	-33	7,370	67%	72%

(注) 表中の充足率は、定員 30 名および暫定定員 28 名で計算したものである。

(注) 表中の実人員数は、初日在籍の乳児の数である。

(注) 表中の途中入退所延人数は、月の途中で入退所した乳児の数、及び一時保護乳児数を含む

#### 暫定定員計算(算式 1)

$$\text{入所児童のみ } 6,621 \div 30.4 \text{ 日} \div 12 \text{ 月} \times 1.11(90\%) = 20.15$$

$$\text{一時保護含む } 7,370 \div 30.4 \text{ 日} \div 12 \text{ 月} \times 1.11(90\%) = 22.43$$

#### 暫定定員計算(算式 5)

$$\text{入所児童のみ } 6,621 \div 30.4 \text{ 日} \div 12 \text{ 月} \times 1.16(90\%) = 21.05$$

$$\text{一時保護含む } 7,370 \div 30.4 \text{ 日} \div 12 \text{ 月} \times 1.16(90\%) = 23.44$$

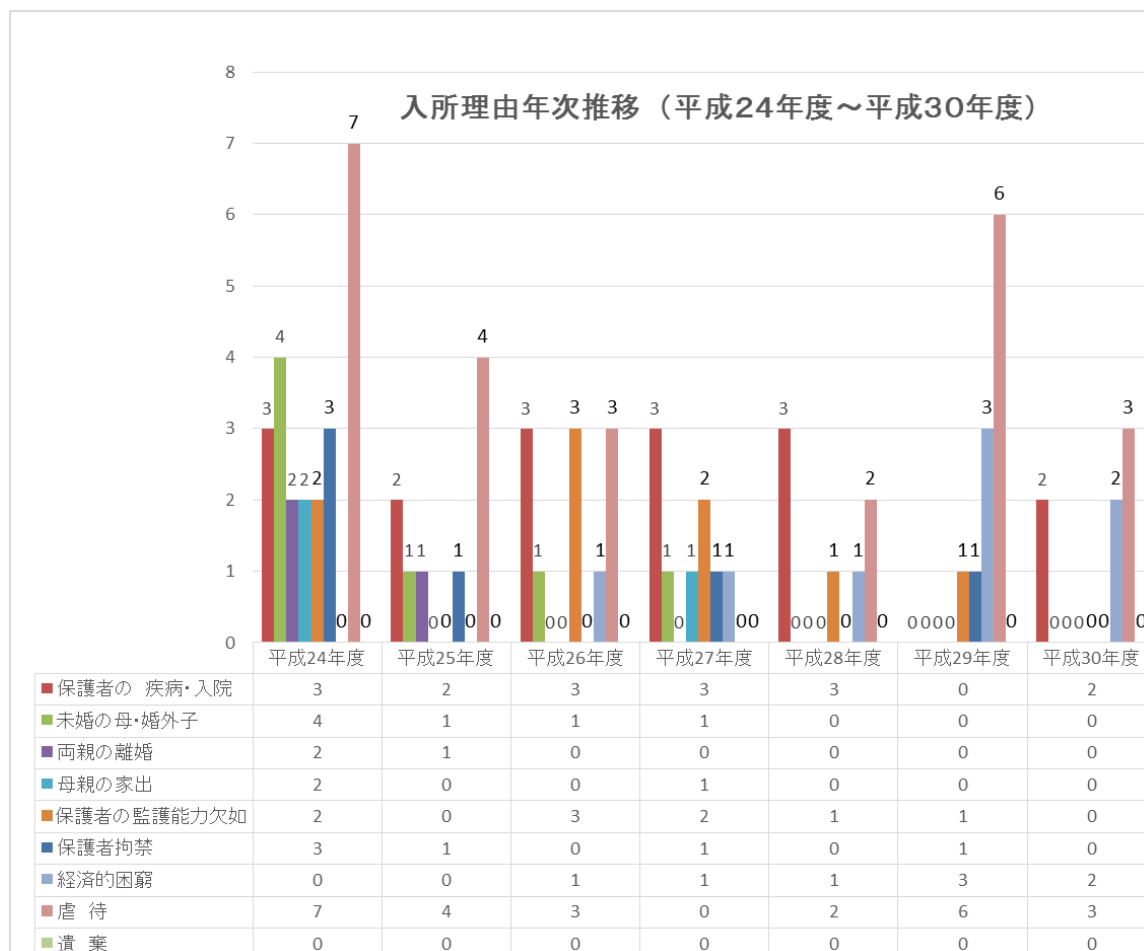
※ 計算式は厚生労働省雇用均等・児童家庭局からの通知によるものである。

(2)平成30年度 入退所理由別表

入 所 理 由	人 数	退 所 理 由	人 数		
<b>1.養育困難</b>	<b>4</b>	<b>1. 家庭引取</b>	<b>4</b>		
(1)保護者の疾病・入院	(2)	<b>2. 里親・FH委託</b>	<b>2</b>		
(2)未婚の母・婚外子	( )	<b>3. 他施設に措置変更</b>	<b>4</b>		
(3)両親離婚	( )			内訳	
(4)母の家出	( )			(1)児童養護施設	(4)
(5)保護者の養育能力欠如	( )			(2)障害児施設	( )
(6)保護者拘禁	( )	(3)その他の施設	( )		
(7)経済的困窮	(2)				
<b>2. 虐待</b>	<b>3</b>	<b>4. その他</b>			
<b>3. 遺棄</b>	<b>0</b>				
<b>合 計</b>	<b>7</b>	<b>合 計</b>	<b>10</b>		
<b>4. 一時保護</b> (措置入所への切替5名含)	<b>16</b>	一時保護 解除(退所) (家庭引取 9名)	<b>15</b>		

\*注1. 表中(1)～(2)の人数は入所・退所理由の細目内訳です。\*注2. 入所理由は新規入所の人数

(2)－① 入所理由の年次推移



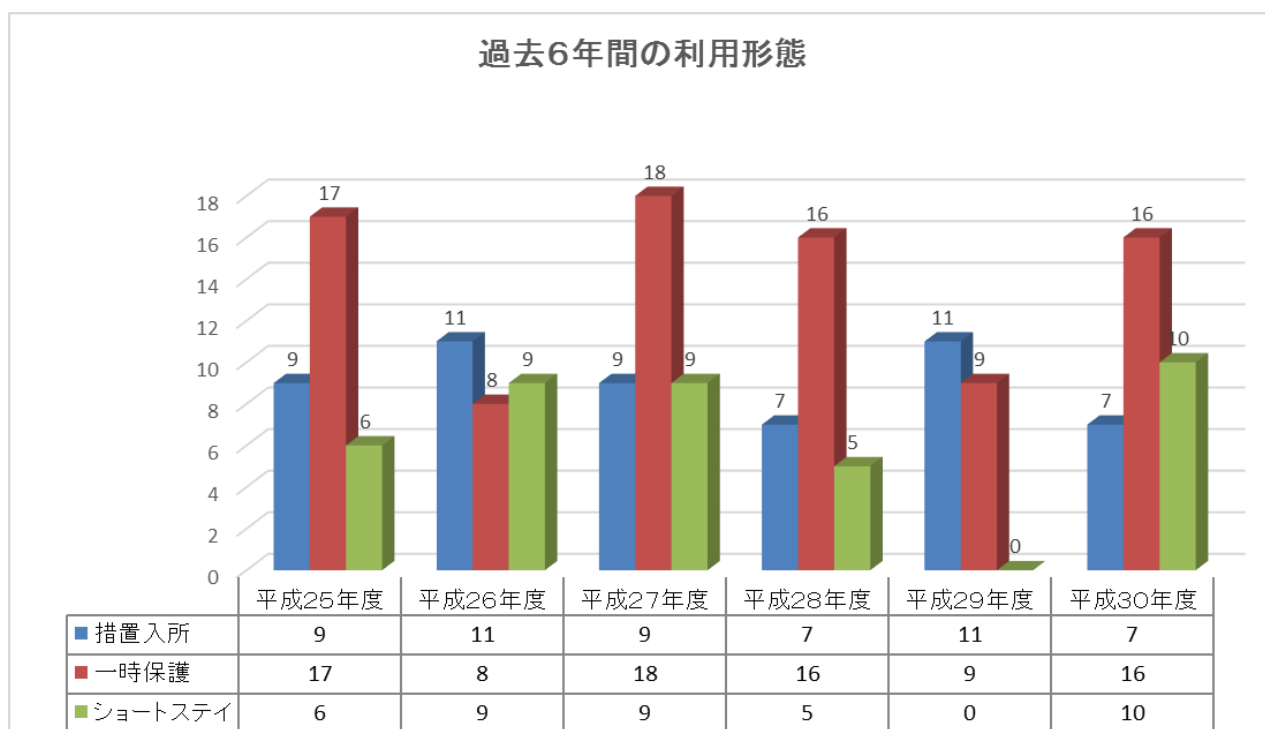
(2)ー② 平成30年度 富士市ショートステイの利用状況

年 齢	利用人数	利用日数
2歳未満	9人	54日
2歳以上	1人	7日
合 計	10人	61日
母 親	1人	7日

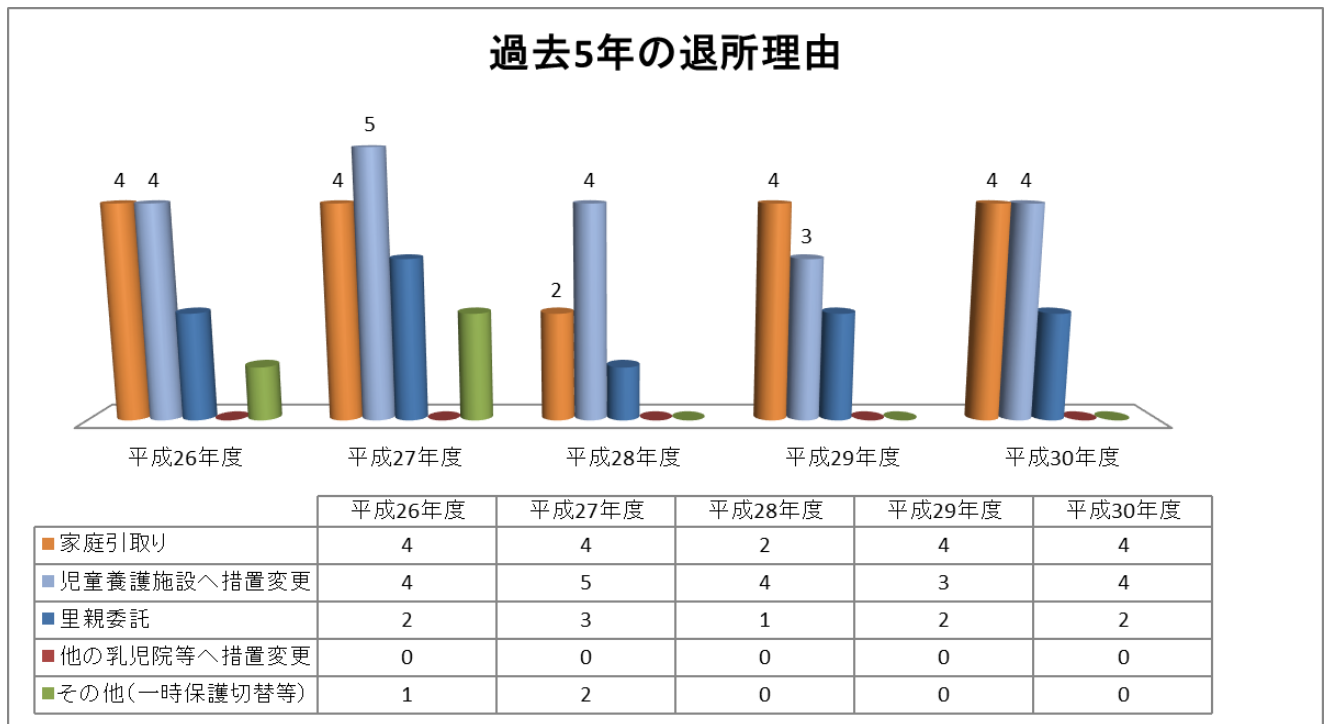
平成30年度 ショートステイ受入実績

	各月の受け入れ日数												合計	備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
I.U(女)	7												7	
F.M(母)		7											21	母子生活室 利用
F.R(男)		7												
F.U(男)		7												
E.M(男)			3										3	
A.H(男)			7										7	
M.U(女)						16							16	
A.H(男)							1	6					7	
Y.O(男)									2				2	
Y.O(男)									3				3	
A.H(男)											2		2	
合計	7	21	10	0	0	16	1	6	5	0	2	0	68	

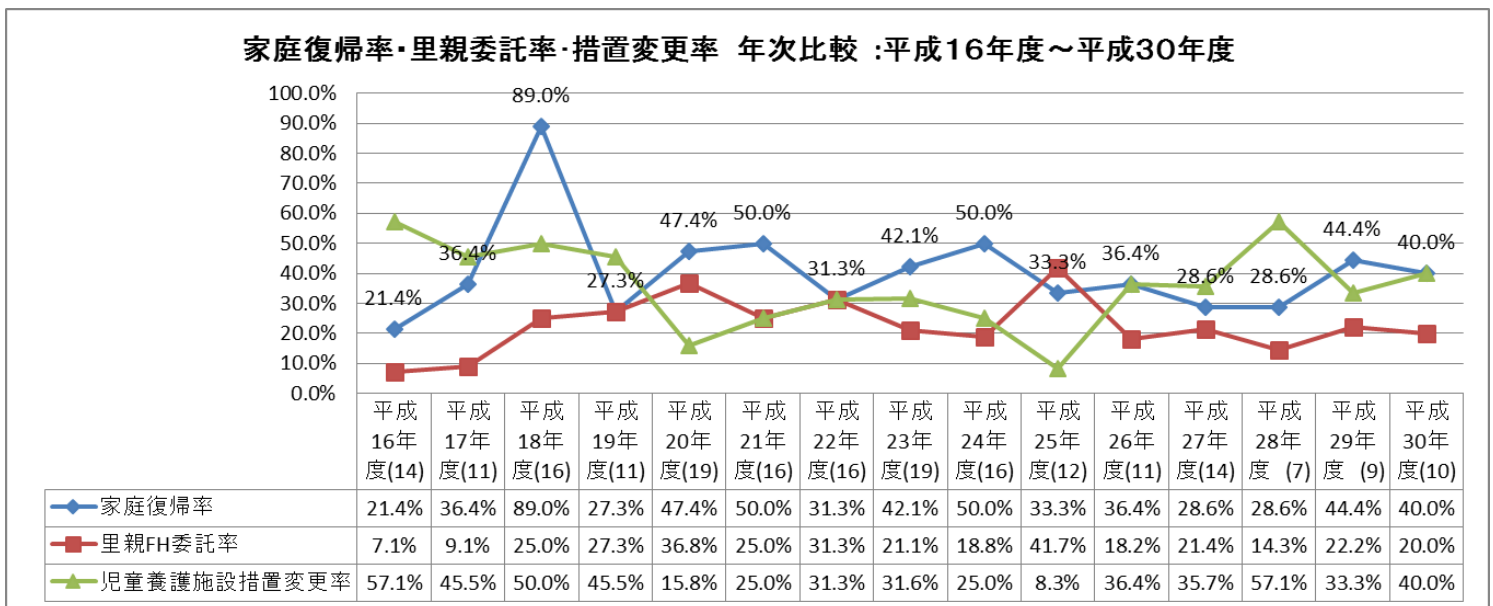
(2)ー③ 利用形態の年次比較



(2)－④－1 退所理由年次比較



(2)－④－2 家庭復帰率・里親委託率・児童養護施設への措置変更率の年次比較

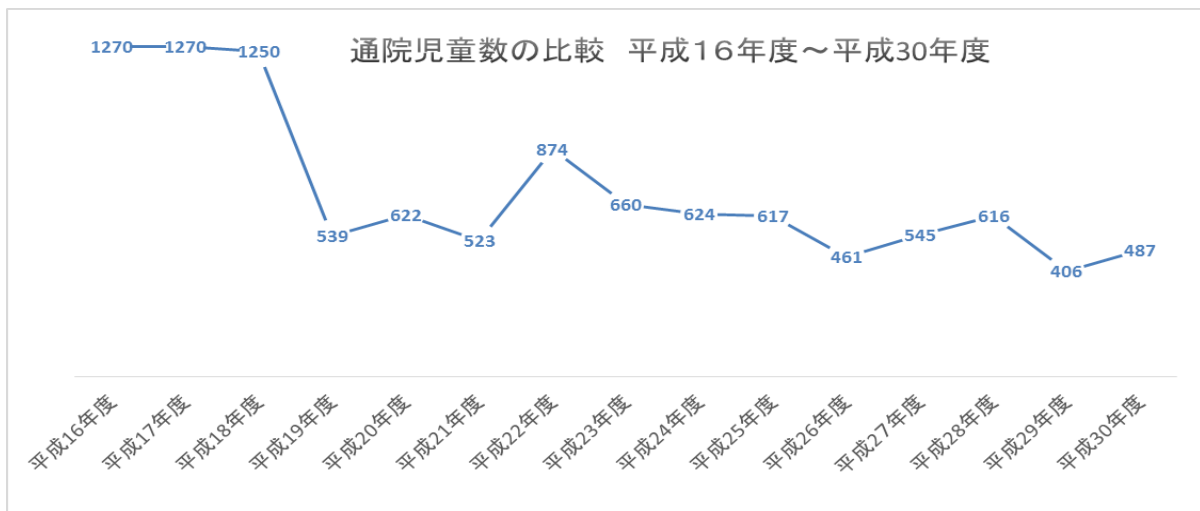


資料2 平成30年度 疾病科別受診状況及び予防接種、健康診断、事故記録等

(1) 通院及び予防接種・健康診断の記録 総受診件数 707件

(1)-① 平成30年度月別通院児童数 (年間487件)

通院数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
いいずみファミリークリニック	20	19	21	38	16	29	47	28	28	8	16	23	293
小川内科小児科医院						1		1	10	1			13
かみで耳鼻咽喉科	2	9	1	5	14	2	6	8	12	9	2	4	74
里和耳鼻咽喉科			1										1
小森眼科クリニック					2				1	1	4	1	9
海野皮膚科医院		1			2		1		1			1	6
米本皮膚科医院				3					1		1		5
片岡歯科医院		2	1	1	1	1	1	1	2		1	1	12
中山医院								1					1
瀬尾医院										1	1		2
土屋医院												1	1
沼津市立病院						1							1
こどもの心の診療所										1	1	1	3
富士宮市立病院		1					1	2	4				8
静岡済生会病院			3			1							4
富士市立中央病院													
(整形外科)													0
(小児科)	2	4	2	6	4	2	5	3	3	5	2	3	41
(泌尿器科)			1										1
(救急外来)				1									1
県立こども病院													
(循環器科)									1				1
(小児外科)	2												2
(眼科)						1							1
(耳鼻科)								1					1
(新生児科)								1					1
(麻酔科)	1												1
(整形外科)								1					1
(アレルギー科)													0
(救急総合診療科)													0
富士市立救急医療センター						1	1						2
富士市立こども療育センター											1		1
通院数合計①	27	36	30	54	39	39	62	47	63	26	29	35	487



(1)-①-(2) 過去15年間の通院数・通院率の比較 (年間通院数の比較)

通院率比較:平成16年度～平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均	
平成16年度(9,755名)	712	758	796	869	952	872	843	810	837	837	756	713	9,755	名
通院数(1,270名)	67	101	87	62	134	161	173	141	82	98	96	68	1,270	名
通院率:通院数/延べ人数	9.41	13.32	10.93	7.13	14.08	18.46	20.52	17.41	9.80	11.71	12.70	9.54	13.02	%
平成17年度(9,393名)	571	616	630	646	693	812	894	855	853	929	907	987	9,393	名
通院数(1,270名)	78	89	69	45	59	127	128	136	126	81	180	152	1,270	名
通院率:通院数/延べ人数	13.66	14.45	10.95	6.97	8.51	15.64	14.32	15.91	14.77	8.72	19.85	15.40	13.52	%
平成18年度(10,238名)	894	850	893	867	851	817	884	870	868	868	776	845	10,238	名
通院数(1,250名)	99	157	93	191	93	96	98	140	124	40	56	63	1,250	名
通院率:通院数/延べ人数	11.07	18.47	10.41	22.03	10.93	11.75	11.09	16.09	14.29	4.61	7.22	7.46	12.16	%
平成19年度(8,143名)	572	638	632	655	628	618	692	690	746	780	723	769	8,143	名
通院数(541名)	46	56	82	80	55	32	44	19	49	17	32	29	541	名
通院率:通院数/延べ人数	8.04	8.78	12.97	12.21	8.76	5.18	6.36	2.75	6.57	2.18	4.43	3.77	6.64	%
平成20年度(7,771名)	709	688	630	616	496	464	554	657	732	752	651	822	7,771	名
通院数(622名)	31	31	75	59	15	20	94	70	89	60	35	43	622	名
通院率:通院数/延べ人数	4.37	4.51	11.90	9.58	3.02	4.31	16.97	10.65	12.16	7.98	5.38	5.23	8.00	%
平成21年度(9,596名)	705	691	703	783	829	864	930	854	855	815	774	793	9,596	名
通院数(523名)	83	34	38	38	45	29	44	24	27	27	24	110	523	名
通院率:通院数/延べ人数	11.77	4.92	5.41	4.85	5.43	3.36	4.73	2.81	3.16	3.31	3.10	13.87	5.45	%
平成22年度(10,371名)	730	803	823	934	907	902	892	869	914	920	812	867	10,373	名
通院数(874名)	24	72	44	60	96	65	69	94	79	59	135	77	874	名
通院率:通院数/延べ人数	3.29	8.97	5.35	6.42	10.58	7.21	7.74	10.82	8.64	6.41	16.63	8.88	8.43	%
平成23年度(8,971名)	781	805	740	824	806	747	713	690	726	734	694	711	8,971	名
通院数(660名)	66	63	69	79	77	61	56	51	52	26	25	35	660	名
通院率:通院数/延べ人数	8.45	7.83	9.32	9.59	9.55	8.17	7.85	7.39	7.16	3.54	3.60	4.92	7.36	%
平成24年度(7,298名)	447	476	450	528	573	571	638	683	748	700	713	771	7,298	名
通院数(624名)	33	38	28	54	39	31	71	44	74	42	59	111	624	名
通院率:通院数/延べ人数	7.38	7.98	6.22	10.23	6.81	5.43	11.13	6.44	9.89	6.00	8.27	14.40	8.55	%
平成25年度(7,688名)	601	558	543	636	625	667	734	690	701	677	601	655	7,688	名
通院数(617名)	60	50	59	43	31	47	71	41	62	43	50	60	617	名
通院率:通院数/延べ人数	9.98	8.96	10.87	6.76	4.96	7.05	9.67	5.94	8.84	6.35	8.32	9.16	8.03	%
平成26年度(7,954名)	621	691	635	641	592	684	692	686	707	682	633	690	7,954	名
通院数(461名)	52	66	47	33	11	42	52	55	33	16	19	35	461	名
通院率:通院数/延べ人数	8.37	9.55	7.40	5.15	1.86	6.14	7.51	8.02	4.67	2.35	3.00	5.07	5.80	%
平成27年度(8,118名)	600	617	602	626	646	655	706	700	744	744	711	767	8,118	名
通院数(545名)	45	28	19	28	30	50	77	59	58	49	43	59	545	名
通院率:通院数/延べ人数	7.50	4.54	3.16	4.47	4.64	7.63	10.91	8.43	7.80	6.59	6.05	7.69	6.71	%
平成28年度(7,080名)	548	564	574	589	601	585	672	605	609	571	505	657	7,080	名
通院数(616名)	24	48	40	82	88	39	52	61	47	53	37	45	616	名
通院率:通院数/延べ人数	4.38	8.51	6.97	13.92	14.64	6.67	7.74	10.08	7.72	9.28	7.33	6.85	8.701	%
平成29年度(8,513名)	643	687	616	649	713	711	774	740	762	775	700	743	8,513	名
通院数(406名)	33	36	22	23	27	30	63	48	36	20	25	43	406	名
通院率:通院数/延べ人数	5.13	5.24	3.57	3.54	3.79	4.22	8.14	6.49	4.72	2.58	3.57	5.79	4.769	%
平成30年度(7,370名)	626	589	554	547	543	521	581	632	708	693	653	723	7,370	名
通院数(487名)	27	36	30	54	39	39	62	47	63	26	29	35	487	名

平均通院率の比較 平成16年度～平成30年度





(1)－② 平成30年度 月別健康診断受診数 (年間 98件)

健康診断	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生後1週間健診													0
1-2ヶ月検診								1		2	1		4
3-4ヶ月健診											1		1
6-10ヶ月健診				1			1					2	4
1歳-1歳半検診	1	1	1	1		4	1	1	2			1	13
2歳-3歳児検診					1				2	1	1	1	6
定期健診・歯科検診					16						24	24	64
入所時健診													0
退所時健診(嘱託医)			2		1							3	6
健康診断合計②	1	1	3	2	18	4	2	2	4	3	27	31	98

(1)－③ 平成30年度 月別予防接種実施児童数 (年間 122件)

予防接種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
K-2シロップ													0
MRワクチン	1		1			1							3
BCG						1						1	2
日本脳炎							3	3	1			3	10
4種混合1～3回		1	3		3	1	2	1		1	1	5	18
インフルエンザ							16	18	1				35
シナジス(RSウイルス)													0
ヒブワクチン	3					1			3	1	1	4	13
小児肺炎球菌ワクチン	3					1			3	1	1	4	13
ロタウイルス									1	1	1	3	6
水痘	1		3		5	1				1		1	12
B型肝炎		1	1					1	1	1		5	10
その他													0
予防接種合計③	8	2	8	0	8	6	21	23	10	6	4	26	122
総計 ①+②+③	36	39	41	56	65	49	85	72	77	35	60	92	707

(2) 平成30年度 入院児童について(対象児2名 延人数3名・入院日数延 7日)

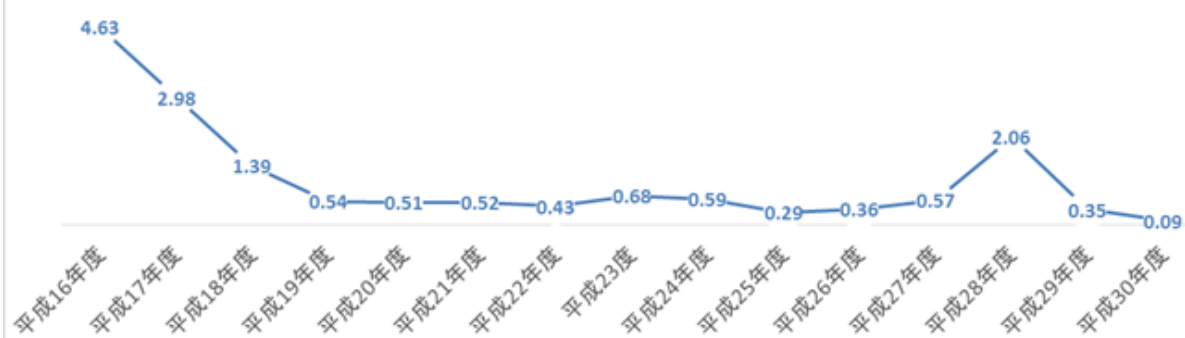
氏名	性別	入院期間	病院名	病名	入院日数
M.M	女	平成30年4月6日(日帰り入院)	静岡県立こども病院	ヘルニア手術前検査	1
M.M	女	平成30年4月16日(日帰り入院)	静岡県立こども病院	ヘルニア手術	1
A.K	女	平成30年7月5日～7月9日	富士市立中央病院	ヒトメタニューモ感染	5
入院者数 3 名			延べ入院日数 7 日		

## (2)-① 過去15年間の入院率比較

## 入院率比較:平成16年度～平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均	
平成16年度(9,755名)	712	758	796	869	952	872	843	810	837	837	756	713	9,755	名
入院者数(28名延べ452日)	2	11	66	16	43	80	52	114	45	17	6	0	452	名
入院率:入院数/延べ人数	0.28	1.45	8.29	1.84	4.52	9.17	6.17	14.07	5.38	2.03	0.79	0.00	4.63	%
平成17年度(9,393名)	571	616	630	646	693	812	894	855	853	929	907	987	9,673	名
入院者数(27名延べ280日)	57	53	21	0	0	33	23	15	53	10	15	0	280	名
入院率:入院数/延べ人数	9.98	8.60	3.33	0.00	0.00	4.06	2.57	1.75	6.21	1.08	1.65	0.00	2.89	%
平成18年度(10,238名)	894	850	893	867	851	817	884	870	868	868	776	845	10,283	名
入院者数(13名延べ143日)	0	8	26	0	0	0	16	45	34	15	1	0	143	名
入院率:入院数/延べ人数	0.00	0.94	2.91	0.00	0.00	0.00	1.81	4.94	3.92	1.73	0.13	0.00	1.39	%
平成19年度(8,143名)	572	638	632	655	628	618	692	690	746	780	723	769	8,143	名
入院者数(4名延べ44日)	0	0	17	11	7	0	0	0	0	0	9	0	44	名
入院率:入院数/延べ人数	0.00	0.00	2.69	1.68	1.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.24	0.00	0.54	%
平成20年度(7,771名)	709	688	630	616	496	464	554	657	732	752	651	822	7,771	名
入院者数(6名延べ40日)	0	12	0	0	0	0	5	0	23	0	0	0	40	名
入院率:入院数/延べ人数	0.00	1.74	0.00	0.00	0.00	0.00	0.90	0.00	3.14	0.00	0.00	0.00	0.51	%
平成21年度(9,596名)	705	691	703	783	829	864	930	854	855	815	774	793	9,596	名
入院者数(7名延べ50日)	4	1	0	0	6	0	0	6	20	0	2	11	50	名
入院率:入院数/延べ人数	0.57	0.14	0.00	0.00	0.72	0.00	0.00	0.70	2.34	0.00	0.26	1.39	0.52	%
平成22年度(10,371名)	730	803	823	984	907	902	892	869	914	920	812	867	10,373	名
入院者数(7名延べ45日)	0	4	0	0	12	0	16	8	0	0	5	0	45	名
入院率:入院数/延べ人数	0.00	0.50	0.00	0.00	1.32	0.00	1.79	0.92	0.00	0.00	0.62	0.00	0.43	%
平成23年度(8,971名)	781	805	740	824	806	747	713	690	726	734	694	711	8,971	名
入院者数(3名延べ61日)	0	0	0	5	0	0	1	4	0	20	29	2	61	名
入院率:入院数/延べ人数	0.00	0.00	0.00	0.61	0.00	0.00	0.14	0.58	0.00	2.72	4.18	0.28	0.68	%
平成24年度(7,298名)	447	476	450	528	573	571	638	683	748	700	713	771	7,298	名
入院者数(6名延べ43日)	0	0	0	0	0	0	3	0	6	5	0	29	43	名
入院率:入院数/延べ人数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.47	0.00	0.80	0.71	0.00	3.76	0.59	%
平成25年度(7,688名)	601	558	543	636	625	667	734	690	701	677	601	655	7,688	名
入院者数(2名延べ22日)	0	0	0	0	0	7	0	15	0	0	0	0	22	名
入院率:入院数/延べ人数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.05	0.00	2.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.29	%
平成26年度(7,954名)	621	691	635	641	592	684	692	686	707	682	633	690	7,954	名
入院者数(4名延べ29日)	0	0	4	0	0	7	0	0	18	0	0	0	29	名
入院率:入院数/延べ人数	0.00	0.00	0.63	0.00	0.00	1.02	0.00	0.00	2.55	0.00	0.00	0.00	0.36	%
平成27年度(8,118名)	600	617	602	626	646	655	706	700	744	744	711	767	8,118	名
入院者数(5名延べ46日)	0	0	0	9	6	14	0	0	0	17	0	0	46	名
入院率:入院数/延べ人数	0.00	0.00	0.00	1.44	0.93	2.14	0.00	0.00	0.00	2.28	0.00	0.00	0.57	%
平成28年度(7,080名)	548	564	574	589	601	585	672	605	609	571	505	657	7,080	名
入院者数(15名延べ146日)	0	5	6	15	41	2	9	30	32	6	0	0	146	名
入院率:入院数/延べ人数	0.00	0.89	1.05	2.55	6.82	0.34	1.34	4.96	5.25	1.05	0.00	0.00	2.06	%
平成29年度(8,513名)	643	687	616	649	713	711	774	740	762	775	700	743	8,513	名
入院者数(5名延べ30日)	11	0	0	0	0	8	9	2	0	0	0	0	30	名
入院率:入院数/延べ人数	1.71	0.00	0.00	0.00	0.00	1.13	1.16	0.27	0.00	0.00	0.00	0.00	0.35	%
平成30年度(7,370名)	626	589	554	547	543	521	581	632	708	693	653	723	7,370	名
入院者数(3名延べ7日)	2	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	7	名
入院率:入院数/延べ人数	0.32	0.00	0.00	0.91	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	%

## 平均入院率の年次比較 平成16年度～平成30年度



### (3) 定期健康診断

#### (3)-① 入所児童定期健康診断

内科検診(年2回):嘱託医:飯泉哲哉医師

実施日:1回目:平成30年8月30日・2回目:平成31年2月26日

歯科検診(年1回):片岡歯科医院:片岡俊夫医師

実施日:平成31年3月5日

#### (3)-② 職員定期健康診断(新富士病院)

1回目 : 平成30年9月5日・9月7日・9月18日

2回目 : 平成31年2月8日・2月12日・2月20日

### (4) 感染症の記録

#### (4)-① ヒトメタニューモウイルス感染症

感染症対策期間:平成30年6月25日～7月4日(完全隔離期間)

感染児童数:12名(10ヵ月～2歳9ヵ月)

#### (4)-② ヘルパンギーナ感染症の園内感染

感染症対策期間:平成30年7月19日～7月24日(完全隔離期間)

感染児童数:15名(10ヵ月～2歳9ヵ月)

#### (4)-③ RSウイルス感染症の園内感染

感染症対策期間:平成30年9月28日～10月4日麻疹対策に切替

感染児童数:6名(5ヵ月～3歳3ヵ月)

#### (4)-④ 麻疹対策

感染症対策期間:平成30年10月4日～現在対策継続中

MRワクチン接種:職員6名

※感染者無し

#### (4)-⑤ インフルエンザ(A型)感染症の園内感染について

感染症対策期間:平成31年1月20日～2月5日(完全隔離期間)

感染児童数:7名(1歳8ヵ月～3歳1ヵ月)

感染職員数:3名(20歳代)

## (5) 事故記録等

(5)-① 事故の記録 総事故数 31 件 (対象児童 31 名) 通院児童 4 名

(内訳)

- |              |                                     |
|--------------|-------------------------------------|
| (1) はさみこみ    | 3 件: 通院 0 件 (倒れてきた椅子に挟む、ドアに挟む等)     |
| (2) ベッドからの転落 | 4 件: 通院 3 件 (通院するが、異常所見なし)          |
| (3) 衝突・転倒    | 6 件: 通院 0 件 (扉や水道蛇口に頭をぶつける等)        |
| (4) 誤飲・誤食    | 4 件: 通院 1 件 (外泊中に山芋のとろろを食べる)        |
| (5) 誤投薬      | 5 件: 通院 0 件 (内服薬不足、過剰投与、投与時間の間隔不足等) |
| (6) 創傷・裂傷    | 6 件: 通院 0 件 (生垣に潜る、園庭で遊んでいる時に受傷等)   |
| (7) その他      | 3 件: 通院 0 件 (滑り台からの飛び降り、原因不明の痣等)    |

(5)-② 児童間の事故 総報告数 56 件 通院児童 0 名

(内訳) 噛みつき 51 件・ひっかき 2 件・不明 3 件(入浴時、処置時に痣発見)

(5)-③ インシデントレポート(ヒヤリハット) 総数 42 件

インシデントレポートの要約(次ページ参照)

## 平成30年度 インシデントレポートの集計(要約)

恩賜記念みどり園

No.	年月日	発生場所	発生時間	インシデントの内容	対応	備考
1	平成30年4月3日(火)	乳児室③	6:00	避難車の中のカラーボックスの上に乗れ、棚の上のデッキを触ろうとしていた。その後空気清浄機の上に乗って触ろうとしていた。	避難車からカラーボックスを片付け、子どもにちゅういをなごかす。	
2	平成30年4月8日(日)	乳児室①	6:20	ベッドの柵に片手をかけ、反対の片手を棚の上へおせていた。	転落の危険があるため、低いベッドに一時入れる。ベッドの位置を変更する。	N.R
3	平成30年4月8日(日)	和室	20:50	夜勤の見回り中和室にアイリス点眼薬の上の部分落ちていた。	すぐに破棄する。	
4	平成30年4月10日(火)	食堂	7:45	空の茶碗を厨房へ運んでいるとき落として割ってしまった。本児には怪我はなかった。	掃除機をかけ、割れた茶碗は厨房職員には期してもらった。	Y.N
5	平成30年4月19日(木)	ナースプール	14:20	4月18日で終了しているはずの点鼻薬が3回分残っていた。記載漏れがあり実施されていたかは不明の日が何日あった。	今後は点鼻などの施行をしたら必ず時間を記入していくようにする。	Y.N
6	平成30年4月19日(木)	乳児室②	19:30	小さい積み木とラムネの容器で作った玩具を見つける。子どもの自由に遊ぶ玩具入れの中に入っていた。	連絡帳にトレットペーパーの心より小さい玩具は危険であることを書き、玩具は乳児室の玩具入れから外した。	
7	平成30年4月21日(土)	食堂	7:40	子どもが床に落ちていた食べかすを拾って口の中に入れた。卵アレルギーのある子どもであるが、朝食で卵のメニューはなかった。	口の中の物を出し、拾って食べると体がかゆくなることを本児に伝える。	Y.N
8	平成30年4月24日(火)	オムツ交換室	時間未記入	Aさんの上申薬として処方された赤み用の塗り薬が、現在塗布している薬と違っていた。	処方された薬に変更する。	A.S
9	平成30年4月25日(水)	プレイルーム	9:15	プレイルームのブラインドの調整中にR君がひもをひたたくて逃げる。逃げたときにひもが首に巻き付いてしまう。	本児も驚いて止まったので、ひもを鶏除いて注意する。子どものいるときには調整用のひもの操作を行わない。	R.S
10	平成30年4月27日(金)	1階廊下	14:45	検温板の金具が落ちていた。	金具を浸け直そうとしたが、すぐにとれそうだったので金具はつけずにおくこととして使用する。	
11	平成30年5月2日(水)	1階廊下	14:40	TKんが落ちていたボールチェーンを口に入れようとしていた。	玩具についていたボールチェーンは外れやすく危険なため、今後は外すか使用しないようにする。	T.H
12	平成30年5月6日(日)	芝生園庭(裏門)	9:50	裏の扉の鍵がしていなかった。	すぐに鍵をする。子どもが出るときは、念のために門の鍵がしてあるか確認するよう指導した。	
13	平成30年5月6日(日)	園庭花壇	10:15	プレイルーム前の花壇に5センチのくぎがおちていた。	すぐに拾ってほかにも落ちていないか確認をした。	
14	平成30年5月10日(木)	オムツ交換室	8:21	Yさんの右鼻の中にもやしが入っていた。朝食後のかおふきをしたときにはなかった。原因不明。	朝の連絡会で注意してみていくように知らせた。	Y.W
15	平成30年5月10日(木)	厨房	14:30	夕食に使用するトレットのすき焼き井野中に、鶏卵が使用されていることを調理中に発見した。	今後、トレットや加工品等を献立に入れる際は厨房職員内でアレルギー物質を確認する。又、調理時にも確認する。	
16	平成30年5月17日(木)	乳児室②	8:00	乳児室の玩具の中に、小さい積み木が箱に入っていない状態で出ていた。	積み木の箱の中に入れ、用度品庫に片付けた。個別で遊ぶ時だけにするように連絡会で注意した。	
17	平成30年5月21日(月)	芝生園庭	10:00	芝生で遊んでいる際、乳児室前の芝生でプラスチックの破片を、花壇の中から金属の部品のような物をAさんが持ってきた。	その場で預かり、課長に報告した。	A.S
18	平成30年5月24日(木)	プレイルーム	10:45	Kさんの右鼻穴の下にご飯粒が入っていた。朝食時に入った物か原因不明。	同じような事例月々為、食事介助する職員は十分気をつけるように、朝の連絡会や会議で伝えていく。	K.M
19	平成30年6月1日(金)	裏玄関	16:40	Y君がひまわり園からの帰りに、裏玄関まで行くと駐車場の法へ養育者の制止を聞かず走り出しみどり園裏の道を車道の法へ走って行った。	「そっちに行ってはダメ」と大声で呼び止めながら追いかける。捕まえてから、本児に「車が来たらぶつかってしまう。一人で外へ行っては行けない」と話した。	Y.N
20	平成30年6月11日(月)	乳児室②	14:40	乳児室とナースプールの間の柵が開けてあったのを子どもが引っ張り出しレールから外れて柵が倒れてきた。	子どもにぶつかる前に柵をキャッチしたので子どもにはぶつからなかった。子どもがいるときには鍵をしておくようにする。	R.K

No.		発生場所	発生時間	インシデントの内容	対応	備考
21	平成30年7月9日(月)	乳児室③	16:00	散歩後に一人でベットの部屋へ行きベットに入っていた。	ベットにいた本児を課長が見つけてプレイルームへ連れてきた。	K.K
22	平成30年7月9日(月)	ひまわり幼稚園前の遊具	時間未記入	遊具のらせん状のところに移るとき距離感等考えず飛び移るので注意	ケース会議で職員に伝えた	A.S
23	平成30年7月10日(火)	1階の廊下(食堂前)	11:47	食後にベッドへ連れて行くように言われた保育士が動こうとしなかった本児をおいたまま他の子どもの排泄にいてしまった。	食堂内にいた保育士が気づき本児をベットに連れて行った。初めに対応した保育士には責任を持って連れて行くように指導した。	Y.N
24	平成30年7月20日(金)	ひまわり園グラウンド	16:20	ジャングルジムから降りるのに、下を見ないで足もついていないのに手を離す。長靴が引っかかり抜けない等あった。	会議で報告し、注意を促す	A.S Y.N
25	平成30年7月26日(木)	乳児室①	7:20	検温の時、ベットの中段のところにホッチキスの針が刺さっていた。何についていた物か原因不明。	口に入れる可能性があるため、朝の連絡会で職員に周知するよう伝えた。会議でも伝えていく。	
26	平成30年8月2日(木)	食堂	11:32	H君の左鼻入り口付近にご飯粒が入っていた。	中に入り込まないように、鼻をつまんで押し出した。	H.K
27	平成30年8月2日(木)	乳児室②	13:00頃	水分補給用ペットボトルの補充用のキャップと、保冷用ペットボトルのキャップが逆になっていた。	キャップを消毒後本来の容器に替えて厨房に戻した。	
28	平成30年9月6日(木)	芝生園庭	午前	外の水道にねじが落ちていた。何処の物かは不明	拾って総括に報告した。朝の園庭見回りの時に注意してみるように連絡会で伝えた	
29	平成30年9月17日(月)	プレイルーム	13:00頃	プレイルームの手洗い場の台の下に留め金が置いてあった。	見つけた職員が直ぐに持ってきたので、職員に誰が置いたのか聞いたが不明であった。	
30	平成30年9月21日(金)	プレイルーム	8:55	プレイルームのドアを子どもがお尻で押したためドアが外れた。	子どもが何度もドアを押ししたり叩いたりしているので、ドアが外れやすくなっている。ドアの修理を業者にしてもらった	
31	平成30年9月25日(火)	乳児室①	7:42	ゆりかごのカバーに留める紐が付いていないものがあり、カバーが外れて子どもの顔に被っていた。	カバーに紐を付けてもらい、連絡帳や会議で紐の付いていない物は使用しない様に伝えた	
32	平成30年9月26日(水)	乳児室③	20:20	夜間鳴いておき、ベッドの東側の柵に登ろうとしていた	夜間ぐずって泣くため、布団を床に下ろして眠らせた。	Y.N
33	平成30年10月10日(水)	乳児室③	6:00	空きベッドの上に登り、東側の南の窓の鍵を開けてしまった。	チャイルドロックが壊れて外れた状態であったので、早急にチャイルドロックを付けてもらうようにする。	A.S
34	平成30年10月10日(水)	1階廊下	11:10	食堂から1人で廊下に出てきたが、裏玄関側の戸が開いていて柵もしていなかった	裏玄関への戸は開めておかない時は必ず柵をするよう職員に注意を促す	A.S
35	平成30年10月26日(金)	プレイルーム	13:50	玩具の中に1メートルくらいのマフラーのような物が入っていた	首に巻いてしまうと危険であることを朝の連絡会・月例会で話し、オモチャの中に危険と思われる物があったら排除するように話した。	
36	平成30年10月26日(金)	沐浴室	18:20	入浴時、浴室のトイレに泡立てネットの入った洗面器の水を流してしまう	担当者間で情報を共有し注意する。	A.S
37	平成30年12月5日(水)	サンデッキ	8:00過ぎ	東側に置いてある乳母車のシートを固定するひもの間に顔を入れようとしていた。	紐が緩くシートもしっかり止めていなかったもので、しっかり固定し治した。	
38	平成31年2月1日(金)	プレイルーム	8:00	バンダナを首に巻いて、マントのようにして遊んでいた。首の前で縛ってあったので、すぐに解いた	バンダナを後ろから引っ張られると首が閉まり危険であることを伝え、朝の連絡会にて首に結ばないように話をした。	
39	平成31年2月18日(月)	乳児室①	4:35	Mちゃんが自分のベッドでなくテレビの前の高いベッドにいた。ベビーの夜勤所は診察室で授乳中だった。	本児のベッドの柵をおろし、自分で出られるようにし、柵を下した下に布団を敷いてカバーした。	M.M
40	平成31年3月12日(火)	芝生園庭	15:45	K君が東側のフェンスに上っていて他の子どもも真似して上ろうとしていた	担当者間で情報を共有し注意喚起を行う。	H.K
41	平成31年3月18日(月)	乳児室③	8:00	名前のタグを口の中に入れていたが、自分を出した。	直ぐにタグを取り上げた。以前から、小さな物を拾っては口に入れるので注意して見守る	M.M
42	平成31年3月18日(月)	乳児室①	10:00	ぬいぐるみの目がベッドに落ちていた	ぬいぐるみを回収する。ぬいぐるみなどれそうな物が内科を担当は気をつけ、あったら修理する	Y.I

### 資料3 平成30年度 園外保育実施実績

平成30年度は、ユニット毎の園外保育ではなく、「家庭的」ということを意識して、養育担当者と一緒に3～4名の小グループで、バスや電車などの公共の交通機関を使用し、の外出を実施しました。通常の養育でも、小グループによる行動を奨励し、近隣への散歩等を通して社会性の発達を促進する努力を行いました。

#### (1)園外保育の実施状況

年月日	行先・目的等	児童数	職員数	備考
平成30年4月14日	ロゼこどもコンサート	4	4	公用車使用
平成30年5月26日	大淵小運動会	3	3	公用車使用
平成30年6月24日	吉原教会礼拝・アピタ	3	3	公用車使用
平成30年9月26日	平塚 チームラボ	4	4	公用車・公共機関
平成30年10月22日	エスパルスドリームプラザ	3	3	公用車使用
平成30年10月26日	日本平動物園	3	4	公用車使用
平成30年11月6日	外食 バーミヤン	12	10	公用車使用
平成31年1月15日	ポップサーカス	4	4	小規模 GC:公用車
平成31年2月25日	アピタ おやつ購入	5	7	徒歩・公用車(面会児童)
平成31年3月6日	江ノ島水族館	4	4	公用車・公共機関
平成31年3月13日	箱根彫刻の森	4	4	公用車・公共機関
平成31年3月28日	日本平動物園	4	4	公共機関
延べ人数		57	51	※公用車運転手は数に含めず

#### (1)－② 誕生会・お楽しみ会

- ① 誕生日…子どもの誕生日毎に担当養育者と1対1でお祝いをしました。
- ② お楽しみ会(月1回)…お楽しみ会の時に、皆で誕生日のお祝いをしました。
- ③ 七五三…記念に、美影館さんのご好意で記念撮影をしていただいています。



外食



クリスマス

資料4 平成30年度 お楽しみ会行事献立及び、年間給食数(単位:人)

平成30年度 行事食献立及び、年間給食数			年間延人員、各月給食数	
月	日	行事食献立	延在籍児数	延食数
4	12	お弁当 おにぎり・ミートボール・たこさんウインナー・桜ポテトサラダ ・ブロッコリー・トマト・ゼリー	621	1,821
5	2	こいのぼり型ケチャップライス・星形にんじんグラッセ・唐揚げ・枝 豆とツナのポテトサラダ・フルーツポンチ・野菜ジュース	582	1,745
6	4	カエルの型抜きごはん・照り焼きチキン・フライドポテト・サ ラダ・そうめん汁・あじさいゼリー	548	1,652
7	6	散らし寿司・エビフライ・星形にんじん・星型ハム・星型チ ーズ・サラダ・七夕ゼリー・野菜ジュース	545	1,660
8		園外保育	542	1,597
9	6	アンパンマンいなり・エビ春巻き・にんじんとさつま芋のごま 和え・ブロッコリー・そうめん汁・ぶどう	539	1,595
10	4	色々サンドイッチ(ツナマヨ、卵、スライスチーズ、ハム、イ チゴジャム、チョコレート、生クリーム、バナナ、モモ)・一口 おにぎり・照り焼きチキン・具沢山野菜スープ・かぼちゃの プリン	580	1,731
11	15	炊き込みご飯おにぎり・ミートボール・春雨サラダ・かぼちゃ 入り野菜スープ・おいもアイス	632	1,878
12	21	トナカイのロールパン・ツリーのホットサラダ・骨付き唐揚げ ・ミニトマト・コーンスープ・ツリーケーキ	706	2,117
1	10	アンパンマンおにぎり・たこさんウインナー・アジの蒲焼・ち くわの門松・星形にんじん・ミニトマト・そうめん汁・イチゴの フルーチェ	691	2,055
2	1	鬼のハンバーグ・おにぎり・フライドポテト・野菜スープ・鬼 イチゴゼリー	653	1,810
3	6 13 18 28	園外保育	723	2,139
合計			7,362	21,747





資料5 平成30年度 防災対策、避難訓練等の実施状況

(1)地震想定避難訓練(夜間想定訓練 2回) ※消火訓練は毎月実施した。

	実施日	開始時間	参加人員	備考
1	平成30年5月9日(水)	9:02～	児童18名・職員29名	
2	平成30年7月11日(水)	9:00～	児童16名・職員2名+(オブザーバー)	夜間想定
3	平成30年10月10日(水)	9:00～	児童13名・職員7名	
4	平成31年1月9日(火)	9:00～	児童22名・職員11名	
5	平成31年3月13日(水)	9:00～	児童14名・職員2名+(オブザーバー)	夜間想定

(2)火災想定避難訓練(夜間想定訓練 0回) ※非常通報装置を使用し消防署への通報訓練も行う

	実施日	開始時間	参加人員	備考
1	平成30年4月12日(水)	9:32～	児童21名・職員20名	通報訓練
2	平成30年6月13日(水)	9:00～	児童16名・職員11名	通報訓練
3	平成30年8月13日(水)	9:00～	児童14名・職員12名	通報訓練
4	平成30年12月12日(水)	9:00～	児童21名・職員18名	通報訓練
5	平成31年2月13日(水)	9:00～	児童20名・職員18名	通報訓練

(3)総合防災訓練 (訓練回数 2回)

	実施日	実施時間	内容・参加人員等	備考
1	平成30年9月3日(月)	8:00～ 16:00	児童17名・職員28名 避難訓練・消火訓練・災害対応訓練	雨天の為 園内避難
2	平成30年11月1日(木)	8:00～ 11:40	児童17名・職員21名 避難訓練・消火訓練・非常食試食等防 災備蓄品の点検と入替(午後)	※福祉施設 総合防災訓練

(4)職員間通報訓練 ※緊急連絡網等を使用した通報訓練(実施回数・法人12回)

	実施日	実施時間	参加人員・訓練内容等	備考
1	平成30年4/1・5/1・6/1・ 7/1・8/1・8/31・10/1・ 11/1・12/1 平成31年1/4・2/2・3/1	12回 実施	災害安否コールシステムを使用した通 報・安否確認訓練(全職員)	※法人 全職員対象

(5)防災用備品の点検・整備等（実施回数1回）

	実施日	実施時間	内 容	備 考
1	平成 30 年 11 月 1 日(木)	13:30～	防災倉庫内備品の点検・確認・入替	

総合防災訓練時の施設内避難と消火訓練:平成 30 年 9 月 3 日



総合防災訓練時の設営訓練:平成 30 年 11 月 1 日



資料6 平成30年度保守点検実施表

点検項目	業者名	点検年月日	備考
電気工作物	関東電気保安協会	H30.4.11	年6回
		H30.6.15	
		H30.8.10	
		H30.10.12	
		H30.12.11	
		H30.2.21	
消防設備	サンコー防災 (消防用設備点検)	H30.7.4	年2回
		H30.12.18	
	富士消防用品商会 (消火器点検)	H30.5.14	年2回
		H30.11.19	
給水給湯設備 空調設備機械等	協栄空調株式会社	H30.4.24	年2回
		H30.11.16	
園舎殺菌消毒	(株)大富士タスクインターミニック	H30.6.14	年2回
		H30.11.29	
防鼠点検 厨房・食堂		H30.4.27	毎月
		H30.5.22	
		H30.6.22	
		H30.7.27	
		H30.8.24	
		H31.10.6	
		H30.9.28	
		H30.11.29	
		H30.12.21	
		H31.1.25	
		H31.2.22	
H31.3.22			
園舎ジキアリ殺虫施工		H30.5.22	年2回
		H30.10.6	
布団乾燥機	株式会社 Manamana	H30.9.26	年2回
		H30.3.7	
貯水槽清掃	ニッケン消毒(株)	H30.3.16	年1回
水質検査	静岡県生活化学検査センター	H30.12.11	年1回
昇降機リフト	クマリフト株式会社	H30.3.7	年1回
建築設備等定期検査	王子不動産(株)	H30.12.25	年1回
タッチ式自動ドア	ナブコシステム(株)	必要に応じて	
事務機器	(株) N e t		
	(株) ティーケーシステム		
電解水「守る水」	株式会社アオノ	H30/4/10 5/17 6/26 7/20	毎月
		8/24 9/5 10/22 11/20	
		12/12 H31/1/10 2/15 3/19	

資料7 平成30年度 研修会、会議等参加実績

外部研修会参加人数 101名(開催 57回)

法人内・施設内研修会参加人数 147名(開催 44回)

(1) 全国乳児福祉協議会・関東ブロック乳児院協議会等の県外研修会

参加人数 20名(13回)

開催日	研修会名称・テーマ等	会場	参加人数
平成30年6月7日～8日	第53回関東ブロック乳児院研究協議会	ホテルレイクビュー水戸(茨城県)	3名
6月24日～26日	第62回全国乳児院研修会	甲府富士屋ホテル(山梨県)	2名
7月19日～20日	日本福祉施設士会 施設長実学講座	全国社会福祉協議会(東京都)	1名
9月29日	子育て支援の豊かな広がり、子育て支援の未来を考える	国立オリンピック記念少年総合センター	1名
10月10日	厚生労働省 児童福祉施設給食関係者研修会	栃木県総合文化センター	1名
10月11日～12日	第68回全国乳児院協議会	アスト津(三重県津市)	2名
11月8日～9日	第36回関東ブロック乳児院協議会職員研修会	大宮ソニックシティ(埼玉県)	4名
11月18日	子どもの虐待死を悼み命を讃える市民集会	銀座プロッサム中央会館(東京都)	1名
11月17日～18日	第21回子ども虐待防止シンポジウム	横浜シンポジア(横浜市)	1名
12月12日	子どもの育ちを支える・子ども・子育て全国フォーラム	全国社会福祉協議会(東京都)	1名
平成31年1月21日～22日	全国ファミリーソーシャルワーク研修会	TOC有明(東京都)	1名
2月15日	保育事業経営セミナー	全国社会福祉協議会(東京都)	1名
3月2日～3日	子どもの声の届く日本	明治安田こころの健康財団(東京都)	1名

(2) 静岡県乳児院協議会・静岡県児童養護施設協議会等の業界研修会 参加人数 32名(12回)

開催日	研修会名称・テーマ等	会場	参加人数
平成30年4月24日	家庭支援専門相談員・個別対応職員・里親専門相談員研修	浜松乳児院	2名
6月12日	静岡県乳児院協議会・養護施設協議会合同新人研修会	あざれあ	3名
9月19日	看護職員研修	浜松乳児院	3名
10月17日	栄養士・調理員研修	恩賜記念みどり園	4名
11月10日	児童虐待防止静岡の集い・たすきリレー協力	富士市中央公園・シズウエル	4名
11月21日	養育研修会	静岡恵明学園	2名
11月29日	児童福祉施設等における暴力防止研修会	もくせい会館	2名
12月20日	静岡県児童権利擁護推進研修会①	シズウエル	4名
平成31年1月16日	事務職員研修会	静岡乳児院	1名
1月17日	静岡県児童権利擁護推進研修会②	シズウエル	4名
2月20日	代表職員会議	恩賜記念みどり園	2名
2月28日	家庭支援研修会	あざれあ	1名

## (3)行政・静岡県社会福祉協議会・富士圏域福祉施設長連絡協議会等の県内研修会

参加人数 49名 (32回)

開催日	研修会名称・テーマ等	会場	参加人数
平成30年 4月19日	社会福祉法人 監事監査研修	グランシップ	1名
6月12日	衛生・栄養管理講習会	ロゼシアター	1名
6月13日	社会福祉法人簿記入門講座	シズウエル	1名
6月19日～22日	社会福祉法人事務職員経理基礎講座	静岡労政会館	1名
7月12日	子どもの居場所づくりセミナー	静岡音楽館AOI	1名
7月20日～23日	社会福祉法人事務職員経理応用講座	グランシップ	1名
8月27日 9月10日～11日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダー研修会	三島市商工会議所	2名
9月4日	平成30年度採用担当職員研修	シズウエル	1名
9月5日～6日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程管理職員コース	シズウエル	1名
9月9日	子ども虐待対応・医学診断研修会①	あざれあ	2名
9月14日	予算管理基礎講座	静岡労政会館	2名
9月20日	平成30年度子どもの食物アレルギー研修会	富士健康福祉センター	3名
10月6日	児童福祉におけるスキルアップ研修会	レイアップ御幸ビル(静岡市)	2名
10月9日	富士圏域施設長連絡協議会 初任者研修会	ベルヴィコロボ(富士宮市)	3名
10月13日	静岡県栄養士会 災害支援研修会	富士いきいき病院	1名
10月19日	社会福祉施設における感染症予防講座	富士保健所主催:富士総合庁舎	1名
10月23日	社会福祉施設における感染症予防講座	富士保健所主催:富士総合庁舎	1名
10月29日	静岡県福祉施設士会合同研修会「子どもと遊び」	クーポール会館	3名
11月4日	子ども虐待対応・医学診断研修会②	もくせい会館	2名
11月9日	ノロウイルス衛生講習会(富士健康福祉センター主)	富士総合庁舎	1名
11月12日	富士圏域施設長連絡協議会 地域福祉講演会	ロゼシアター	3名
11月15日	福祉施設職員防災研修会	静岡県地震防災センター	1名
11月21日	小児アレルギー教室	静岡県立こども病院	3名
11月22日	火災の基礎知識	富士市消防庁舎	1名
11月30日	民間防火組織指導者消防学校体験入校	静岡県消防学校	2名
12月7日	企業と人材セミナー	沼津プラザヴェルデ	1名
12月13日	職場におけるハラスメント対策説明会	グランシップ	1名
12月17日	福祉人材定着確保のための研修会	フィランセ	1名
平成31年1月18日	安全運転講習会	静岡県東部総合庁舎(沼津市)	2名
2月19日～20日	決算実務講座	静岡労政会館	1名
3月1日	子どもがいる現場のリスクマネジメント講座	シズウエル	1名
3月12日	静岡県福祉施設士会合同研修会「働き方改革の理解」	クーポール会館	2名

(4)法人内研修会・園独自研修会等

(4)-① 法人研修会等 43名 (10回)

開催日	研修会名称・テーマ等	会場	参加人数
平成30年4月10日	新規採用職員研修会	みぎわ園地域交流室	5名
6月20日	食中毒研修会	みぎわ園地域交流室	6名
9月27日	中堅職員研修会	みぎわ園地域交流室	1名
10月25日	中堅職員研修会	みぎわ園地域交流室	3名
11月7日	安全衛生委員会 感染症伝達講習会	みぎわ園地域交流室	5名
11月13日	安全衛生委員会 感染症伝達講習会	みぎわ園地域交流室	5名
11月20日	安全衛生委員会 感染症伝達講習会	みぎわ園地域交流室	6名
12月19日	普通救急救命講習会	みぎわ園地域交流室	4名
平成31年1月21日	普通救急救命講習会	みぎわ園地域交流室	4名
2月7日	普通救急救命講習会	みぎわ園地域交流室	4名

(4)-② みどり園独自研修会等 104名 (34回)

開催日	研修名称	会場	参加人数
平成30年4月2日	新任職員研修「乳児院について」等	みどり園2階会議室	5名
8月30日	118人工呼吸器取扱講習	みどり園2階会議室	11名
9月1日	新任職員研修 防災対策・防災設備の取扱等	みどり園芝生園庭等	7名
9月21日	先駆的取組施設視察研修会	久良岐乳児院(横浜市)	6名
11月1日	新任職員研修 防災対策・設営、炊き出し等	みどり園芝生園庭等	7名
平成30年9月17日 ～平成31年3月6日	「急変時の対応・救急蘇生」 全12回開催 ※1回2名	みどり園 観察室等	24名
平成31年1月7日～ 3月17日	「嘔吐物処理の方法について」 全10回開催 13名参加	みどり園 観察室等	13名
平成31年1月7日～ 3月17日	「正しい手洗い」 全7回開催 31名参加(平成31年度採用職員3名を含)	みどり園 観察室等	31名

(5) 法人・施設内会議・委員会

法人会議:25回:施設内会議:36回・委員会:19回 合計80回

会議名	開催日 / 開催回数							備考
法人企画会	4月12日	5月16日	6月20日	7月18日	8月15日	9月19日	12回	法人会議
	10月23日	11月28日	12月19日	1月16日	2月14日	3月20日		※園長出席
安全衛生委員会	4月26日	5月24日	6月20日	7月26日	8月22日	9月27日	13回	法人会議
	10月26日	11月7日	11月13日	11月20日	1月24日	2月28日		※主任看護師
	3月28日							出席
代表者会議	4月20日	5月21日	6月21日	7月18日	8月16日	9月20日	12回	主任以上
	10月18日	11月22日	12月20日	1月24日	2月21日	3月22日		
月例会	4月23日	5月28日	6月25日	7月30日	8月28日	9月25日	12回	夜勤者以外
	10月29日	11月26日	12月25日	1月28日	2月25日	3月25日		原則全員参加
ケース会議	4月9日	5月7日	6月11日	7月9日	8月6日	9月12日	12回	直接処遇職員
	10月9日	11月12日	12月10日	1月7日	2月12日	3月1日		厨房職員
感染症対策委員会	4月16日	6月15日	8月10日	9月26日	1月25日	3月15日	6回	※委員を選任
防災委員会	4月11日	5月9日	7月11日	9月3日	11月1日	2月13日	6回	※委員を選任
第三者評価	6月18日	7月17日	10月15日	11月19日	12月3日	1月15日	7回	全体会5回+
自己評価委員会	2月18日							各委員入力作業
リスクマネジメント 委員会	4月20日	5月21日	6月21日	7月18日	8月16日	9月20日	12回	主任以上
	10月18日	11月22日	12月20日	1月24日	2月21日	3月22日		

資料 8 平成 30 年度 実習生受け入れ状況

(1) 単位取得実習 (6校 12名 延べ 138日)

学校名	人員	指定日数	実習期間	延日数
聖隷クリストファー大学	2名	12日	6月1日～6月13日	24日
浜松学院大学	2名	12日	8月3日～8月15日	24日
常葉大学富士キャンパス	2名	10日	8月17日～8月28日	20日
静岡福祉大学	2名	12日	9月2日～9月14日	24日
淑徳大学	2名	12日	9月16日～9月28日	24日
常葉短期大学	2名	11日	10月1日～10月12日	22日
合計	12名		※実習期間には休日1日を含む	138日

## (2) その他の実習及び育児指導

1. 家庭引き取り対応指導 年間延べ 64 件(外出・外泊対応等)
2. 里親委託養育指導等 年間延べ 35 件
3. 里親研修 0 件
4. 教員体験実習 0 件
5. 自主実習 (人数・延べ日数) 3 名 延べ 9 日

## 資料 9 ボランティア受け入れ実績

### (1) ボランティア受け入れ実績 総数 13名

1. 吉原第二中学校ボランティア 0 回 0 名
2. 大学生ボランティア 10 回 10 名
3. その他のボランティア 3 回 3 名  
(高校生・夏祭り応援等)

## 資料 10 家庭支援事業について

### (1) 入所・一時保護児の家庭復帰に対する支援

保護者や委託予定の里親に対して、適切な親子関係を構築できるよう面会、電話等で支援を行いました。また、措置機関である児童相談所(処遇の決定やこどもを受け入れる環境を整えるために親族や地域の調整を図る)、福祉事務所、保健センター等の関係機関と緊密に連携し、家庭復帰や、里親委託をすすめました。

### 個別に対応した件数 1,416 件

(内訳)

保護者・里親の面会等個別対応	:690 件
医療・療育機関と調整	: 26 件
他施設への移行準備、施設訪問等	:113 件
児童相談所・関係機関との調整	:587 件



## (2) 退所後の支援

退所後、家族や地域の中で孤立することなく健全な生活ができるよう関係機関と連絡や調整を図りました。

**個別に対応した件数 83 件**

(内訳)

保護者・里親の家庭訪問・電話相談・病院付添等 : 74 件

児童相談所等への連絡調整 : 9 件

## (3) 子育て短期支援事業(ショートステイ)について

富士市との委託契約により、保護者の一時的な疾病やその他の理由によって養育できない児童を一時的に預かる事業の実施計画を立てました。しかし、年度途中から暫定定員の空きがなく、依頼を受けても一時保護と重なってしまい、観察期間の関係で受け入れることができませんでした。

**連絡調整及び相談件数 9 件**

※ショートステイ受け入れ件数 富士市: 11 名 (乳幼児 9 名・幼児 1 名・母親 1 名)  
延日数: 68 日 (母親 1 名 7 日を含む)

## (4) 里親への対応 41 件

前年度から委託前の交流や外出・外泊を続けていましたが、対応の難しさから委託できずにいましたが、みどり園での宿泊実習などを通して関係が深まり委託することができました。

(内訳)

委託前引継ぎ・家庭訪問・相談 : 40 件

病院への引き継ぎ等 : 1 件

## (5) 電話による育児相談 15 件

赤ちゃん 110 番等、一般家庭からの電話による育児相談に対応しました。

(内訳) 育児に関する相談 : 5 件 (授乳・夜泣き等)

疾病に関する相談 : 6 件 (子どもの疾病を疑う相談等)

その他の相談 : 4 件 (一般からの入所相談等)

資料11 平成30年度 施設整備、改修・修繕工事等報告

施設整備等一覧

1. 固定資産計上取得物品等

①土地・建物等取得支出

建物取得支出

内 容	数量	設置及び使用場所(使用者等)	金額
保母室改修工事(荷物室)	1	2階オムツ等荷物室(職員)	1,404,000

②器具および備品等取得支出

器具および備品取得支出

内 容	数量	設置及び使用場所(使用者等)	金額
冷凍庫	1	厨房西側倉庫(厨房職員)	254,448
日除けオーニング	1	2階プレイルーム南側	648,000
太鼓橋	1	2階プレイルーム(こども)	183,600

2. 固定資産廃棄物品

機械及び装置 除却

内 容	数量	設置及び使用場所(使用者等)	期末帳簿額
防犯装置	1	玄関等出入口(入退出者)	1

### 3. 施設整備 取替・補修等工事 (1万円以上)

実施内容	金額
天井防カビ塗装工事(居室3部屋)	324,000
天井防カビ塗装工事(居室廊下・ナースプール)	216,000
2階ベランダ人工芝張替改修工事	540,000
昇降機2台制御盤交換工事	712,800
居室LED取替改修工事	220,320
ボイラー冷却ポンプ改修工事	19,440
厨房洗濯機移設工事	98,280
厨房洗濯機電源改修工事	30,240
厨房西冷凍庫電源改修工事	85,320
厨房西倉庫棚改修工事	928,800
厨房西ドア改修工事	30,240
厨房外トイレ換気扇改修工事	75,600
厨房リーラーコンセント・電源改修工事	81,410
母子生活室非常灯改修工事	18,360
チラー電源改修工事	35,214
プレイルームフロアマット背あて張替	35,640
2階プレイルーム非常照明バッテリー交換工事	43,740
裏玄関シューズロッカー改修工事	386,640
2階男子ロッカー工事	140,400
2階男子ロッカー電源改修工事	68,040
1階食堂コーナー改修工事	48,600
1階プレイルーム戸車改修工事	21,600
電解水システム修理	287,280
厨房リーラーコンセント設置工事	79,920
母子室非常灯改修工事	17,280
布団乾燥機修理	38,277
食事配膳車修理	16,962
寝室窓修理	23,328

#### 4. 物品購入 (1 万円以上)

購入物品	数量	設置及び使用場所(使用者等)	金額
エアコン基盤	4	居室(子ども・職員)	197,100
充電器エネロイド	1	事務所 (子どもおもちゃ等電池充電器)	14,803
電子魔法瓶	1	事務所(来客者・職員)	10,455
訓練用 水消火器	1	事務所(職員・訓練用)	14,580
ジアイーノ	2	観察室・診察室	136,010
薪割り機	1	倉庫(職員)	13,999
PC バッテリー	1	事務所ノートパソコン(園長)	16,200
ドライブレコーダー	2	公用車(子ども・職員・買い物支援事業等)	49,132

#### 資料 12施設運営改善等

##### (1) 苦情・要望受付

・処遇、運営に関する苦情・要望等 0 件

##### (2) 人事考課実施

人事考課を実施し、結果について職員への個別面接を実施し、平成 31 年度の職員の給与へ反映させました。

##### (3) 自己評価

平成 30 年度も隔月1回の開催を目標に、自己評価委員会を開催し、みどり園の現状を評価項目と照らし合わせた自己評価を実施し、平成 29 年度に作成した中長期計画との比較・修正を行い、改善に向けて新たな中長期計画を作成しました。

自己評価委員会: 全体会年5回実施(委員の打ち合せ等は4回※全体会と重複)

## 特別養護老人ホーム みぎわ園

### 事業概要報告

平成 30 年度は、3 年毎に行われる介護保険報酬改定年度の初年度であり、各介護保険事業の以後 3 年間で映し出す重要な年度でありました。



みぎわデイサービス（乗り鉄の旅）岳南鉄道

特養部門に於いては、入退居ともに昨年度より 5 名ほど（H29:22 名・H30:17 名）少ない中でも介護度の重度化を背景に内科的疾患での入院事情が多く、空床による稼働実績への影響が見られました。

在宅系サービスについては、ふようデイサービス（一般通所型）での年度後半の担当者の努力もあって利用者の増加が見られ、次年度以降事業展開の新たな方向への検討を進めるとしています。他の在宅サービス事業については、他の通所系事業所との競合の下、難しい中でも大きな支障もなく事業展開が図られてきました。

みぎわの里については、開設後 3 年経過する中で安定した事業展開が図られ、徐々に看護小規模多機能施設としてその役割の確保ができています。

このような事業状況にあって、直接介護部門事業の人材不足は深刻であります。特に若年層の介護人材が一般企業体へと流れ、景気動向の裏付けが結果として否めない現状であります。

このような中でも現介護職員の努力の甲斐もあって大過なく介護支援が進められ、特養に於いての看取り介護看護については、10 名の入居者への支援を行い、ご家族と共に看護介護、多職種がよく連携し、命の尊厳を肝に銘じて実践されていきました。ご葬儀の中では、多くのご家族からは「みぎわ園への感謝」のお言葉を多く戴き、その時々温かい心を頂いています。これらの介護支援については、大きく評価しています。

介護人材の不足解消に向けて外国人労働者（特定技能実習生）の受入についても、内容、要件、情報とよく精査しつつ継続した検討の必要性を感じています。一昨年からの地域共生社会へのアプローチについては、現実化した動きは見えていませんが、継続した検討を進めるとしています。

建物全般については、施設開設後 15 年を経過した下で耐用年数に伴う経年劣化等の問題で、各設備的なものが更新改修の時期を迎えています。浴室タイルの劣化、照明の省エネ化（LED 照明）への改修、特に空調機の緊急修繕等で奔走した年度でもありました。設備環境の更新改修整備は、短期での計画を組みながら進めて行く時期にある年度でありました。

### 実施報告 I

#### 1. 介護ケアのスキルアップと充実に向けての研修を進める。

- 1) 認定特定行為業務従事者（2 号研修認定者）の資格研修： 7 名を受講資格認定。

- 2) 認知症関連講習（認知症介護実践者研修）の受講：4名の受講資格認定。
- 3) 身体拘束、虐待防止に向けた介護技術の研修：2名の受講実施。
- 4) 介護福祉士実習指導認定者の養成：2名の認定指導者。

2. **通所介護の今後の方向性を早急に確立し、ADL 評価等の見える化を進める。**  
通所サービスでの実施に向けた内容の研修、具体的プログラムを作成中である。
3. **介護職の健康管理と腰痛防止に向けた具体的な対策を検討する。**  
福祉機器等を併用した検討など、継続した対策を検討中である。
4. **介護ロボット、ICT を活用した介護利用、希望者への情報の提供を進める。**  
特に浴室内の特殊浴槽、タブレット等の検討を継続して研究中である。
5. **介護現場における自己評価、自己診断を実施する。**  
虐待防止に向けた自己点検チェックを H30 年 10 月期に実施・・・資料-1 添付  
実施人数：110 名  
理解率：介護スタッフ平均 85.7% 役付管理職員 86.0%であった。  
法人人事考課の内容を一新し 12～1 月にかけて実施。
6. **外国人介護労働者派遣の受け入れ態勢の検証を進める。**  
継続した検討を進める。

## 実施報告 II

1. **開設 15 年目を迎える設備保全に向けた機器更新計画を進める。**
  - 1) 空調設備更新工事 5 ヶ年計画の策定について、提案を受け検討の下 2019 年度をスタートとして 4 年計画の下で進めるとした。
  - 2) 外壁補修計画と実施については、保留事項として継続した検討を進めるとした。
  - 3) 館内防火非常灯の更新の実施については、バッテリーの交換を実施。  

修繕費（29 台の交換）	294,000 円
--------------	-----------
2. **全館 LED 照明への変更し器具交換と天井の補修を実施。**

器具備品費資産計上	7,132,800 円
天井補修修繕費	540,000 円
3. **非常用発電機装置の導入については、継続検討である。**

※ H30 年度末、国の非常用設備補助金の申請し、現在認可待ちでの継続中である。

4. 身障者用送迎車両（軽車両）の配備。

スズキエブリ福祉車両配備 車両費資産計上 1,500,000 円

5. 吉原西部包括支援センター事務所内を業務内容の煩雑さと職員増等解消のため改修を実施。

修繕費 1,130,000 円

6. みぎわ園内浴室タイルの劣化による張替えを実施。

サーモタイル仕様へと変更 修繕費 1,597,000 円

7. 空調機の緊急修繕（夏季・冬季）が必要となり実施

エアコン修繕費総額 644,000 円

8. エレベーター・ダムウエダーの経年劣化による部品交換修繕を実施

修繕費 547,500 円

9. 介護保険報酬改定による処遇改善加算率の変更による改善手当の変更を実施

6月期より直接介護職員に1,000円プラスと職種による加算を整合させての支給を実施。 処遇改善手当前年比 111.9%の増

10. ふようデイサービス・ひまわり園共有の給湯ボイラー、内部配管と都市ガス仕様での更新整備工事を実施

器具備品資産計上（折半費用） 1,458,000 円



包括支援センター事務所改修



ふようデイ浴室改修 2層浴槽



福祉用軽車両：スズキエブリ



ユニット内 LED 照明改修



ふようデイ給湯ボイラー改修



ユニット浴室床の改修

## 部 門： 介護管理部門

特養入所時における要介護度が高くなり、医療ニーズの多い様々な既往歴を持って入居される方々に対し、疾病に関する知識の習得、理解を深めながら、各医療機関担当者、看護、介護が連携を取り対応しました。H29年度に比べ入退所が5名減り、比較的落ち着いた生活が送れたと考えています。介護人材不足、人手不足の改善ができませんでしたが、看護職、一般事務職、相談員等他職種の協力を得て、生活の質とケアの向上を図りました。

## 実施報告

### 1. 日常における入居者の有する能力に応じた生活動作やレクリエーション等を通じて行う機能訓練等の充実を図ります。

入居者個々ができる日常生活動作を行ってもらう事により、少しでも身体機能低下が防止できるよう図りました。次年度も継続実施していきます。

### 2. その人らしい最期を迎えられるよう、介護・看護及び医師等その他関係する多職種と連携を図り、心を尽くした「看取り介護」を実施します。

今年度は16名が退所され、その内10名に対し「看取り介護」を提供しました。施設として行える最善の介護を提供し、お別れの際にはご家族からお礼の言葉を頂きました。

### 3. 「喀痰吸引等第2号研修」「認知症介護実践者研修」等や外部研修機関が主催する各種研修に参加し、資格取得及び職員のスキルアップ充実を図ります。

今年度は喀痰吸引7名、認知症実践者4名が資格取得を完了、他職員についても外部研修に参加し各々スキルアップが図れました。10月には「第35回国際福祉機器展」視察研修へ17名が参加し、見聞を広めることが出来ました。

### 4. プリセプターシップ（新人教育）担当者が定義・取組の理解を重ね、質の向上を図り、教育計画の基づいた養成の充実に努めます。

「新人担当連絡会」を通じて年間教育計画の作成、入居者体験等業務に則した内容での指導、振返りや面談等の評価により、人材育成を図りました。

### 5. 入居者情報の収集と提供を的確に行い、多職種と共有、連携を図り入居者と家族に安心安全を提供し、その人らしい生活が送れるように支援します。

今年度は17名が入居されました。多職種が連携し情報交換と共有を図り、少しでも早い時期に落ち着いた生活が送れるよう支援しました。



## 6. 入退所や入院に伴う空床期間の短縮化に努め平均稼働率 99.5%を目指します。

今年度は平均稼働率 99.0%/月。未請求日数は 305 日。医療ニーズの高い入居者が多いこともあり 20 名が入院され入院日数は 214 日と昨年度より 70 日程増えています。ただ入退所数が減った影響で、待機日数 91 日（前年 163 日）と入退所における空床期間の短縮は図れました。



クリスマス会：ポップサーカスボランティア



鈴木千代様：富士市より百歳の誕生祝い

## 部 門： 看護管理

### 実施報告

#### 1. 医師や他職種との連携を図り、共に入居者の状態把握に努めより良いケアに繋げられるよう支援します。

多職種間で情報を共有し、連携を図ることで早期に入居者の状態変化に気づき、必要なケアが提供できるよう努めました。

#### 2. 日頃から家族との関わりを大切にし、報告、連絡、相談を密にしなが、入居者の生活をサポートしていきます。

日頃からご家族とのコミュニケーションを大切にし、状態の変化がみられた時にはこまめに報告、連絡、相談することで信頼関係を築くことが出来ました。

#### 3. 看取り介護においては、可能な限り入居者の意思を尊重し、都度ご家族への説明をすることで不安の軽減を図り、その人らしい終焉が迎えられよう努めます。

日々の生活の中から可能な限り入居者の思いをくみ取り、ご家族へのこまめな説明と意向の確認を行いながら、穏やかにその人らしい終焉が迎えられよう、状態に応じた看護を心がけました。

#### 4. 感染防止は職員の重要な役割で義務と捉え、一丸となり随時伝達講習会等を開催し感染対策の周知徹底を図ります。

インフルエンザについては、1 月に職員 10 名が順に家族間の感染で罹患しましたが、施設内での滅菌薬セラ（二酸化塩素水ミスト）使用、毎日の健康チェック、マスク手洗いの励行、面会制限、希望する職員への予防薬投与などの対策を行い、入

居者感染は1名に留めることが出来ました。今後も定期の感染対策伝達講習と即時の対策会議を開くなどで感染対策の周知徹底を図り、感染防止、管理に努めます。

**5. 専門職としての知識、技術を深め、ご家族、多職種との連携を図りながら入居者に寄り添った看護を行います。**

研修で得た知識を課内で共有し、入居者へのケアに生かすよう努め日頃からご家族多職種との連携の下、入居者一人ひとりに寄り添ったケアが行えるよう心がけました。

**部 門： 栄養管理**

ご利用者の健康状態把握については、情報不足による対応の遅れがありました。ミールラウンドだけでなくご利用者の状態観察をするために、ユニットや事業所を訪問し、介護、看護等の職員と情報交換を行い喫食者のニーズに応じて行きます。

**実施報告**

**1. 健康維持を考慮し、バランスの摂れた季節感のある献立作成と温かい物は温かく、冷たい物は冷たく提供します。**

温冷配膳車の老朽化に伴う温冷不備を修理し、整備した温冷食の提供ができました。

**2. ご利用者と一緒に調理が行う「家庭の温もり」を感じて頂けるような行事等を企画し、多職種の協力を得て楽しく料理ができる機会を作ります。**

デイサービス利用者とは一緒に調理を行い充実した行事を提供できました。来年度は、特養においても楽しめるような企画立案をしていきます。

**3. 厨房内の連携を深め食事形態や内容の変更等、情報提供を正確に行い迅速な対応を図ります。**

厨房内の連携に関しては「報・連・相」がうまく機能せず現場に迷惑を掛けてしまうことがありました。確実に伝達を行えるよう口頭や書面を以って徹底します。

**4. 厨房内の衛生管理を徹底し、安全な食事を提供します。**

異物混入が目立つ時期もありましたが、厨房職員全員で衛生管理に対する意識を高め、この予防対策に努めました。

**部 門： 1F南ユニット（地域密着型小規模特養）**

外出やおやつ作りなどを行い、入居者様に楽しんで頂ける時間作り、日々生活の中に毎日2回体操を行い、身体を動かし、レクリエーションなどを行ってきました。また入居者様に合わせた脳トレにも取り組んで頂くことが出来ました。

地域密着型小規模特養として地域のサロンにも参加し、地域の方と関わる事が出来

今後も継続して行きたいと思います。

ホームページの掲載や新聞作成を行い日々の様子や行事の時の入居者様の様子を知って戴く場を作ることが出来ました。

## 実施報告

### 1. 報告・連絡・相談を徹底し、ご家族との信頼関係を築き多職種で協力し合い支えます。

医務や相談員と連携、家族との関係性を築くことが出来、継続して行きたい。

### 2. ご家族も巻き込み、関わりを続けて頂けるように工夫します。

外出行事には、ご家族を伴い外出をすることも出来、ご家族と会話を多くすることで入居者様のこれまでの生活など情報を聞き出すことも出来ました。

### 3. お家での暮らしの場を作りの中、のびのび生活できるよう環境整備に力を入れます。

自宅に近いとした環境整備を行う事は、未完成でしたが次年度に向け、再度工夫し個々の生活の場づくりを検討して行きます。

### 4. 入居者個々のニーズを引出し、個別レク、全体レクに工夫しながら、一人ひとりへの思いを以て、「ここにいる自分」を見出すケアを行います。

個々のレベルに合わせたレクリエーションを考え、塗り絵や計算問題等一人ひとりに合わせたものを行って行く事は以前より出来ているが、レクリエーション等出来ない方への対応がまだ出来ていないため来年度は意思表示が出来ない方にどんなことが出来るのか考えていきたい。



11月中央公園バラ鑑賞



富士市福祉展の見学会

## 部 門： 1F北ユニット（するが・さがみ）

個々の入居者様に対し、介助方法は勿論、食事用具、寝具(クッション等)や、ポジショニング、シーティング等、職員で話し合いを重ねて個別の対応やケアを行えるようになってきましたが、未だその評価や見直しには課題が残り、一部の入居者様に

は問題点を残しています。医療的介護ケースでは医務との日々話し合いを以て、個々の生活に合った薬の調整など、生活のリズム確認しつつ合わせ生活をして頂けたと思います。

## 実施報告

### 1. 一人ひとりへの理解に沿ったケアプランによる個別ケアを提供しつつ、定期的にはケアの見直しを図ります。

各入居者様との日常生活の中で、その方の情報を知りケアへと結び付け状況に応じてケアの見直しを行ってきました。

### 2. 介護事故の検証だけでなく、ヒヤリハットの検討を優先して対応、対策の検討を図ります。

ヒヤリハットの様式が変わったことから、対応と対策を検討もし易くなったが、似たような事案が続く中で、内容によって介護方法にも課題があることが分かりました。事故検証について、対策を練るに検証時間の足りないと感じた中、対応できたものとそうでないものがあり、今後もしっかりと話し合っていきます。

### 3. 職員が自身の強み、弱みを知り、教え合い、学び合っていきます。

それぞれの視点で感じた事ケアの手法など、1年を通して意見も出始め、教え合える雰囲気は出来てきたが、職員全員で統一した見直しを行うとした課題も出てきました。

### 4. 新しい入浴設備の技術を習得し、気持ちの良い入浴を提供します。

操作方法を熟知する事で個々への入浴介助方法にも変化が表れ、安全に入浴していただくことが出来ました。



節分：豆まき風景



鈴木ちよ様百歳のお祝い(総理大臣・県知事表彰)  
仲良し3人の息子さんと共に

## 部 門： 2Fユニット (くすのき・もくせい)

この1年を通して、常に思いやりの心を持ち接する事ができていたと思います。

今後についても「隣人愛」の心を大切に、相手を思いやる介護に努めていきたい。

#### 実施報告

1. 目標である「報告・連絡・相談」については、細かな所の報告連絡ができていない事があったので、今一度、伝達方法を見直し徹底していきたくと思っています。
2. 「情報共有」については、ご家族とより深く話すこともでき、細かな部分での情報交換や、情報の共有はできていたと思います。
3. 「笑顔あふれる環境の提供」については、朝のあいさつから始まり、職員、入居者共に笑顔で過ごせる時間が多くみられたと思います。また一人ひとりにあった生活環境の提供に力を入れてきました。ただ時代の流れと共に変化する様々を感知しながら尚一層の介護努力をしていきます。今後も、一緒に楽しく、たくさんの笑顔であふれるよう努めていきたくと思っています。



外出レク（富士川楽座）昼食メニュー



本日の昼食（これだけ食べられます）

於：富士川楽座）



ユニット耕作地 と 夏野菜の収穫物

#### 部 門：3階ユニット（あまぎ・あしたか）

入居者様とささやかなコミュニケーションを取っていく中で、個々の入居者様の細かな情報を知ることができ、その人らしさを大切にすることができました。言葉遣いにも気を配りながら、近くで寄り添った介護をしていけるよう支援しました。

## 実施報告

### 1. 職員間、家族間での報告、連絡、相談を徹底します。

忘れてしまうこともあったので職員、家族と多くコミュニケーションを取る中で、常に課題として意識して取り組んでいけるようにします。

### 2. 日々の声掛けで、入居者の思いを引き出していきます。

声掛けはできて来ていますが、今後は、より入居者様を観て行く中でその人にその場に合わせた声掛けをし、それぞれの思いを引き出せるようにして行きます。

### 3. 多職種と連携し、入居者様一人ひとりに合ったケアを見つけ実施します。

入居者様一人ひとりに合ったケアをしていくには、まだ多職種との連携が足りないところもありました。「ほう・れん・そう」を行いながら、よりその人に合ったケアを探って行けるように入居者様と向き合っていきます。

### 4. 入居者様が安心して楽しみながら暮らせる生活の場を提供します。

行事やレクリエーション、日々の会話を通して楽しんで頂くことはできていると思います。言葉遣いや環境整備にも気をつけ、安心した場所にしていけるようにしていきます。



伊藤ナカ様 104歳の誕生日会



駄菓子屋パーティでのツーショット

## 部門： ショートステイみぎわ園

ご家族や居宅ケアマネジャーとの連携を密にして信頼関係を深め、ご利用者の視点に立って「もう一つの我が家ショートステイ」を目標にご利用者の意思を尊重しながら穏やかに過ごせる環境を提供してきました。

## 実施報告

### 1. 報告・連絡・相談の徹底を図り、看護課と連携をとりながら個々の体調管理に努め安全で安心して過ごして頂くケアに努めます。

インフルエンザ流行期について、医務課と連携し感染の流行を未然に防ぐことが出来ました。今後も感染防止に努めます。

**2. 看護と協働して「誤薬0」を目指します。**

職員が共に声をかけあい、配薬ミスの防止に努めました。食前の投薬忘れが目立ち今後の課題となります。誤薬を防ぐシステムを作り事故防止に努めます。

**3. ご家族、居宅ケアマネージャ、ケアに携わる職員間で、情報を共有し統一した個別ケアの向上に努めます。**

ご家族や居宅ケアマネと情報の共有出来ました。加えて個人日誌の書式を変更しより多くの情報を職員間で共有出来るように努めました。

**4. ご利用者楽しんで頂けるレクリエーションや行事の充実を図ります。**

日常レクに加え、毎月の壁画作りをご利用者と一緒に行いました。また念願だった独自の夏祭りを開催することが出来、ご利用者、職員共に楽しむことが出来ました。

**5. 常にご利用者・ご家族に対して気持ちの良い挨拶をします。**

職員一同明るく気持ちの良い挨拶を心がけていました。今後も継続します。

**6. 1日平均18.6名、月間平均稼働率93%を目指します。**

稼働目標は達成出来ませんでした。土日祝利用を希望される方が多く平日定期利用者の獲得が今後の課題です。

**7. 職員には自己の健康管理に配慮し、健全なケアが提供できるように努めます。**

年明けから体調不良が多くあり、勤務体制や業務内容での見直しが必要と感じました。働きやすい、意見の言い易い雰囲気作りを心がけメンタル面にも配慮します。



石川サキ様（106歳 富士市最高齢者のお祝い）  
小長井市長の表敬訪問：元気なおばあちゃんです。



部門：デイサービスセンター みぎわ園＝認知症対応型通所介護  
実施報告

1. 一日平均利用人数8.6名、月間平均稼働率71.5%を目指します。

一日平均利用者数6.8名、月間平均稼働率57.1%と目標には届きませんでした。新規利用者の獲得が一般通所介護施設との競合もあり、思うように得られなかったことが考えられます。

2. 居宅介護支援事業所への実績配布等により「報告・連絡・相談」を密に行い、顔の見える信頼関係を築くと共に、他居宅介護支援事業所に対し定期的な営業活動を行い情報の収集や交換をし、ご利用者獲得を図ります。

実績配布時の訪問の他、ご利用者の変化について電話報告やファックス送付を行いました。居宅事業所への訪問回数を増やし、各ケアマネジャーにみぎわデイを知って戴くPRを重ね、新規利用者獲得を図っていきたいと思います。

3. 一人ひとりの認知症状や性格及び生活歴を理解し、ご利用者の尊厳を支え、心の声や秘めた想いを聴き、質の高い個別ケアの充実を図ります。

フェイスシートを確認し、一人ひとりの認知症状や、生活歴を理解し、ご利用者の発した一言を逃さないよう関わりを持つことにより質の高い個別ケアの充実を図るよう努めました。

4. 定期的なケア会議や適確な申し送りを徹底して職員間の情報共有を図り、常にリスクを考慮し状況の予測を図りながら、より安全なケアを提供します。

月1回のデイ会議では、ご利用者の対応など話し合い職員間の情報共有に努めてきました。リスクに関しては、状況判断を的確に行い、安心、安全なデイを目指し、取り組んできました。

5. 研修等積極的に参加し、多様化する認知症に関する知識・技術の習得に努めます。

職員一人ひとり日々勉強の精神で、レベルアップを目指し、認知症の知識、技術習得に努めてきました。



お花見 於：厚原スポーツ公園



岳南電車：乗り鉄の皆さん



みぎわデイ：秋祭り



## 部 門：ふようデイサービスセンター

市内での通所介護事業所が競合する中であって、専門性や独創性など求められるための努力と差別化を図るため、オリジナリティのあるサービス提供ができるよう環境整備に努めました。「welcome ふようデイ」を合言葉に、年度半ばより徐々に利用数も増えてきました。次年度に向け新しいデイサービスへのチャレンジを試みて、対応できるようにその研鑽に励みます。

### 実施報告

#### 1. 一日平均利用人数 21 人、月間稼働率 84%を目指します。

8月より稼働が上がり、他事業所の新規利用者が増えました。年間 91%の稼働で推移し現場スタッフの努力の賜物だと思います。

#### 2. 食事後のリラクゼーション等の手短な環境を整備してゆったり過ごせる施設内の充実を図ります。

ベッド数を増やした事により、希望者に食後横になれるように配慮し、また静養出来る場所への模様替えの配慮も行いました。

#### 3. ご利用者やご家族の状況に合わせて対応できる送迎マニュアルを作成します。

ご家族の状況に合わせて送迎を行うことをモットーに取り組んできました。今後ともご家族の意見を聞きながら送迎表を作っていきたいと思えます。

#### 4. 利用者満足度の調査（アンケートなど）を行い、ニーズに合ったレクリエーションや季節行事を企画提供します。

様々なレクリエーションや季節行事を取組んできた中、今年度はボランティアの方を多く招いての活動など、書道教室も月 4 回の実施で行なっています。

#### 5. 「温かい物は温かく。冷たい物は冷たく。」とした食事の提供ができるよう配膳方法や盛り付け方等の改良に努めます。

栄養士の協力の下、食事の盛付けなど温冷に配慮した美味しい食事の提供が出来ました。他に月 1 回のホットプレートの調理とか、寿司バイキング、スイート献立などご利用者参加型でのお楽しみ献立を取り入れ、大変好評でした。

#### 6. 次世代型サービスへの把握し、先駆的なデイサービスであるようスキル習得等研修会等へ参加し自己研鑽に努めます。

まだ勉強不足ではありますが、色々と研修に参加し、その伝達に努め職員それぞれがスキルアップできるように今後も努めていきます。



夏まつり：屋台での楽しみ風景



舞踊ボランティアの鑑賞



書道教室生徒の方々作品集

## 部 門：看護小規模多機能型施設 みぎわの里

ご利用者の思いに寄り添い、日々のレクリエーションや季節の行事・外出ではたくさん笑顔に出会うことができました。また体調の変化には早期の対応を心掛け、ご利用者・ご家族に様々なアドバイスできるように努めました。訪問介護では状況判断の中で柔軟な対応ができるようになってきました。

### 実施報告

#### 1. 季節の行事・環境の充実を図ります。

季節を感じる行事や外出、季節感のある環境づくりを図り、喜びを感じて頂くことが出来ました。

#### 2. 地域活動へ参加し、住民との交流を図ります。

源太坂地域防災訓練の参加やみぎわの里で「味噌作り」「感染予防のお話」を開催することが出来ました。

#### 3. 登録人数 25名、泊り利用稼働率 60%以上を目指します。

登録人数 24～25 名、泊り利用稼働率 69.1%、目標達成することが出来ました。



広見公園にてお花見会



富士市福祉展  
インスタボードを背景に



クリスマス会マジックショー

## 部 門： 心よう居宅支援事業所

今年度も4名体制でケアマネジメント業務を行い公平適正な事業運営が行えました。今年度はプラン数120件（一人平均30件：予防を含む）でスタートし、入院や施設入所などによる保留や支援終了となる件数を上回るよう新規獲得に励み129件（平均32件）と微増はありましたが、目標件数へと励んだ1年でした。

### 実施報告

#### 1. 平均担当件数34件を目指します。

平成30年度末で平均担当件数32件（予防を含む）と担当件数に関しては目標件数を達成出来ませんでした。次年度も引き続きプラン件数増を目指していきます。

#### 2. 法人内事業所間との連携調整を行い稼働率の向上を目指します。

十分とは言えませんが各事業所との情報交換はできました。引き続き稼働率向上を図れるよう、デイサービスやショートステイとの情報交換や意見交換を行います。

#### 3. 研修等における自己研鑽について

定期的な事業所内研修や吉原西部包括支援センター主催による勉強会、事例検討会、医療連携に関する研修には積極的に参加し、自己研鑽に努めました。

令和3年度より、居宅介護支援事業所の管理者要件が主任介護支援専門員に限定されることから、令和1年度は主任介護支援専門員研修を1名受講します。今後、特定事業所加算の算定に向けケアマネ各々のスキルアップを図っていきます。

## 部 門： 富士市吉原西部地域包括支援センター

今年度は、「センター内での情報共有の為、報・連・相の徹底を行う」をテーマとし、センター内の連携強化を念頭にケース会議を各週で行い、活動しました。

2月には、富士介護サービス研究集会にて日頃の活動の中から「家族」をテーマに発表することが出来、この事によりケースの共有や職員のスキルアップも図れる結果となりました。また、Run伴（認知症の啓発イベント）にも参加し、地域住民に対して認知症を少しでも理解して頂く活動をしました。

### 主要活動内容

- (1) 総合相談事業について、生活保護世帯や障がい等の様々な相談に対応致しました。相談件数としては696件と昨年に比べ34件増の相談に対応しました。
- (2) 介護予防ケアマネジメント事業について、直営、委託合わせ4,696件、昨年度に比べ306件増のケースに対して対応しました。

- (3) 権利擁護事業について、虐待ケース等に対して早期対応に徹底し解決に向け取り組みました。権利擁護相談(成年後見・消費者被害含)として6件。虐待相談として7件の相談に対応しました。
- (4) 包括的継続的ケアマネジメント事業について、地域の居宅介護支援事業所ケアマネジャーに対して後方支援(アドバイスを含む)活動を140件対応しました。
- (5) 認知症サポーター養成講座について、年間7回開催し、計201名のサポーター養成を行いました。また、エリア内のキャラバンメイトの方々と交流会を継続的にを行い、ネットワーク推進に努めました。
- (6) 個別の問題に対しての地域ケア会議を5件行いました。また、地域課題についての地域ケア会議を6回開催致しました。エリア内の居宅介護支援事業所及び、施設ケアマネジャーを対象に、質の向上を目的とし、スキルアップ研修会を継続的に開催しました。



\*富士介護研究集会の様子\*



\*サロでの支援の様子\*



\*介護予防教室の様子\*



\*エリア内CM研修の様子\*



\*RUN伴ゴールの様子\*

添付資料 1：介護予防給付実績状況（平成30年度 介護予防給付ケース表）

直 営 件 数	1, 1 6 1 件
直営（内 総合事業件数）	（ 9 1 0 件 ）
委 託 件 数	3, 5 3 5 件
委託（内 総合事業件数）	（ 1, 5 3 5 件 ）
件 数 合 計	4, 6 9 6 件

添付資料 2：介護予防・生活支援サービス事業実施状況

事業名	教室名	回 数	参加者総数
介護予防・生活支援サービス事業	脳の健康教室（1教室10回）	1回	96名
	介護予防教室（1教室3回）	5回	199名
	脳いきいき教室	3回	96名

資料一1

実施日：H30年10月 平成30年度 自己点検シート

(介護スタッフ) 虐待防止自己点検チェックシート

氏名

NO	評価内容項目	評価	
1	高齢者虐待に5つの虐待の種類がある。 ( )虐待・( )虐待・( )虐待 ( )虐待・( )虐待	はい	いいえ
2	虐待は違法行為であり、許されないことである。	はい	いいえ
3	崇高な理念を持つと施設虐待はおこらない。	はい	いいえ
4	虐待は基本的人権の侵害である。	はい	いいえ
5	虐待を発見したら通報義務等、通報先を知っている。	はい	いいえ
6	虐待の事実確認をしなくても、強く疑われる場合は通報すべきである。	はい	いいえ
7	安全のために行う身体拘束は虐待にあたらない。	はい	いいえ
8	向精神薬など強く精神作用を抑える事は、身体的虐待にあたる。	はい	いいえ
9	利用者に必要なケアを行わないのは、放任であり虐待である。	はい	いいえ
10	言葉の暴力は心理的虐待である。	はい	いいえ
11	陰部を不必要に露出させたり、卑劣なことをいうのは性的虐待である。	はい	いいえ
12	利用者の金銭が適正に行われていないのは経済的虐待である。	はい	いいえ
13	介護に関する知識や技術、経験が未熟だと虐待に繋がりがやすい。	はい	いいえ
14	虐待防止についての施設としての取組がある。	はい	いいえ
15	ケアの質の向上に向けた施設としての取組がある。	はい	いいえ
16	施設内外の研修に参加している。	はい	いいえ
17	職員の働きやすさに関する改善に向けた施設としての取組がある。	はい	いいえ
18	自分や他職員の介護の仕方に疑問を感じる事がる。	はい	いいえ
19	自分が働く施設では虐待はないと思う。	はい	いいえ
20	虐待までとはいかないが、不適切なケアがあると思う。	はい	いいえ
21	感じた疑問を同僚や上司と話し合える状況がある。	はい	いいえ
22	不適切だと判っていても、せざるを得ない状況がある。	はい	いいえ
23	利用者の行動を強制的に制止しなければならない場合がある。	はい	いいえ
24	ナースコールが頻繁な場合に、ナースコールを抜いたり、止めたりする事がある。	はい	いいえ
25	他の職員が見ていない状況だと、利用者への対応がそんざいになる事がある。	はい	いいえ
26	粉薬をご飯に混ぜる事がある。	はい	いいえ
27	子供に対してするような対応や言葉かけがある。	はい	いいえ
28	声をかけずにスポンを下ろしたりシャワーを掛けたりすることがある。	はい	いいえ
29	性的な冗談や身体について話題にすることがある。	はい	いいえ
30	他者に見える状態で排泄や入浴の介助をする事がある。	はい	いいえ

実施日：H30年10月 平成30年度 自己点検シート

氏名

(役付・管理職員) 虐待防止自己点検チェックシート

NO	評価内容項目	評価	
		はい	いいえ
1	高齢者虐待に5つの虐待の種類がある。 ( )虐待・( )虐待・( )虐待 ( )虐待・( )虐待	はい	いいえ
2	虐待は違法行為であり、許されないことである。	はい	いいえ
3	崇高な理念を持つと施設虐待はおこらない。	はい	いいえ
4	虐待は基本的人権の侵害である。	はい	いいえ
5	虐待を発見したら通報義務等、通報先を知っている。	はい	いいえ
6	虐待の事実確認をしなくても、強く疑われる場合は通報すべきである。	はい	いいえ
7	虐待が確認された場合、責任者、管理職員として取るべき方策を知っている。	はい	いいえ
8	安全のために行う身体拘束は虐待にあたらぬ。	はい	いいえ
9	職員の教育がしっかりとしていれば虐待はおこらない。	はい	いいえ
10	自分が監督、管理する部署では高齢者虐待が起こるはずがない。	はい	いいえ
11	虐待防止についての施設としての取組がある。	はい	いいえ
12	利用者の金銭が適正に行われていないのは経済的虐待である。	はい	いいえ
13	不適切だと判っていても、せざるを得ない状況がある。	はい	いいえ
14	部下に対するパワーハラスメントは存在しない。	はい	いいえ
15	虐待防止に関する研修会に参加したことがある。	はい	いいえ
16	介護に関する技術や経験が未熟だと利用者への虐待に繋がりやすい。	はい	いいえ
17	夜勤帯の業務の内容を具体的に知っている。	はい	いいえ
18	ストレスや疲労の蓄積は、虐待に繋がる可能性がある。	はい	いいえ
19	職員の労働条件と施設内虐待は関係ない。	はい	いいえ
20	利用者、家族からの苦情を解決するための体制が整備されている。	はい	いいえ
21	職員同士のコミュニケーションはとれている。	はい	いいえ
22	ケアについて感じた疑問を同僚や上司と話し合える職場環境である。	はい	いいえ
23	忙しい時間帯程、監督・管理者として職場状況を把握している	はい	いいえ
24	虐待に至らないまでも、不適切なケアがあると思う。	はい	いいえ
25	本人の食事を待たずに食事膳をさげることは、忙しいときは仕方がない。	はい	いいえ
26	粉薬を飲まない高齢者には、ご飯に混ぜて飲ませるべきだ。	はい	いいえ
27	性的な冗談や身体について話題にすることがある。	はい	いいえ
28	目ヤニが固まっている、爪が伸びている、髭が伸びているなどケアの質が保たれていないのは仕方がない。	はい	いいえ
29	高齢者が職員を呼んでいるのにすぐにいけないことが何度もあった。	はい	いいえ
30	仕事の効率上、オムツ交換を時間で行うのはやむを得ない。	はい	いいえ

## 介護保険事業所関係資料

### 資料2 H30年度 面会者数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
面会者	483	509	529	493	569	586	536	514	611	579	427	567	6,403

### 資料3 各事業所利用者平均年齢及び平均介護度 (H31年3月末現在)

		特養	ショートステイ	みぎわデイ	ふようデイ	みぎわの里	ふよう居宅
年齢	男	81.7	83.5	87.6	85.9	78.6	83.8
	女	88.2	87.9	79.3	86.9	84.6	82.1
	平均	86.8歳	86.6歳	82.5歳	86.6歳	82.2歳	84.6歳
介護度	男	3.78	2.76	2.60	2.20	2.30	1.56
	女	3.95	2.59	2.75	1.89	3.00	1.52
	平均	3.91	2.64	2.69	1.98	2.72	1.58

### 資料4 特養平均入居期間 (H31年3月末現在)

男性：28.1ヶ月 (2.4年)	女性：49.0ヶ月 (4.0年)	平均：44.3ヶ月 (3.7年)
------------------	------------------	------------------

### 資料5 H30年度 特養入退居者件数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居	1	4	0	0	2	2	2	1	2	1	1	1	17
退居	0	4	0	0	4	0	2	1	3	0	1	1	16

### 資料6 年度別特養入退居者及び入院者数

(単位：名)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
入居	23	18	16	14	22	17
退居	23	18	16	15	22	16
入院	21	18	15	6	13	20



資料7 外来受診一覧表

受診医療機関	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
青葉クリニック	15	17	13	16	18	13	10	14	13	13	9	18	169
富士中央病院 内科	1		2	1	2		1		1		1		9
整形外科						3	2	2	2	1		1	11
泌尿器科			2	1	1		1	1	3	3	3	2	17
救急外来	3				2		1		1				7
外科				1	4	1	1			1			8
皮膚科	1	2	7	3	2	3	2		1		1		23
婦人科	2		1										3
聖隷富士病院	1			1									2
救急医療センター	1					1						2	4
上田クリニック				1			1			1			3
かみで耳鼻科		2											2
鷹岡病院	1												1
蒲原病院		1			2								3
池辺クリニック	2	3	3	3	3	4	3	4	3	3	2	2	35
横割皮膚科	6	6	2	3	3	3	4	2	3	3	2	5	41
前田整形外科					2	4	3	3	1	1	3	4	21
片岡歯科医院			1							2		1	4
富士宮市立病院										1			1
富士脳研病院			1								1	3	5
受診合計	33	31	32	30	39	33	27	27	28	28	22	38	368

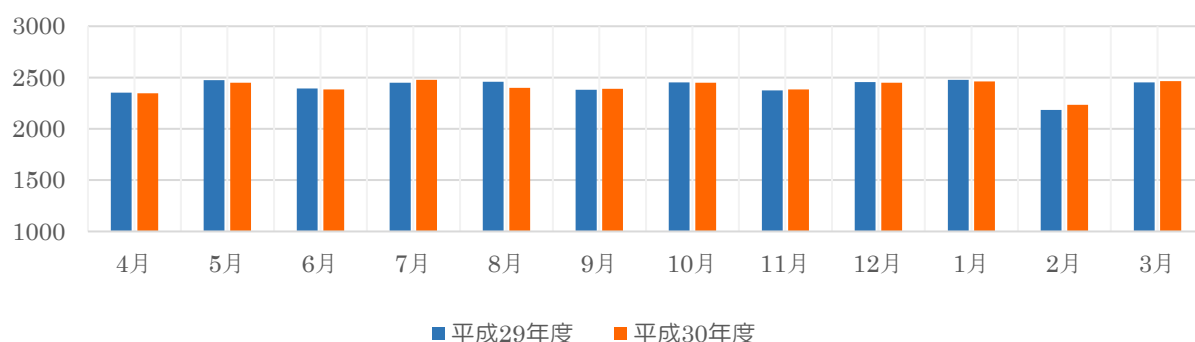
資料 8 各事業所稼働率 対前年度比表

1. 特別養護老人ホーム みぎわ園

(入居延日数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29年度	2352	2475	2392	2448	2459	2380	2452	2374	2456	2478	2185	2454	28905
H30年度	2345	2450	2383	2479	2399	2391	2450	2385	2451	2461	2235	2466	28895
30-29	-7	-25	-9	31	-60	11	-2	11	-5	-17	50	12	-10
稼働率	97.7%	98.8%	99.3%	100.0%	96.7%	99.6%	98.8%	99.4%	98.8%	99.2%	99.8%	99.4%	99.0%

特養稼働実績 (対前年度比)

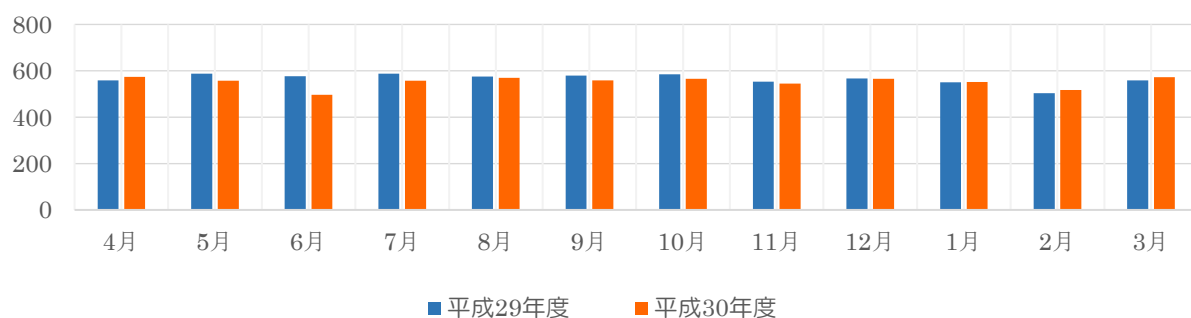


2. ショートステイみぎわ園

(利用延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29年度	559	588	576	588	575	580	585	553	567	550	503	559	6783
H30年度	574	558	497	558	570	559	565	545	566	552	517	573	6634
30-29	15	-30	-79	-30	-5	-21	-20	-8	-1	2	14	14	-149
稼働率	95.7%	90.0%	82.8%	90.0%	91.9%	93.2%	91.1%	90.8%	91.3%	89.0%	92.3%	92.4%	90.9%

ショートステイ稼働実績 (対前年度比)

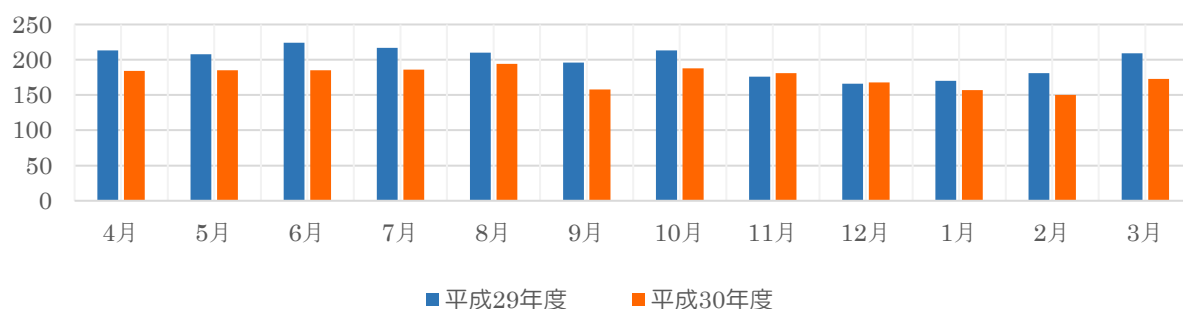


### 3. デイサービスセンターみぎわ園

(利用延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29年度	213	208	224	217	210	196	213	176	166	170	181	209	2383
H30年度	184	185	185	186	194	158	188	181	168	157	150	173	2109
30-29	-29	-23	-39	-31	-16	-38	-25	5	2	-13	-31	-36	-274
稼働率	61.3%	57.1%	59.3%	59.6%	59.9%	52.7%	58.0%	58.0%	56.0%	54.5%	52.1%	55.4%	57.1%

デイサービスみぎわ園稼働実績(対前年度比)

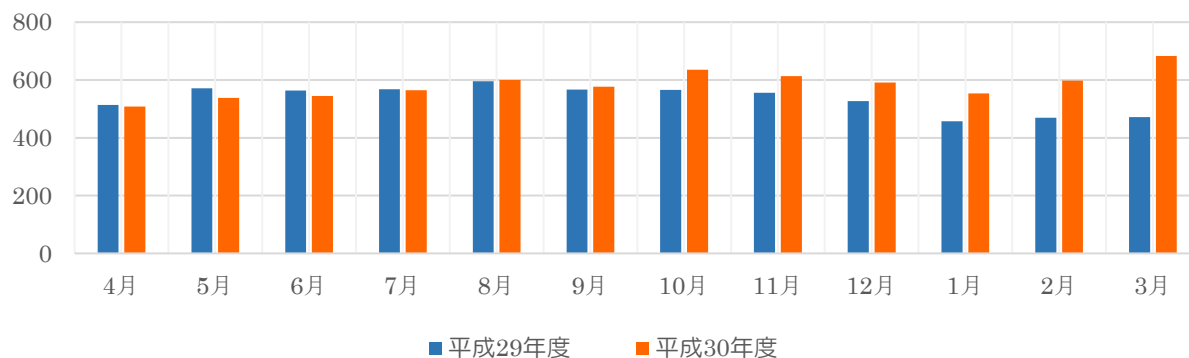


### 4. ふようデイサービスセンター

(利用延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29年度	514	571	563	568	596	567	566	556	527	457	469	472	6426
H30年度	508	538	545	565	600	577	635	613	591	553	598	683	7006
30-29	-6	-33	-18	-3	4	10	69	57	64	96	129	211	580
稼働率	81.3%	79.7%	83.8%	86.9%	88.9%	92.3%	94.1%	94.3%	94.6%	92.2%	99.7%	105.1%	91.0%

ふようデイサービス稼働実績(対前年度比)

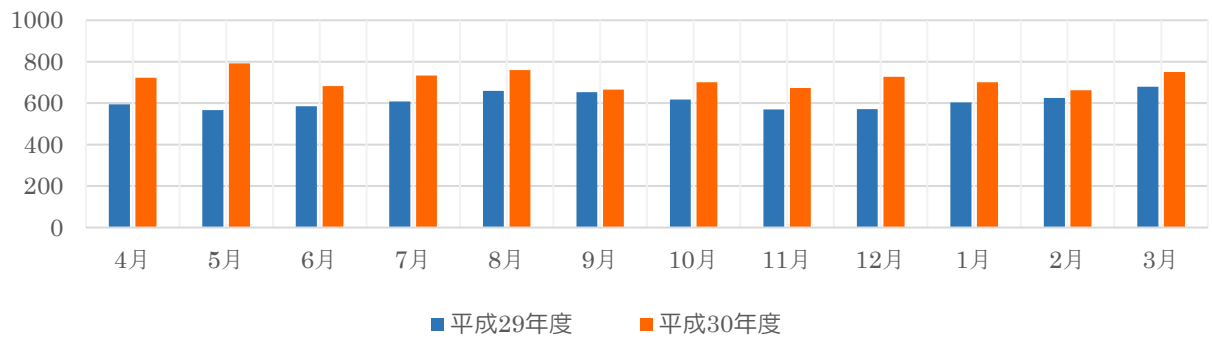


## 5. 看護小規模多機能 みぎわの里

(登録人数・サービス利用回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29年度	25	24	23	25	25	25	25	24	23	24	25	25	293
利用回数	595	567	585	609	660	653	617	569	572	604	625	679	7335
H30年度	24	25	23	24	24	24	24	24	24	25	25	25	291
利用回数	723	792	682	733	760	666	701	674	728	701	662	751	8573
30-29	128	225	97	124	100	13	84	105	156	97	37	72	1238

みぎわの里 利用回数実績 (対前年度比)

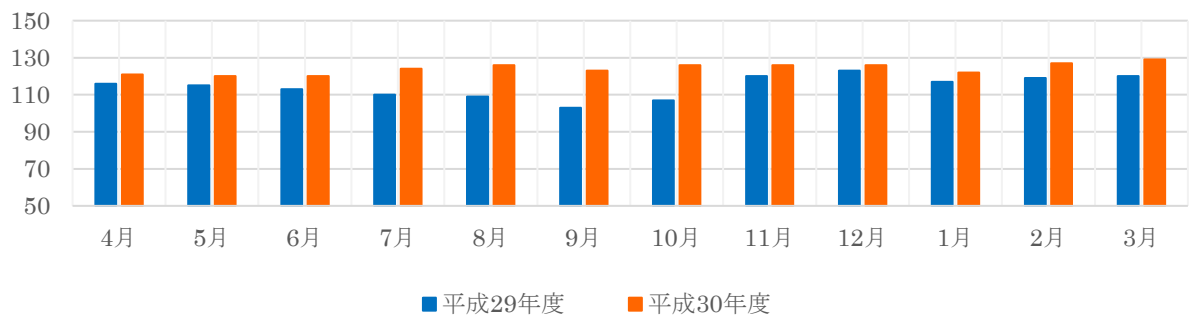


## 6. ふよう居宅介護支援事業所

(プラン件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29年度	116	115	113	110	109	103	107	120	123	117	119	120	1372
H30年度	121	120	120	124	126	123	126	126	126	122	127	129	1490
30-29	5	5	7	14	17	20	19	6	3	5	8	9	118
件数/人	30.3	30.0	30.0	31.0	31.5	30.8	31.5	31.5	31.5	30.5	31.8	32.3	31.1

ふよう居宅プラン件数実績 (対前年度比)



## 資料9 実習生等受け入れ実績

学校及び機関	人数	期間	延日数
静岡県立富士宮東高等学校 (介護福祉士実習)	2	5/8～5/23	11
	2	7/6～7/19	9
	2	10/4～10/19	10
静岡福祉医療専門学校 (介護福祉士実習)	2	6/25～7/27	25
	1	9/4～9/6	3
	1	10/22～11/17	20
今泉福祉推進委員 福祉体験	20	8/17	2
静岡県立富士東高等学校 福祉体験	30	11/7	1
合計	60名		81日

## 資料10 職員研修状況表

(特養・ショートステイ)

年月日	研修名	主催	研修先	職種	人数
H30.4.14	看護実践セミナー	関西看護ケア研究所	名古屋市	看護職員	1
H30.4.17	実習オリエンテーション	県立富士宮東高校	富士宮市	実習指導者	2
H30.4.29・30	介護アロマセラピスト養成講座	アロマコーディネーター協会	川崎市	看護職員	1
H30.5.10	リスクマネジメント講座	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	2
H30.5.14・6.25	フレックサラー養成講座	県介護福祉士会	静岡市	介護職員	1
H30.6.7・8	介護技術講座(基礎編)	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H30.6.20	急変を見逃さない救急講座	県社会福祉協議会	静岡市	看護職員	1
H30.6.6～8.23	認知症介護実践者研修	県社会福祉協議会	三島市	介護職員	1
H30.6.12～7.10	喀痰吸引等第2号研修	(医)喜生会	富士市	介護職員	3
H30.6.27	心に残る看取りレポート	静岡県看護協会	静岡市	看護職員	3
H30.6.28	静岡県給食協会総会	静岡県給食協会	静岡市	管理栄養士	1

H30. 7. 8～8. 19	介護福祉士実習指導者	県介護福祉士会	静岡市	介護職員	1
H30. 7. 20・23	施設事務経理応用講座	県社会福祉協議会	静岡市	事務職員	1
H30. 7. 11・12	介護技術講座（実践編）	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H30. 7. 12～9. 25	認知症介護実践者研修	県社会福祉協議会	富士市	介護職員	2
H30. 7. 30～2. 27	安全衛生講演会	聖隷福祉事業団	沼津市	看護職員	1
H30. 8. 1	看護の質向上促進研修	静岡県看護協会	沼津市	看護職員	1
H30. 8. 4～11. 10	介護従事者新任職員研修	介保事業者連絡会	富士市	介護職員	2
H30. 8. 8	福祉サービスの苦情解決研修会	県社会福祉協議会	沼津市	生活相談員	1
H30. 9. 7	オムツを外す排泄ケア講座	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H30. 8. 27	嚥下食実演セミナー	ニュートリ-株式会社	静岡市	管理栄養士	1
H30. 8. 27～9. 11	キャリアパス対応リーダーコース	県社会福祉協議会	三島市	介護主任	1
H30. 8. 31	H30 年度 特養経営セミナー	福祉医療機構	東京都	施設長	1
H30. 9. 20	薬の基礎知識	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H30. 9. 25	認知症のBPSDセミナー	県社会福祉協議会	静岡市	看護職員	1
H30. 9. 26	心地よい認知症介護講座	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H30. 9. 29	緩和ケアを取り入れた介護	県立静岡がんセンター	静岡市	介護職員	2
H30. 10. 3	フットケア講座	県社会福祉協議会	静岡市	看護職員	2
H30. 10. 2～11. 1	看護師実習指導者研修会	静岡県看護協会	静岡市	看護職員	1
H30. 10. 6	リスクマネジメント研修会	静岡県看護協会	静岡市	看護職員	1
H30. 10. 7・12. 16	感染対策セミナー	静岡県病院協会	静岡市	看護職員	2
H30. 10. 9	福祉施設初任者研修会	富士圏域施設長会	富士宮市	介護職員	2
H30. 10. 11	第45回国際福祉機器展	全国社会福祉協議会	東京都	介護・看護	17

H30. 10. 16	笑顔になれるレクリエーション	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H30. 10. 19	身体観察のポイント講座	県社会福祉協議会	静岡市	看護職員	1
H30. 10. 23	感染症予防講座	富士保健所	富士市	介護職員	2
H30. 10. 6～11. 23	介護福祉士実習指導者	県介護福祉士会	静岡市	介護職員	1
H30. 10. 29・11. 13	キャリアパス対応中堅コース	県社会福祉協議会	三島市	介護職員	1
H30. 11. 6	快適なシニアライフ講座	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H30. 11. 6～12. 1	喀痰吸引等第2号研修	(医) 喜生会	富士市	介護職員	2
H30. 11. 16・17	看護実務者研修	静岡県看護協会	静岡市	看護職員	2
H30. 11. 22	キャリアハット・アクションセミナー	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H30. 11. 29～12. 18	キャリアパス対応初任者コース	県社会福祉協議会	三島市	介護職員	1
H30. 2. 15	決算実務講座	県社会福祉協議会	静岡市	事務職員	1
H30. 2. 26	身体拘束廃止フォーラム	県介護福祉士会	静岡市	介護職員	2
H30. 3. 1	介護報酬改定対策講座	静岡県経営協	沼津市	提供責任者	9
H30. 3. 6	災害福祉支援セミナー	静岡県経営協議会	静岡市	介護職員	1
H30. 3. 10	介護保険改正のポイント	介護労働安定センター	静岡市	事務課長	1
H30. 12. 14	結核医療従事者研修会	富士保健所	富士市	看護職員	1
H31. 1. 22	高齢者の転倒予防講座	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	3
H31. 2. 9	富士介護サービス研究集会	市社会福祉	富士市	管理職等	10
H31. 2. 19	身体拘束フォーラム	県介護福祉士会	静岡市	介護職員	1
H31. 2. 20	外国人介護人材受入セミナー	聖隷事業団	沼津市	事務職員	1
H31. 2. 19・20	社福法人決算実務講座	県社会福祉協議会	静岡市	事務職員	1
H31. 2. 23	びびり小体認知症研究会	県びびり小体研究会	沼津市	看護職員	1
H31. 2. 27	介護職員職場定着推進研修	静岡県老施協	静岡市	介護主任	2

## (ふようデイ・みぎわデイ・みぎわの里・ふよう居宅)

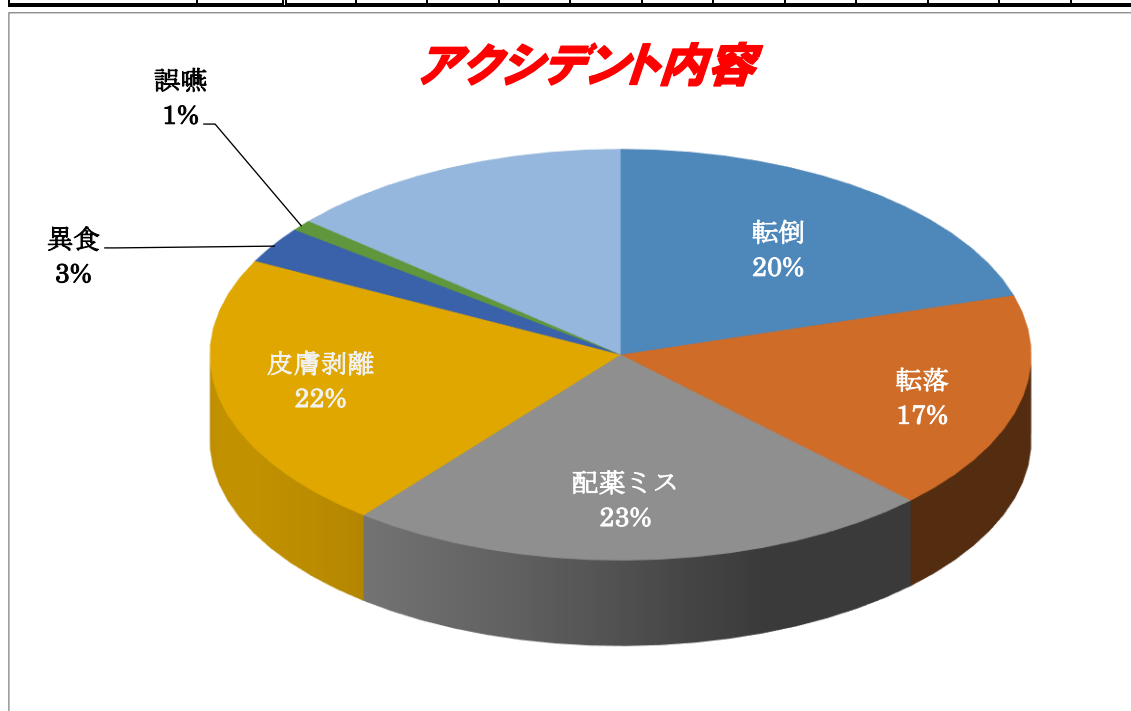
年 月 日	研 修 名	主 催	研 修 先	職 種	人 数
H30. 5. 10	リスクマネジメント講座	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H30. 5. 31	認知症の人のレクリエーション	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	2
H30. 6. 5	プロの介護セミナー	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H30. 9. 25	認知症のBPSDセミナー	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H30. 10. 16	笑顔になれるレクリエーション	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H30. 11. 9	承認マネジメント講座	静岡県老施協	長泉町	介護職員	1
H30. 11. 14	福祉施設職員防災研修会	静岡県福祉指導課	静岡市	介護職員	1
H30. 11. 22	火災の基礎知識	富士市防火協会	富士市	防火管理者	1
H30. 12. 17	福祉人材定着確保研修会	市社会福祉協議会	富士市	管理職	1
H31. 2. 19	身体拘束フォーラム	県介護福祉士会	静岡市	介護職員	1
H30. 6. 2	在宅での感染予防対策	静岡県看護協会	静岡市	管理者	1
H30. 6. 6～8. 23	認知症介護実践者研修	県社会福祉協議会	三島市	介護職員	1
H30. 6. 11	糖尿病看護の基礎	静岡県看護協会	静岡市	看護職員	1
H30. 6. 20	急変を見逃さない救急講座	県社会福祉協議会	静岡市	看護職員	1
H30. 9. 20	薬の基礎知識	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H30. 9. 29	緩和ケアを取り入れた介護	県立静岡がんセンター	静岡市	介護職員	1
H30. 10. 7・12. 16	感染対策セミナー	静岡県病院協会	静岡市	看護職員	1
H30. 10. 23	福祉職場ストレスマネジメント講座	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H30. 11. 22	ヒヤリハット・アクシデントセミナー	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H30. 6. 5～8. 8	専門研修課程 I	介護支援専門員協会	静岡市	居宅ケアマネジャー	1
H30. 8. 17～9. 20	更新研修 B2	介護支援専門員協会	静岡市	居宅ケアマネジャー	2



## 資料 11 リスクマネージメント集計(アクシデント報告)

### 1. アクシデント内容

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
転倒	71	6	8	7	5	6	3	7	4	5	4	9	6
転落	60	11	2	3	4	4	3	6	3	6	1	7	4
配薬ミス	81	10	9	5	4	5	2	5	1	6	1	3	5
皮膚剥離	76	7	6	9	8	5	1	9	4	4	1	6	1
異食	10	2	0	0	0	0	0	2	0	1	1	2	0
誤嚥	3	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	48	4	6	4	10	17	3	12	6	14	4	9	8
合計	350	41	33	29	31	37	12	41	18	36	12	36	24



### 2. 事故行政報告（富士市介護保険課）

事故等により病院受診後の内容報告

平成30年度

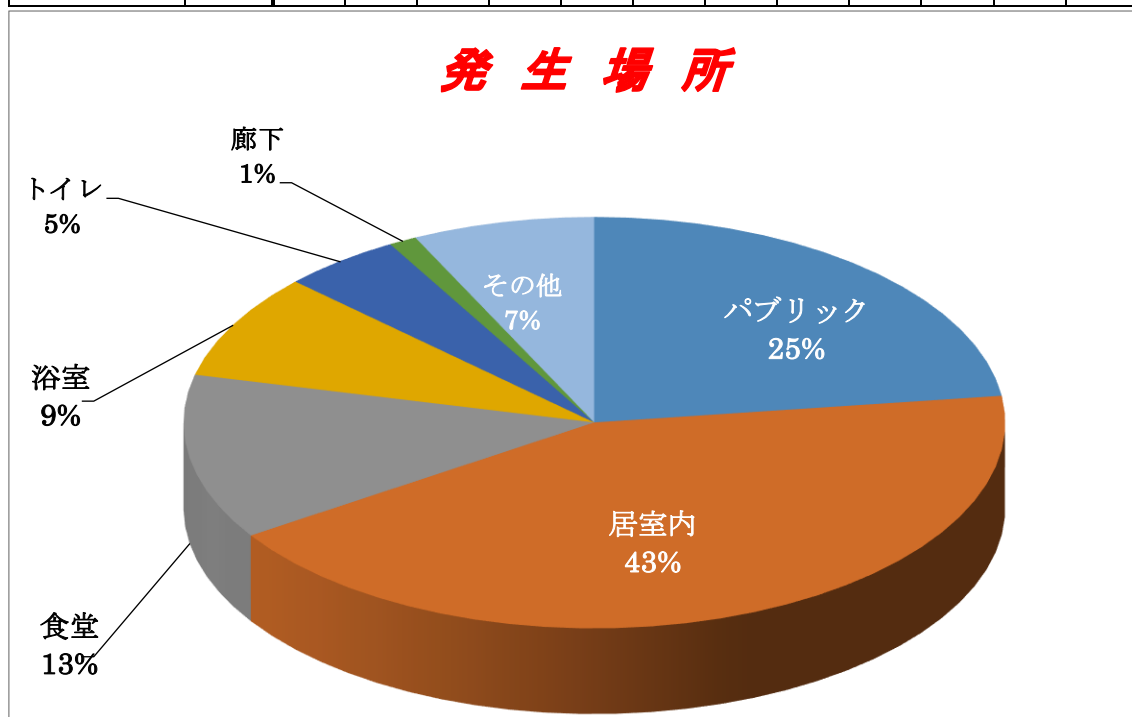
10件

内、入院治療

1件

### 3. 発生場所

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
パブリック	83	10	7	10	7	6	4	3	4	8	14	6	4
居室内	155	18	12	11	15	19	7	22	9	17	1	13	11
食堂	47	6	7	2	6	6	0	7	1	3	1	3	5
浴室	30	2	6	3	2	1	1	6	1	2	1	4	1
トイレ	17	1	1	3	4	3	1	0	0	1	1	1	1
廊下	4	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
その他	26	4	2	1	1	3	0	3	2	6	3	0	1
合計	362	42	35	30	35	38	13	41	18	37	21	28	24



## 資料 12 固定資産取得・償却状況表

### 【 取 得 】

資産コード	資 産 名 称	取得年月日	前年末帳簿価額	取 得 の 理 由
1202	エント内 LED 照明器具	H30. 12. 1	4, 183, 9200 円	省エネ対策の年度実施
1202	廊下等 LED 照明器具	H30. 9. 1	432, 000 円	〃
1302	ボイラー機器・配管工事	H31. 2. 1	1, 458, 000 円	老朽化のための入替
1306	PC (西部包括)	H30. 6. 1	161, 784 円	〃
1305	SUZUKI Kei (富士山 581 す 879)	H31. 3. 12	1 円	〃
1305	SUZUKI エコリイ (富士山 881 あ 467)	H30. 7. 1	1, 500, 000 円	送迎専用車輛 (ふようデイベース)

### 【 廃 棄 】

資産コード	資 産 名 称	取得年月日	前年末帳簿価	廃棄・売却等の理由
70-06001	ガラス	H15. 3. 31	1 円	老朽化のため
70-06021	木製浴槽	H15. 3. 31	1 円	〃
70-06026	手すり付体重計	H15. 5. 7	1 円	老朽化のため
70-06027	清拭者	H15. 5. 7	1 円	〃
70-06030	殺菌用エアークォル	H18. 7. 18	1 円	〃
70-06031	殺菌用エアークォル	H18. 7. 18	1 円	〃
70-06034	塩素消毒器	H19. 1. 31	1 円	〃
70-06038	二酸化炭素消毒器	H19. 9. 20	1 円	〃
70-06039	二酸化炭素消毒器	H19. 9. 20	1 円	〃
70-06040	二酸化炭素消毒器	H19. 9. 20	1 円	〃
70-06041	二酸化炭素消毒器	H19. 9. 20	1 円	〃
60-06008	SUZUKI ワゴン R (富士山 581 き 2745)	H24. 6. 30	1 円	〃 (H12 年式)

### 資料 13 施設整備備品及び修理修繕工事一覧（10万円以上）

内 容	場 所	施 行 業 者	金 額
非常灯バッテリー交換	みぎわ園	(株)マコト電気	293,760 円
包括事務所改修工事	包括支援センター	渡邊建設工業(株)	1,180,000 円
特養浴室床張替工事	みぎわ園	渡邊建設工業(株)	1,488,000 円
汚水配水管修理	みぎわ園	(株)一商会	370,000 円
外来者用ウォッシュレット設置	みぎわ園	(株)一商会	669,000 円
空調設備修理工事	みぎわ園	(株)アオノ	764,100 円
荷物用エレベーター巻上機交換工事	みぎわ園	マーキュリアセンソール(株)	223,128 円
送迎車輛板金修理	ふようデイ	テクニカルボックス	249,911 円
大型浴槽改修工事	ふようデイ	渡邊建設工業(株)	497,000 円

### 資料 14 保守管理・業務委託一覧

保守保全内容	契約内容	頻 度	形 態	業 者 名
消防機器設備	定期点検・行政報告	2 回/年	年次	サノコ防災(株) 深沢消防産業(株)
ガス漏れ	警報機設備点検	随時	設置時	静岡ガス(株)
電気設備	定期点検	1 回/月	年次	鈴木 博 関東電気保安協会
建物設備・特殊建物等 定期検査	定期点検・行政報告	1 回/2 年	指名	井上建設(株)
防火設備定期検査	定期点検・行政報告	1 回/年	年次	サノコ防災(株)
エレベーター・荷物用リフト	定期点検・行政報告	1 回/月・随時	年次	マーキュリアセンソール(株)
清掃・消毒点検	施設内環境整備	3 回/週・随時	年次	タスキ富士宮
利用者リネ	洗濯等委託	3 回/週	年次	(株)ティーンロイ

保守保全内容	契約内容	頻 度	形 態	業 者 名
貯水槽清掃・水質検査	法定清掃・管理点検	1回/年	年次	ニッケン消毒(株)
給食業務	調理配膳配送	毎日	年次	(株)角山
PC・介護ソフト管理	PCソフト保守 バージョンアップ	随時	設置時	(株)ゆとり (株)コンピュータシステム研究所 (株)夢工房
自動ドア保守・管理	定期点検・整備	2回/年	年次	ナブコシステム
洗濯業務	利用者衣類等洗濯	4回/週	年次	富士シルバー人材センター
廃棄物処理	一般廃棄物処理 医療廃棄物処理	毎日 適宜	年次	市栄産業(株) さとう産業(株)
夜間当直	夜間当直業務	2回/週	年次	(有)フジタ産業